

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装等改修工事

A-01	図面リスト		E-01	電気設備工事特記仕様書（1）	
A-02	建築改修工事特記仕様書（1）		E-02	電気設備工事特記仕様書（2）	
A-03	建築改修工事特記仕様書（2）		E-03	【改修前】【改修後】電灯コンセント設備平面図	1/100
A-04	建築改修工事特記仕様書（3）		E-04	【改修前】【改修後】弱电設備平面図	1/100
A-05	配置図	1/1400	E-05	【改修前】【改修後】電気設備展開図・天井伏図	1/50 1/100
A-06	1階平面図	1/200			
A-07	改修1階平面図 各伏図	1/100	M-01	機械設備工事特記仕様書（1）	
A-08	断面詳細図	1/30	M-02	機械設備工事特記仕様書（2）	
A-09	展開図1【改修前・後】	1/50	M-03	【改修前】【改修後】空調設備平面図、展開図	1/100
A-10	展開図2【改修前・後】	1/50			
A-11	仮設計画図	1/1400 1/150			



株式会社 **テイク ◆ 住宅・地域システム研究所**
一級建築士事務所（鳥取県知事登録 第05-1283号）・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装等改修工事

DATE
07.03.

D.T 図面リスト
S

C.根 D.根

管理建築士
大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

No. **A-01**

（図面サイズ A2版[100%]）

※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。

建築改修工事仕様書

I. 工 事 概 要

1. 工 事 場 所 鳥取市湖山町南三丁目
2. 敷 地 面 積 60,748.73 m²
3. 地 域 地 区 都市計画地域 (○内 ・ 外) 市街化調整区域 (・ 内 ○外)

4. 建 物 概 要

[illegible]

Ⅱ. 建築改修工事仕様

4. 共通仕様
- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）による。
- (2) 請負者は、建築基準法に基づき完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意する。
- (3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
2. 特記仕様
- (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
- (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
○印のつかなかった場合は、※印のついたものを適用する。
○印と※印のついた場合は共に適用する。
- (3) 項目に記載〔 〕の内表示事項は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（ ）の表示項目番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- (4) 図印は、「国庫による環境物品等の調達の実施等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。
- (5) 関係法令（条例を含む）の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監修職員と協議を行うものとする。
- (6) 材料及び製造所等の記載は順不同である。

	項 目	特 記 事 項
一般共通事項	① ① 通用基準等	※ 建築工事標準詳細図（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁審判部整備課標準（以下「標準詳細図」という） ※ 建築改修工事監理指針（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁審判部監修 ※ 工事現場管理ガイドブック建築工事編及び解体工事編（平成３０年版） 国土交通省大臣官房官庁審判部監修 ・ 建築物解体工事標準仕様書（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁審判部監修 ・ 建築工事監理指針（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁審判部監修
	② 官公庁その他への手続 [1. 1. 3]	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。
	③ 電気保安技術者 [1. 3. 3]	担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	④ 工事安全計画書 [1. 3. 7]	建築工事安全施工技術指針及び建設公災災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑤ 発生材の処理等 [1. 3. 12]	・ 引渡しを要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物（ ） ・ 処理方法（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ○ 再生資源化を図るもの ・ コンクリート塊 アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材 ・ ＰＣＢ含有シーリング材の調査・処理 ・ 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 ・ 採取箇所数 ※図示 ・ 採取箇所数 計 箇所 ・ 第二次判定 専門分析機関にてＰＣＢ含有量の分析を行う。 ・ 分析箇所数 計 箇所 ・ 除去処理工事 ・ 除去範囲 ※図示 ○ せつこうボードの処理 ○石綿含有せつこうボード 改修特記仕様書第９章による ・ ひ素・カドミウム含有せつこうボード ・ 製造業者に回収委託 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 処分施設の名称・所在地（ ） ・ 石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせつこうボード ・ 再生源化（再生資源化施設） ・ 最終処分（管理型最終処分場） ・ 処分施設の名称・所在地（ ）
⑥ 環境への配慮 [1. 4. 1]	化学物質を放散させる建築材料等 1) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、クリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上り塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しない又は放散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジノープチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 2) ホルムアルデヒド放散量の区分において、規制対象外とは次の①又は②に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第２０条の第７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第２０条の第７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	

7

材料の品質等
[1. 4. 2]

3)

ホルムアルデヒド放散量の区分において、第三種とは次の①又は②に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（資材（材料及び構材を含む）の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負担軽減に配慮されていること。）に留意する

2)

備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。

3)

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

4)

本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されている。
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われている。
③ 安定的な供給が可能である。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性がある。
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられている。

5)

製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床型特用調製デッキプレート	現場発泡断熱材
鉄骨下無収縮モルタル	フリーアクセスフロア
無収縮グラウト材	可動間仕切り
乾式保溫材	移動間仕切り
既調合モルタル	トイレブース
ルーフドレン	煙突用成形ライニング材
吸水調整材	天井点検口
錠前類	床点検口
クローザ類	グレーチング
自動昇降機	屋上給排水システム
自閉式上吊り引戸機構	トップライト
重量シャッター	ポリマーセメントモルタル
軽量シャッター	既調合目地材
オーバーヘッドドア	鉄鍍銀ふた
防水剤	

(B)

石綿含有建材の調査
[1. 5. 1]

調査

※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う
資料と資料（ ）
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクリノライト、アモサイト、アノソフサイト、クリノサイト、クロソサイト、トレモライト
分析方法

材料名	分析方法（定性）	分析方法（定量）
	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所

材料が仕上材の場合は、層ごとの分析を行うこと
サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示

9

施工数量調査
[1. 6. 2]

調査範囲

※外壁（窓、庇木共） ・ 屋根 ・ 図示

調査方法

※テストハンマーによる打診及び目視 ・ 図示
外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う
屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。
また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する（必要に応じて写真等を添付する。）

10

調査のための破壊部分の補修
[1. 6. 3]

補修方法

※ 図示

(11)

技能士
[1. 7. 2]

下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う
（技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は準一級等の資格を有する者）
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札（下記参考）を常時着用する

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・ とび作業
防水改修工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 強化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・ 樹脂接着剤注入工事作業
	左官	・ 左官作業
	タイル張り	・ タイル張り作業
建具改修工事	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業
	建具製作	・ 木製建具加工作業
	ガラス用フィルム施工	・ 建築フィルム作業
内装改修工事	建築大工	・ 大工工事作業
	建築板金	・ 内外装板金作業
	内装仕上施工	○ 鋼製下地工事作業 ○ フラスチック系床仕上工事作業 ・ カーペット系床仕上作業 （2級及びプラスチック系仕上工事作業を含む） ・ ボード仕上工事作業
	表装	・ 壁装作業
	左官	○ 左官作業
	タイル張り	・ タイル張り作業

12	塗装改修工事	塗装	○ 建築塗装作業
	耐震改修工事	とび	・ とび作業
		鉄筋施工	・ 鉄筋組立作業
		型枠施工	・ 型枠工事作業
13		コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
		鉄工	・ 構造物鉄工作業
		配管	・ 建築配管作業
		路面表示施工	・ 路解ペイントマーカ―工事作業
14			・ 加熱ペイントマシンマーカ―工事作業
		造園	・ 造園工事作業

《技能士名札参考図》

90 mm

技能士

職種 建築大工

級別 1級

氏名 ○山○夫

血液型 ○型

勤務先 ○○○工務店

自宅 鳥取市

発行 ○○○○○○○○

←技能士の職種により色を変えることも可

←技能士の級別

←技能士の級の別

←

←

←技能士本人の住所

←名札の発行元

90 mm

12 化学物質の濃度測定 [1 . 7 . 9]

1) 測定対象室のホルムアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。

・バジロクロベンゼンを追加して分析を行う

測定対象室（教育相談室(1)）

2) パッピン型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。

① 30分間換気

測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。

② 5時間閉鎖

①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

③ 測定

イ ②の状態のままで測定する。

ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

④ 分析

測定対象化学物質を採取したパッピン型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

⑤ その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

13 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。

区 分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
※ 工事記録写真	カラーサービシ判	各工種の工程毎	1部	
※ 完成写真	カラーサービシ判	○ 内部 箇所	2部	
		・ 外部 箇所	2部	
・	カラーキャビネ判	・ 内部 箇所	2部	
		・ 外部 箇所	2部	
・ パネル	カラー	・ 四つ切 箇所	2部	
		・ 半切 箇所		
		・ 全紙 箇所		

○ 電子データ又はネガの提出【工事記録写真】 (○ 要 ・ 不要)

○ 電子データ又はネガの提出【完成写真】 (○ 要 ・ 不要)

14 完成時の提出図書 [1 . 9 . 1 . 2]

下記のものを監督職員に提出する

※ 原図 A 1 版又は A 2 版（設計図の第 2 原図訂正不可） 1 部

※ C A D データ 1 式

※ 原図の大型コピー（白紙）の 2 つ折製本 2 部

※ 縮小版 2 つ折製本（A 4 版） 2 部

・ 複写 縮小版 A 3 バラ版 部

完成図の種類及び内容（改修前後の状態が分かるように整備する）

○ 案内図・配置図： 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む

○ 改修概要図： 改修概要、部位等を表示する

○ 平面図： 室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する

○ 立面図： 外壁仕上、補修範囲等を表示する

○ 断面図： 階高、天井高等を表示する

○ 仕上表： 屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する

・ 構造図： 杭、構造物等体等を表示する

○ その他：（設計図に含む）

・ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける

15 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

設備工事との取合い		建 築	電 気	機 械
・ コンクリート壁、床、実質通部	補強	※	・	・
	開口	・	※	※
・ 鉄骨造の開口及び補強		※	・	・
○ 照明器具・幹線等の吊りボルト		・	※	・
○ 軽量鉄骨製のボックス取付下地		・	※	・
・ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの	仮枠	・	※	・
仮枠及び埋込部分の補強	補強	※	・	・
・ O A フロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	・	・
・ 埋込型機器取付用の天井	切込	・	※	※
壁の切込加工、下地の補強	補強	※	・	・
・ 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及び	ドアクローザ、フロアヒンジ	※	・	・
・ 電気室、自家発電室などの基礎及びピット（蓋を含む）		※	・	・
・ テレビアンテナ	基礎	※	・	・
	アンカーボルト	・	※	・
○ 天井点検口		※	・	・
・ 機器類のコンクリート基礎		・	※	※
	屋内・屋外設置	・	※	※
	屋上設備	※	・	・

16 撤去部分

コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。

ダイヤモンドカッター切り深さ（※30mm程度）

17 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

基準風速 $V_0 = \text{m/s}$

地表面粗糙度係数 ・ I ・ II ・ III ・ IV

積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第 1 4 6 5 号 別表（ ）

	18	保全に関する資料 [1. 9. 3]	下記のものをA4版ファイルに製本して監督職員に提出する。 ○ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表 ・ 機器性能試験成績書及び取扱説明書 ・ 保証書 ・ 官公署届出書類（保守に必要とするもの） ○ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書 ・
	19	火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 （保険の加入期間は、工事完成引渡しまで（概ね工期+21日）とする。）
	20	環境配慮	鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 ・ 非対象工事
	21	建設リサイクル法	※ 対象工事 ・ 非対象工事
	22	鳥取県福祉のまちづくり条例	※ 対象工事 ・ 非対象工事
	23	景観形成条例	※ 対象工事 ・ 非対象工事
	24	建築物省エネ法	※ 対象工事 ・ 非対象工事
2	仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策 [2. 1. 3] 2 足場その他 [表2. 2. 1] 3 既存部分の養生 [2. 3. 1] 4 仮設間仕切り [2. 3. 2] 5 監督職員事務所 [2. 4. 1] 6 表示板	騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用方式により行う。 ・ 外部足場 ・ 設置する（範囲 ※工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない ・ 防護シート ・ 設置する（範囲 ※工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない ・ 内部足場 ○設置する（※脚立、足場板等 ・ ） ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 ・ E種 C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ） 養生方法等 ○既存部分の養生方法 ※ビニルシート、合板等による ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシート等 ・ ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ビニルシート等（取外し再取り付けを行う） ・ ・ 保管場所 ※構内既存施設内 ・ ・ 固定された家具等（備品、机、ロッカー等）の移動 ※行う（図示） ・ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示 ・ 仮設間仕切りの種別と材質等 ○ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示 A、B種の仕上げ材 ※石こうボード（98-R 厚さ9.5mm） ・ 合板（普通合板 厚さ9mm） A、B種の片面への塗装等 ・ 行う ※行わない A種のグラスウール等の充填材 ※ 行う（JIS A 6301グラスウール吸音材 2号32K 厚50mm） ・ 行わない 仮設扉の種別 ※木製（合板張り程度） ・ ※ 設ける m程度 ・ 設けない 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示事項による。 ・ 既存建物内の一部を使用する（場所 ） ・ 構内に新設する 規模（ m ² ） <div><div>※ 工事表示板</div><div>900 建築工事中 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ床面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から令和○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 建築師○○○事務所 建築住宅営業所 施工者 ○○○○○○設計 施工期間 ○○-○○○○ 連絡先電話 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県建築標準住宅営業所 建築住宅営業所 建築設計担当 連絡先 ○○-○○○○</div><div>記入要領 1. 書体は角ゴシックとする。 2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。</div></div> <div><div>・ お願い表示板</div><div>1,200 御通行中の皆様へ 令和○○年○月工事完成予定 ※ 工事完了後、マンカド設置するかも 御覧のバス、又は立派な園を御覧する （仮大カマコビを張り付けてもよい） 工事の目的 ○○</div></div>

6

内装改修工事

1

他の部位との取合い等
[6. 1. 3]

2

既存床の撤去及び下地補修
[6. 2. 2]

3

既存壁の撤去及び下地補修
[6. 3. 2]

4

製材 [G]
[6. 5. 2]

5

造作用集成材 [G]
[6. 5. 2]

6

造作用単板積層材 [G]
[6. 5. 2]

7

床張り用合板等
[6. 5. 2]

8

防蟻・防蟻処理
[6. 5. 5]

9

軽量鉄骨天井下地
[6. 6. 2~4]

10

軽量鉄骨壁下地
[6. 7. 3, 4]
[6. 7. 1]

11

ビニル床シート
[6. 8. 2, 3]

12

ビニル床タイル [G]
[6. 8. 2]

13

接着剤
[6. 5. 9, 4]
[6. 8. 2]
[6. 9. 3]
[6. 11. 4, 5]

14

ビニル幅木
[6. 8. 2]

15

ゴム床タイル
[6. 8. 2]

16

カーペット敷き [G]
[6. 9. 2, 3]
[6. 9. 9, 1]

17

合成樹脂塗床
[6. 10. 2, 3]

18

防じん用塗床

19

フローリング張り [G]
[6. 11. 2~6]

20

畳敷き
[6. 12. 2]

21

せっこうボードその他のボード及び合板張り
[6. 13. 2, 3]

22

壁紙張り
[6. 14. 2, 3]

23

モルタル塗り
[6. 15. 3, 6]

種 類

JIS 記号

厚さ (mm)、規格等

・硬質木毛セメント板	[G]	HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・中質木毛セメント板	[G]	MW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・普通木毛セメント板	[G]	NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・硬質木片セメント板	[G]	HF ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・
・普通木片セメント板	[G]	NF ・ 30 ・
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石棉) ・ 6 ・ 8
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・ 9 ・ 12 ・) ・不燃 ・凹凸タイプ (・ 12 ・ 15 ・ 19 ・) ・不燃
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25 ・
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・ 25 (ガラスクロス色) ・
○せっこうボード	GB-R	◎2.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ○9.5 (準不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)
・シーゾングせっこうボード	GB-S	12.5 (・不燃 ・準不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 板目 ・ 板目) 専用下地材有り
○化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)
・普通合板 [G]		表板の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 ・ 1 類 ・ 2 類 ・ 防虫処理
・天然木化粧合板 [G]		樹種名 () 接着の程度 ・ 1 類 ・ 2 類 厚さ (mm) () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防炎処理
・特殊加工化粧合板 [G]		化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 ・ 1 類 ・ 2 類 厚さ (mm) () ・ 防虫処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)
・ポリエステル樹脂化粧板		
・メディアムデンシティファイバーボード [G]	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・
・単板張りパーティクルボード [G]		・ 無研磨板 V N ・ 研磨板 V S ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・
・化粧パーティクルボード [G]		・ 単板オーバーレイ D V ・ プラスチックオーバーレイ D O ・ 塗装 D C ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・
・ハードボード (素地) [G]	HB	・ 未研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード R N) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード R S)
・ハードボード (化粧) [G]		・ 内装用 D I ・ 外装用 D E ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・
・インシュレーションボード [G]	IB	A 級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・

天井のボード類 (ロックウール化粧板を除く) の重ね張りを行う場合
※図示による
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放数量
※規制対象外
合板類の張り付け ・ A 種 ・ B 種
せっこうボードの目地工法 ※仕上表による ・

ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・

施工箇所	紙	繊維	グラスファイバ	無機質	その他	防火性能	備考
職員室	・	・	○	・	・	・不燃 ○準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしらの種別 ※B 種 ・
コンクリート面の素地ごしらの種別 ※B 種 ・
せっこうボード及びその他ボード面の素地ごしらの種別 ※B 種 ・

モルタル ※現場調査材料 ・既調査材料 (材料)
既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示)
・設けない

床の目地 ・設ける (目地割り ※ 2 m 程度 (最大目地間隔 3 m 程度)
(種別 ※押し目地)
・設けない

外装タイル張り等下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・適用する ○ 適用しない
壁面の仕上げ厚又は全張り厚が25mmを超える場合の下地処理 ・図示による
建具廻りの等の充填モルタルに使用する防水剤 (品質・性能)
(試験方法) JIS A 1404 「建築用セメント防水剤試験方法」による。

項目	品質・性能
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	(凝結時間) 始発 : 1時間以上 終結 : 10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びその有無について確認する。
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したものの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上
吸水比	防水剤を混入したものの、しないものの吸水比 95%以下
透水比	防水剤を混入したものの、しないものの透水比 90%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 ³ Pa とし1時間行う。

・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※ 1 類 ※ 特類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※ 1 類 ・ 2 類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用
		※ 1 類 ・ 2 類			・適用する ・適用しない	・

・パーティクルボード [G]

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性	間伐材等による区分
	※15 ・		※12タイプ ・	※P又はM ・		

・構造用パネル

施工箇所	厚さ (mm)	等級
		・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 ・ 4 級

・メディアムデンシティーファイバーボード (MDF) [G]

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	難燃性	間伐材等の適用

・防蟻、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位 : ()

・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理
適用部位 : ()

・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理
適用部位 : ()

・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理
適用部位 : ()

・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位 : ()

野縁等の種類
屋外 (※ 25 形 ・ 19 形) 屋内 (◎ 19 形 ・ 25 形)
・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔 ・ 図示 ・
周辺部の端からの間隔 ・ 図示 ・
野縁の間隔 ・ 図示 ・
既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない
あと施工アンカーの確認試験
○行う (試験箇所数 ※屋内の場合 当該階において3箇所 ・)
(確認強度 ※改修標準仕様書6.6.4(1) (g) による ・)
・行わない
・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※ 図示 ・
・ 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法 ※ 改修標準仕様書6.6.4(8) による ・ 図示
・ 天井 のふとところが3.0mを超える場合
補強方法 ※ 図示 ・
・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※ 高さが6 mを超える天井、それ以外は図示 ・
補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」 (平成25年 国土交通省告示第771号) 第3第2項第2号に適合させる。
・ 図示

スタッド、ランナの種類
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示
スタッドの高さが6.0 mを超える場合 ※ 図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書14.5.4(5) による ・

種類

色柄

特殊機能

厚さ (mm)

備考

※ F S	・ 無地 ○マーブル柄 ・ 柄物 ・ 防汚性	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性	※ 2.0 ・	
-------	---------------------------------	----------------------------	---------	--

※接合部の処理 (工法 ※ 熱溶接工法 ・) ・ 突付け (施工箇所 :)
特殊機能
帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上〜3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷〜1×10¹⁰Ω程度 ・

種類

色柄

寸法

特殊機能

厚さ (mm)

備考

※ K T ・ T T ・ F O A	・ 無地 ・ 柄物 ・ F O B	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防汚性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0	
---------------------------	-------------------------	-------------------------------------	-----------------	-------------------------	--

特殊機能
帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上〜3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷〜1×10¹⁰Ω程度 ・

接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒド放数量
※ F ☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示 ・

材質の種類 ※軟質 ・ 硬質
高さ (mm) ※60 ○75 ・ 100
厚さ (mm) ※1.5以上 ・

材質の種類 ※単層品 ・ 複層品
色柄 ()
厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0
寸法 (mm) ()

・ 織じゅうたん [表6.9.1]

種別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェュースカーペット ・ アキス ミンスターカーペット	※無地 ・ 柄物 (標準品)	・ 適用する ・ 適用しない	

・ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・ かつぱい ・ かつぱい ・ かつ、かつ併用	・ 5〜7 ・ ・ 4〜6 ・ ・	※全面接着工法 ・ グリッド工法	・ 適用する ・ 適用しない	

・ タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5 ・	
・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5 ・	
・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・ 模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・ 市松敷き ・
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・
見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※図示 ・

種別

施工箇所

工法

仕上げの種類

・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ	
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床	・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ	
・薄膜型塗床材		※平滑仕上げ	

塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ F ☆☆☆

材料 水性アクリル系樹脂塗材とし、製造所の指定する製品とする。
工法 製造所の指定する工法とする。
なお、上塗りは2回塗りとし、乾室量は0.25kg/m²とする。
仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ※標準色 ・
JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ F ☆☆☆ ・

単層フローリング

種類	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用
・フローリング1号 ボード1等	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら ・	15 ・ ・ 12 ・	・ ・
・フローリング ブロック1等	・ 接着工法	※ なら ・	・ 8 ・ 15 ・	・ ・

フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書表6.11.1、3、5による ・

複合フローリング

種類	工法	樹種	種別	厚さ (mm)	間伐材等の適用
・天然木化粧複合 フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら ・	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	・ 15 ・ ・ 12 ・ ・ 12 ・	・ ・ ・
・接着工法		※ なら ・	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	・ 12 ・ ・ 12 ・ ・ 12 ・	・ ・ ・

フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書表6.11.2、4、6による ・
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放数量 ※ F ☆☆☆
接着工法の場合の裏面継ぎ材 ※合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所)
※ウレタン樹脂フニス塗り
・ オイルステインの上、ワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・ 行わない
県産材の活用 ・ 適用する (樹種) ・ 適用しない

種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (炭床) ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)
下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.1による床組
・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム) [G]
・

農表及び農床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型壁 (壁表 : ・ C 1 ・ C 2)

株式会社 テイク ◆ 住宅・地域システム研究所

一級建築士事務所 (鳥取県知事登録 第05-1283号) ・ 測量土木設計事務所 ・ 補償コンサルタント ・ 土地家屋調査士事務所他

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装等改修工事

D.T 建築改修工事特記仕様書 (2)

S

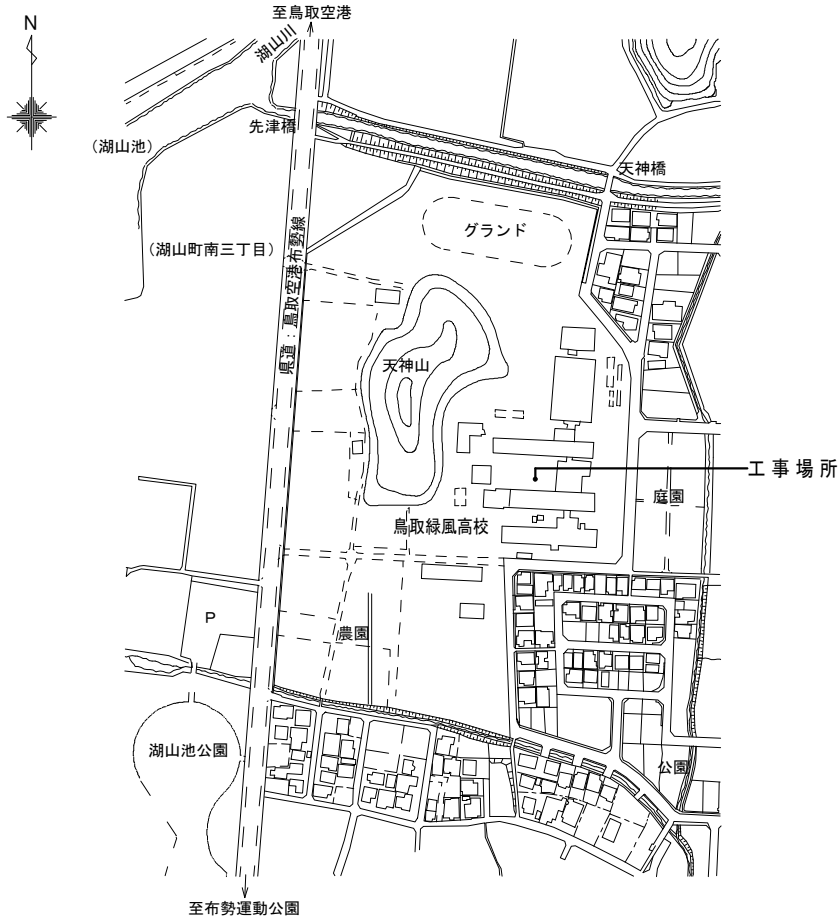
DATE 07.03.

管理建築士 大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

No. A-03 (図面サイズ A2版[100%])

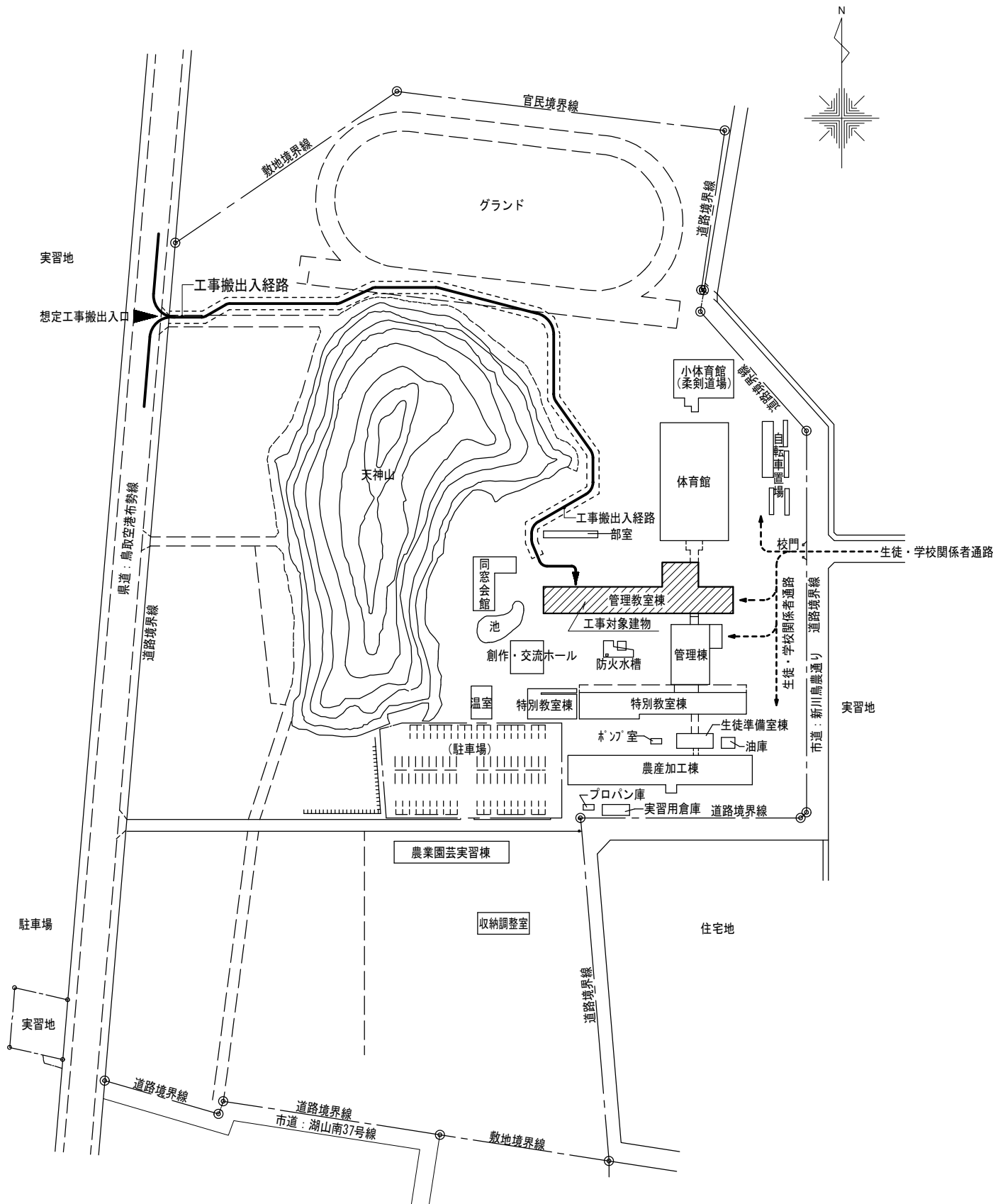
鳥取県 令和6年度 J2401873 東部建築住宅事務所

※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



付近見取図

建築物概要	
工事場所	鳥取市湖山町南三丁目 県立鳥取緑風高等学校
主要用途	学校
工事種別	改修
構造・規模	管理教室棟： 鉄筋コンクリート造3階建て 延べ面積 2,236.95㎡（1972年建設）
敷地面積	60,748.73㎡
地域・地区	都市計画区域内 防火地域等：指定なし
用途地域	第1種低層住居専用地域
工事概要	
<p>【工事概要】</p> <p>管理教室棟の職員室平面レイアウトを変更する。 （間仕切壁等の撤去新設）これに伴う床、天井等内装改修、電気設備、機械設備等の改修をあわせて行う。</p> <p>《学校発注等の別途委託業務について》</p> <ul style="list-style-type: none">・今回の改修工事に伴い別途委託業務（電話、LAN、機械警備等）との関連調整が発生するため、事前に調整を行うこと。 <p>《解体撤去廃材処分について》</p> <ul style="list-style-type: none">・使用材料（下地材共）の詳細が不明であるため解体撤去廃材は、アスベスト含有レベル3とみなして処分する。	



配置図

S=1/1400

株式会社 テイク ◆ 住宅・地域システム研究所

一級建築士事務所（鳥取県知事登録 第05-1283号）・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装等改修工事

DATE
07.03.

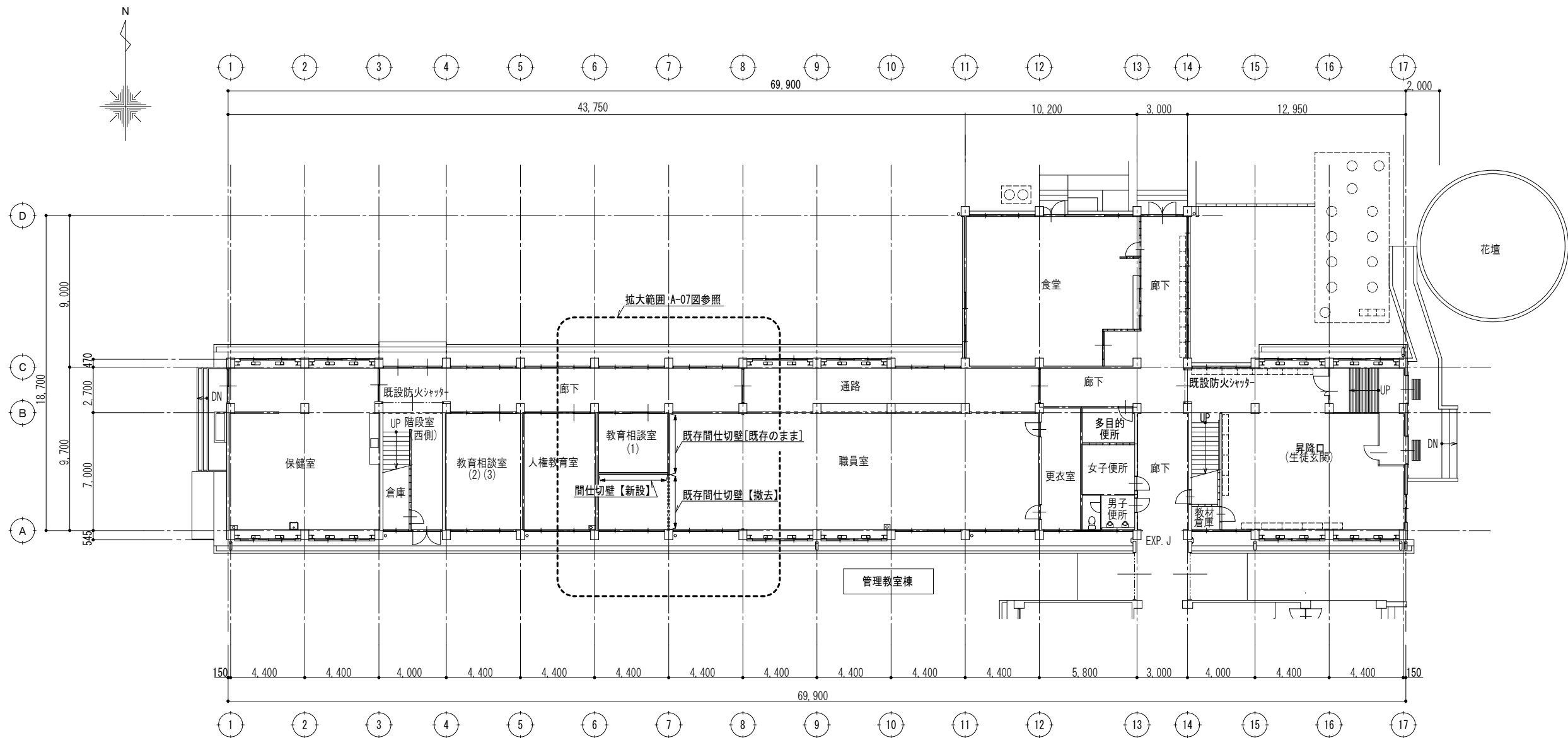
D.T 配置図
S 1/1400

管理建築士
大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

No. A-05

（図面サイズ A2版[100%]）

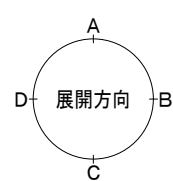
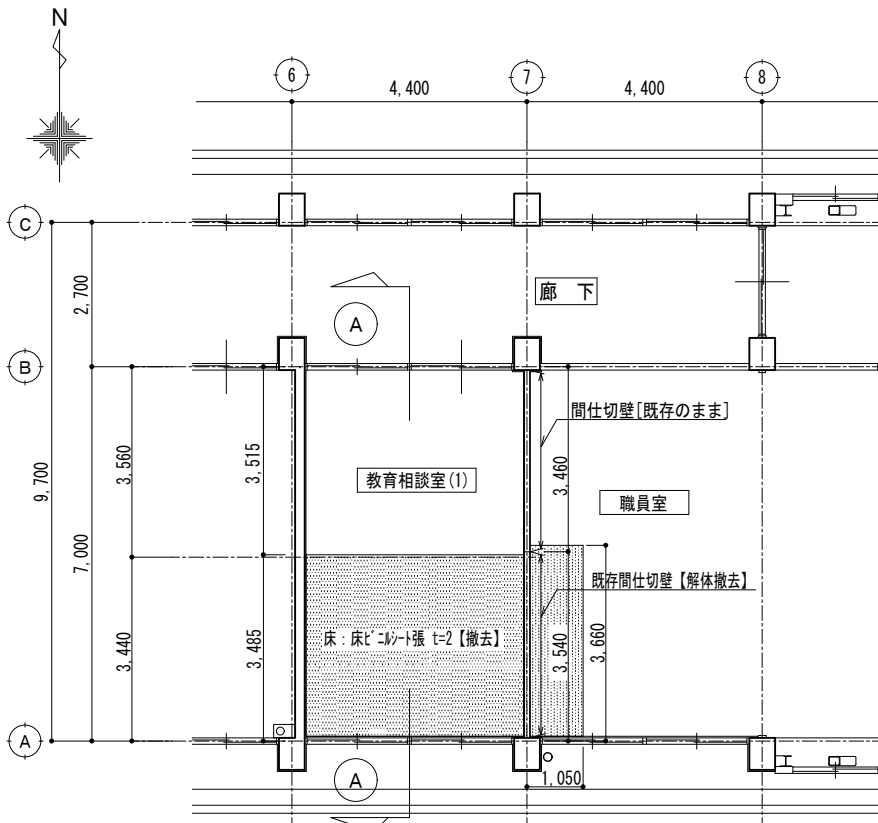
※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



1階平面図 S=1/200

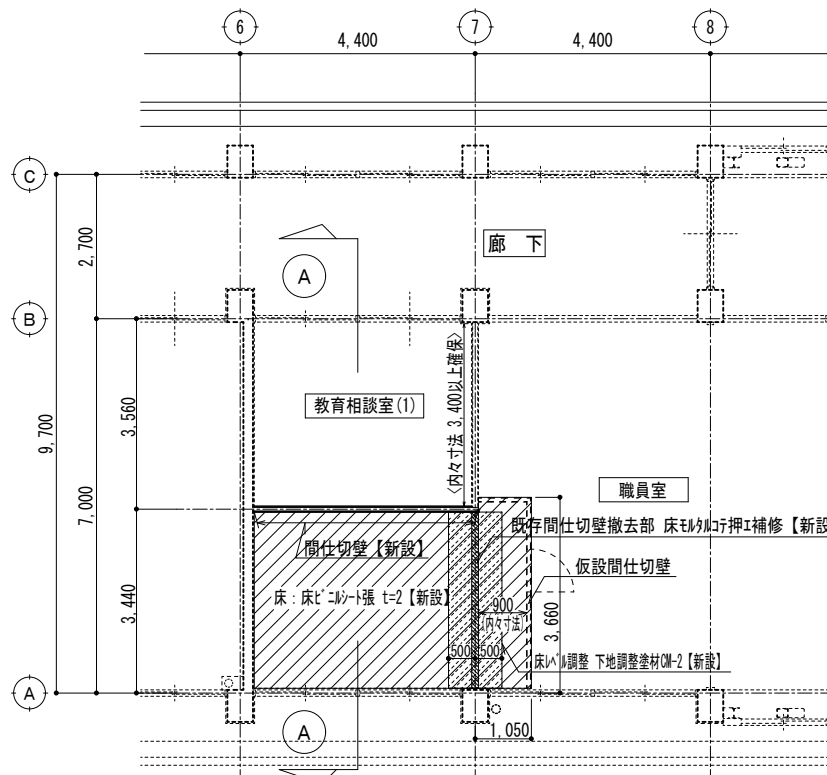
【工事内容】

- 管理教室棟の職員室平面レイアウトを変更し、職員室利用範囲を拡張する。
職員室・教育相談室(1)の間の既存間仕切壁(木下地)の一部を撤去し、間仕切壁(LGS)を新設する
《建築改修》
・既存間仕切壁の撤去、新設を行う。これに伴う床・壁・天井仕上げ(天井下地共)の内装改修、塗装改修、その他改修を行う。
《設備改修》 ※設備改修内容の詳細は設備図参照
・照明器具・コンセントの撤去、新設を行う。
・スイッチの新設、照明の点滅変更を行う。
・電話用・情報用アウトレットの撤去、新設を行う。
・天井カセットエアコン移設 冷媒管の撤去、新設を行う。

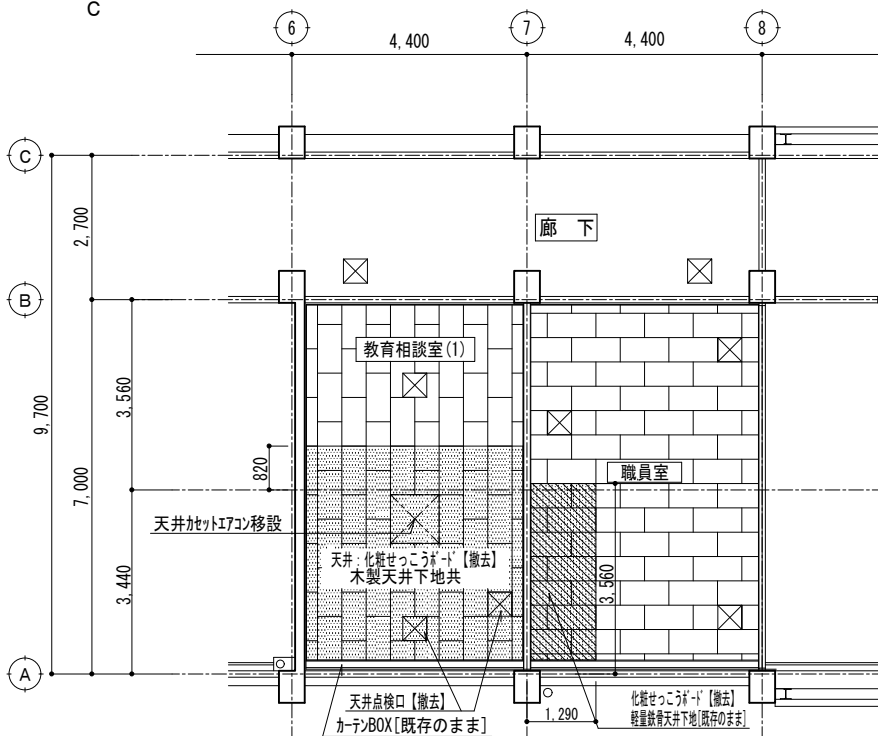


- 凡例
- 【撤去】床：床ビニール張 t=2 撤去範囲を示す
 - 【撤去】既存間仕切壁撤去範囲を示す

改修平面図 S=1/100

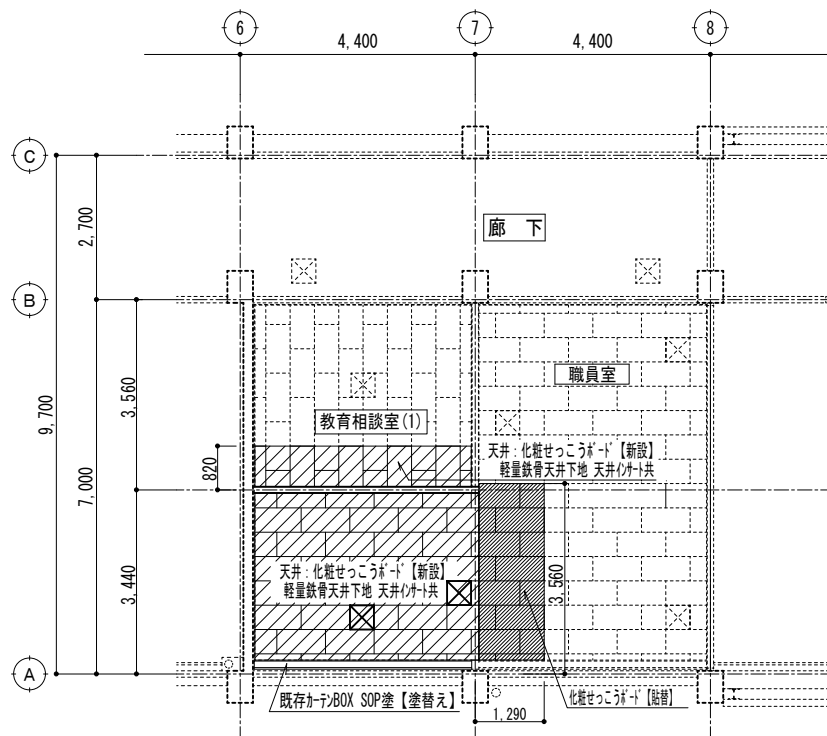


- 凡例
- 【新設】床：床ビニール張 t=2 新設範囲を示す
 - 【新設】既存間仕切壁撤去部床ビニール押し補修
 - 【新設】床ビニール調整 下地調整塗材CM-2



- 凡例
- 【撤去】天井：化粧せつこうボード 撤去範囲を示す
 - 木製天井地下地(2ヶ所)共
 - 【撤去】天井：化粧せつこうボード 撤去範囲を示す
 - 軽量鉄骨天井地下地【既存のまま】
 - 【既存のまま】天井点検口 450角 (天井撤去範囲以外)

改修天井伏図 S=1/100



- 凡例
- 【新設】天井：化粧せつこうボード 新設範囲を示す
 - 軽量鉄骨天井地下地
 - 【貼替】天井：化粧せつこうボード 貼替範囲を示す
 - 【新設】天井点検口 450角 (取付位置は打合せによる)

仕 上 表		
室名	【改修前】職員室	【改修後】職員室
床	床ビニール張 t=2【一部撤去】	床ビニール張 t=2【一部新設】 既存間仕切壁撤去部床ビニール押し補修【新設】 床ビニール調整 下地調整塗材CM-2【新設】
巾木	ビニール幅木 H=75【一部撤去】	ビニール幅木 H=75【新設 新設間仕切壁部 拡張部C・D面】 【その他部 既存のまま】
壁	ビニール紙【一部撤去】 せつこうボード下地 t=12 木下地【一部撤去】	A面：ビニール紙【新設 新設間仕切壁部】 せつこうボードt=12.5 2枚貼下地 軽量鉄骨間仕切下地【新設】 C面：EP塗【一部塗替え】 既存間仕切壁撤去部床ビニール押し補修【新設】 壁面不陸調整 下地調整塗材CM-2【新設】 D面：EP塗 モルタル塗下地【既存のまま】 ビニール紙 せつこうボード下地【既存のまま】
天井	化粧せつこうボード t=9.5【一部撤去】 軽量鉄骨天井地下地	化粧せつこうボード t=9.5【拡張部新設】 【その他部 既存のまま】 軽量鉄骨天井地下地【拡張部新設】
廻縁	木製 H=50【一部撤去】 塩ビ【一部撤去】	塩ビ【新設間仕切部取合】【新設】 木製 H=50【既存のまま】 塩ビ【既存のまま】
備考		既存カーテンBOX SOP塗【塗替え】

※ 解体撤去作業に伴い発生する廃材はアスベスト含有レベル3とみなして処分する。

仕 上 表		
室名	【改修前】教育相談室(1)	【改修後】教育相談室(1)
床	床ビニール張 t=2【一部撤去】	床ビニール張 t=2【既存のまま】
巾木	ビニール幅木 H=75【一部撤去】	ビニール幅木 H=75【新設 新設間仕切壁部】 【その他部 既存のまま】
壁	A・C・D面：EP塗 モルタル塗下地 B面：SOP塗 シンナー t=5.5下地 目透し貼【一部撤去】	A・D面：EP塗 モルタル塗下地【既存のまま】 B面：SOP塗 シンナー t=5.5下地 目透し貼【一部新設】 C面：EP塗 ケイカル板t=6下地 目透し貼【新設】 せつこうボードt=12.5 2枚貼下地 軽量鉄骨間仕切下地【新設】
天井	化粧せつこうボード t=9.5【一部撤去】 木製天井地下地【一部撤去】	化粧せつこうボード t=9.5 【新設間仕切壁部取合 新設】【その他部 既存のまま】 木製天井地下地【既存のまま】
廻縁	木製 H=50【一部撤去】 塩ビ【一部撤去】	塩ビ【新設間仕切部取合】【新設】 木製 H=50【既存のまま】 塩ビ【既存のまま】
備考	カーテンBOX PL-1.6加工 SOP塗【既存のまま】	

※ 解体撤去作業に伴い発生する廃材はアスベスト含有レベル3とみなして処分する。

防火・耐火認定番号一覧表		
・石膏ボード (GB-R) 厚12.5mm	:	不燃
・石膏ボード (GB-R) 厚9.5mm	:	準不燃

株式会社 テイク ◆ 住宅・地域システム研究所

一級建築士事務所 (鳥取県知事登録 第05-1283号)・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装等改修工事

DATE
07.03.

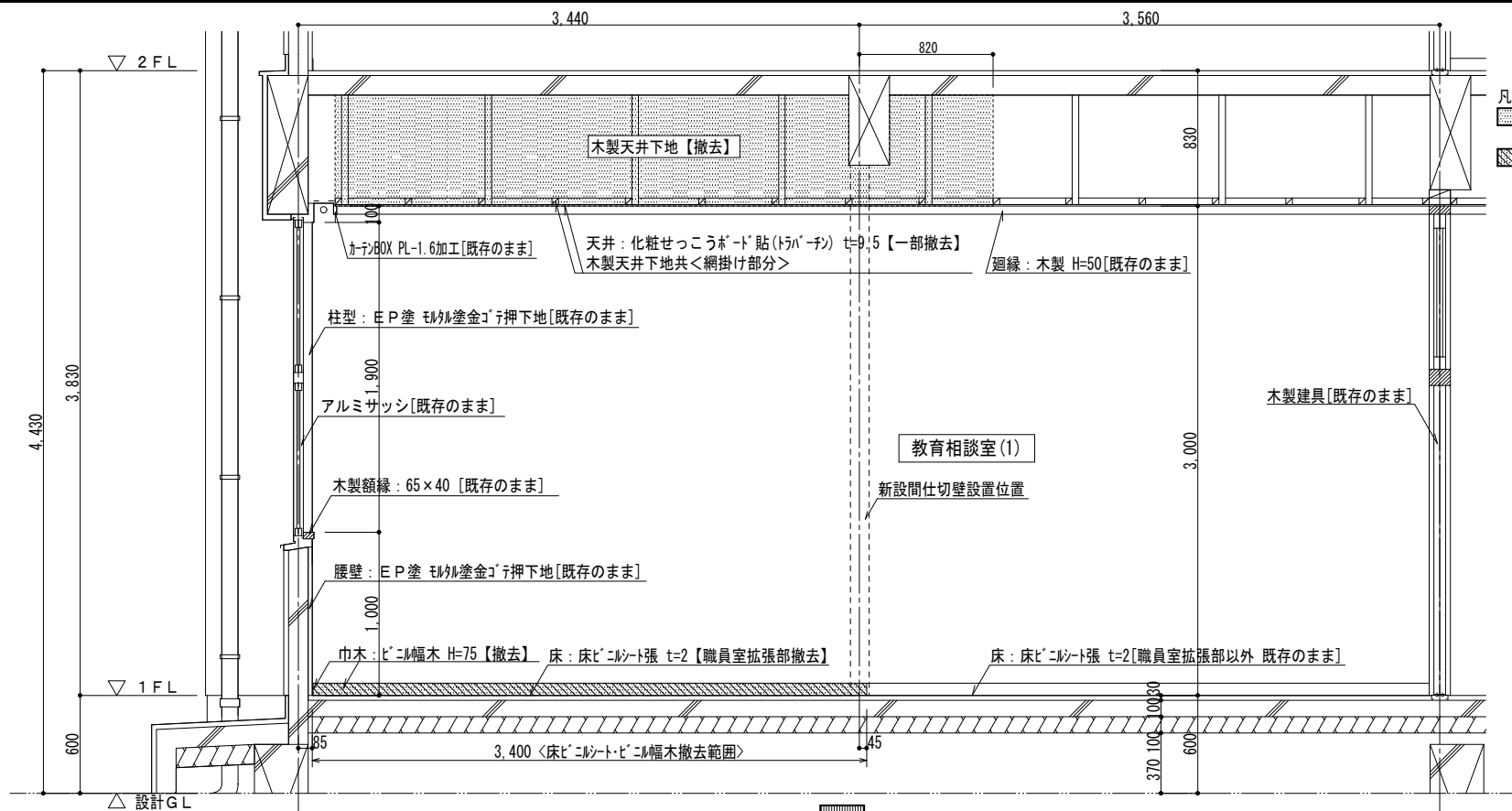
D.T 1階改修平面図 各伏図
S 1/100

管理建築士
大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

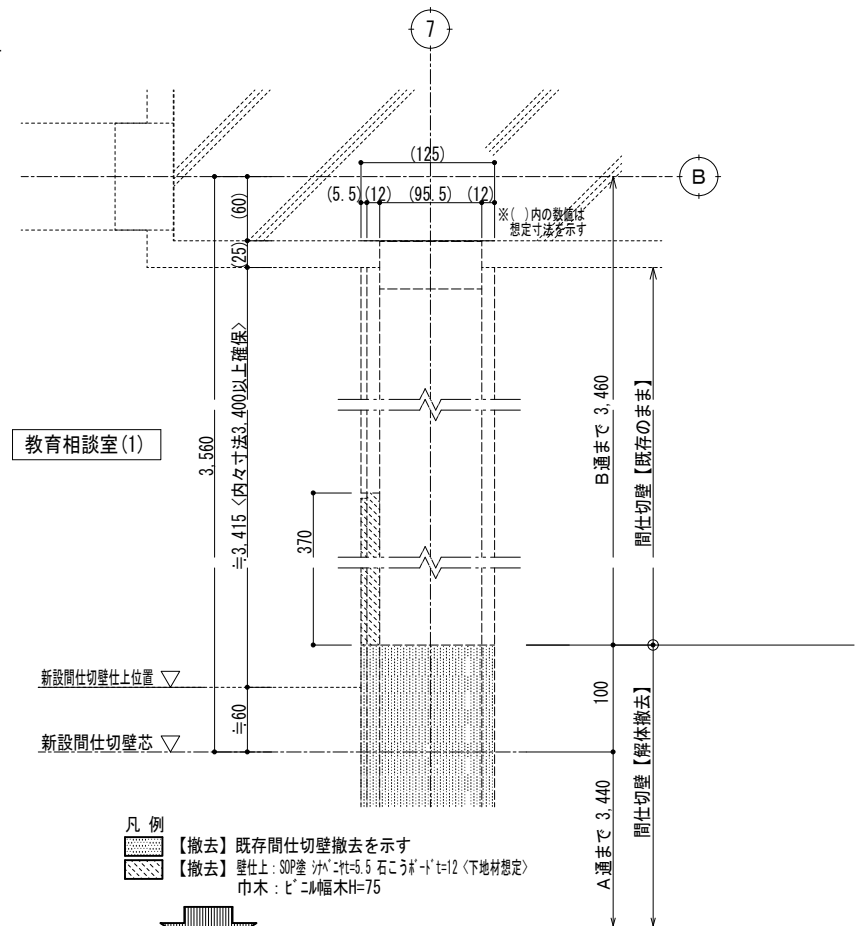
No. A-07

(図面サイズ A2版[100%])

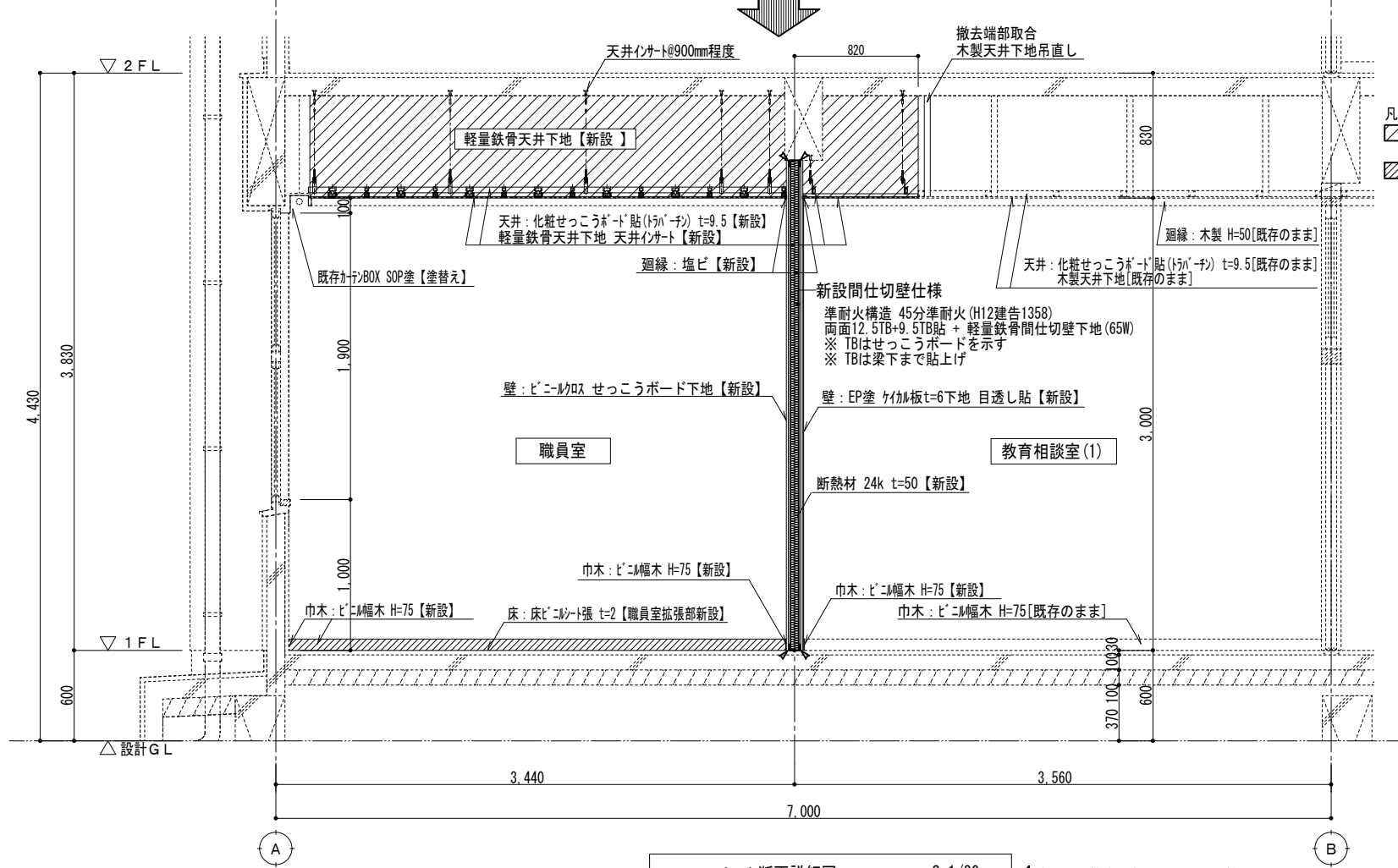
※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



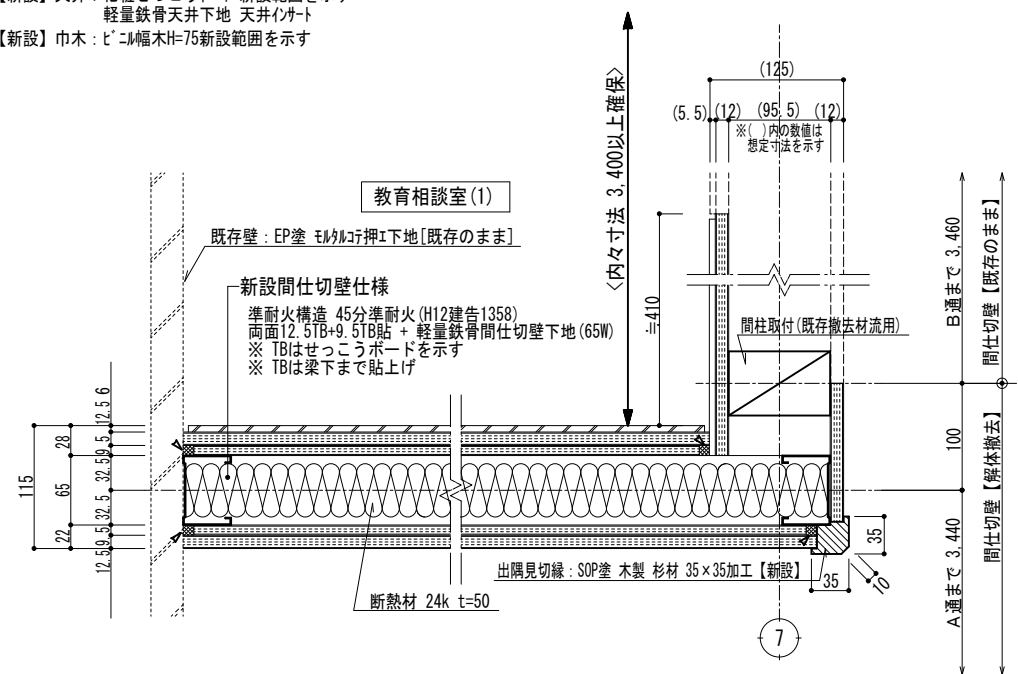
- 凡例
- 【撤去】天井：化粧せっこうボード撤去範囲を示す
木製天井下地共
 - 【撤去】巾木：ビニル幅木H=75撤去範囲を示す



- 凡例
- 【撤去】既存間仕切壁撤去を示す
 - 【撤去】壁仕上：SOP塗 巾木：t=9.5 石膏ボードt=12 (下地材想定)
 - 巾木：ビニル幅木H=75

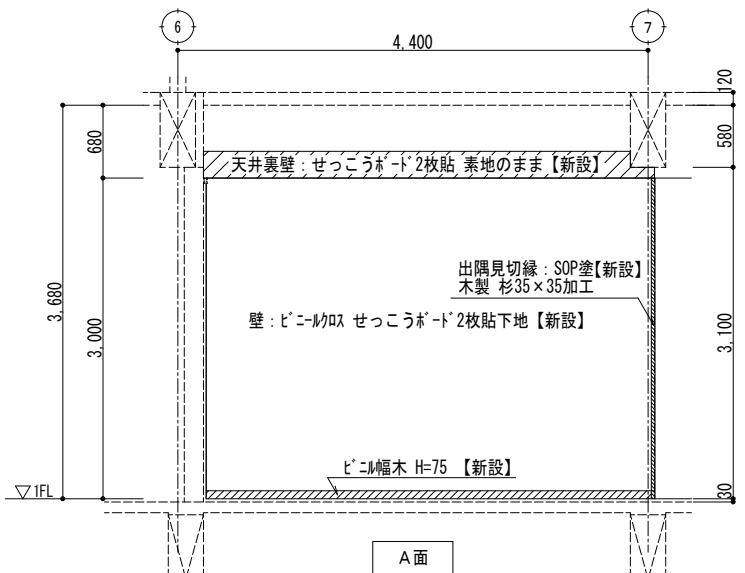


- 凡例
- 【新設】天井：化粧せっこうボード新設範囲を示す
軽量鉄骨天井下地 天井インサート
 - 【新設】巾木：ビニル幅木H=75新設範囲を示す

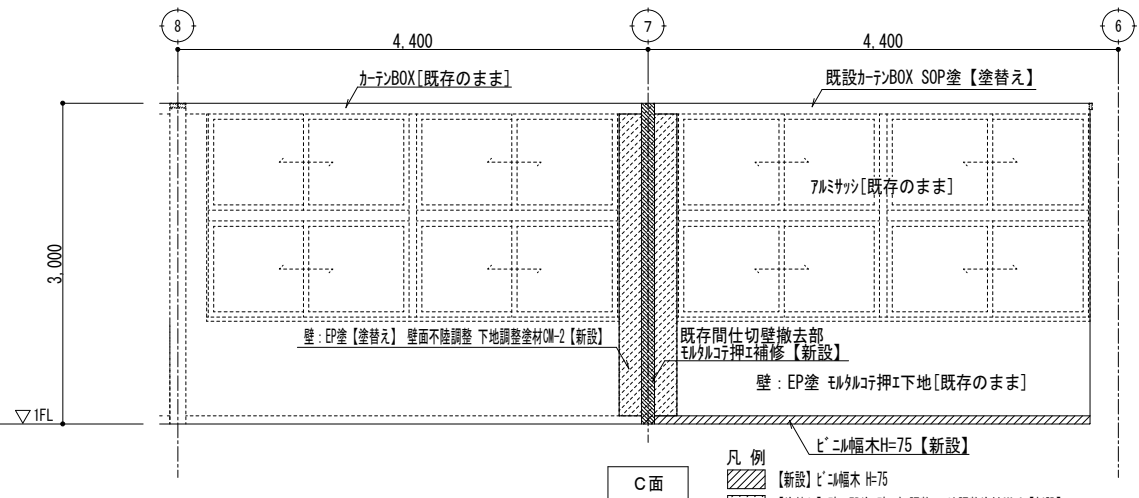
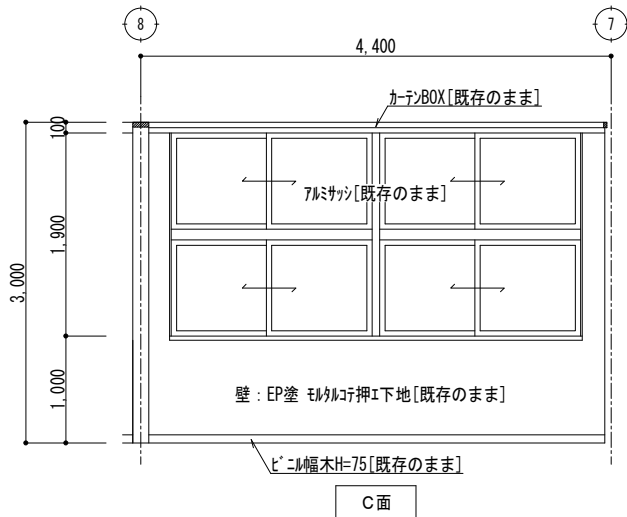


新設間仕切壁部分詳細図 S=1/5 新設間仕切壁躯体取合部四周処理 耐火シリング 打 MS-2 10×10

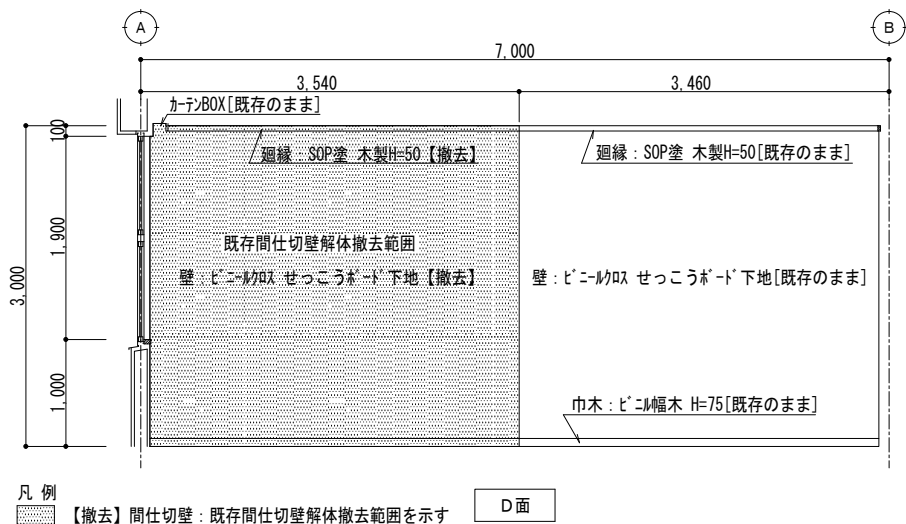
A-A 断面詳細図 S=1/30 新設間仕切壁躯体取合部四周処理 耐火シリング 打 MS-2 10×10



凡 例
【新設】天井裏壁(梁下付): せつこうボード2枚貼 素地のまま【新設】
【新設】ビニル幅木 H=75



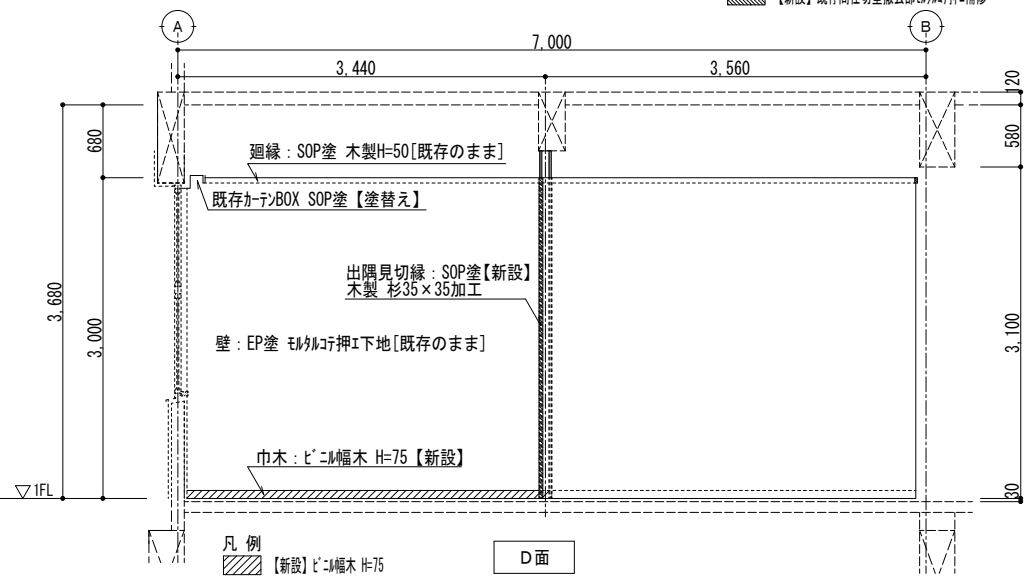
凡 例
【新設】ビニル幅木 H=75
【塗替え】壁: EP塗 壁ペーパー調整 下地調整塗材CM-2【新設】
【新設】既存間仕切壁撤去部モルタル押エ補修



凡 例
【撤去】間仕切壁: 既存間仕切壁解体撤去範囲を示す

【改修前】職員室展開図

S=1/50



凡 例
【新設】ビニル幅木 H=75

【改修後】職員室展開図

S=1/50

仕 上 表

室名	【改修前】職員室	【改修後】職員室
床	床ビニルシート張 t=2【一部撤去】	床ビニルシート張 t=2【一部新設】 既存間仕切壁撤去部床モルタル押エ補修【新設】 床ペーパー調整 下地調整塗材CM-2【新設】
巾木	ビニル幅木 H=75【一部撤去】	ビニル幅木 H=75【新設 新設間仕切壁部 拡張部C・D面】 【その他部 既存のまま】
壁	ビニル幅木【一部撤去】 せつこうボード下地 t=12 木下地【一部撤去】	A面: ビニル幅木【新設 新設間仕切壁部】 せつこうボードt=12.5 2枚貼下地 軽量鉄骨間仕切下地【新設】 C面: EP塗【一部塗替え】 既存間仕切壁撤去部モルタル押エ補修【新設】 壁面不陸調整 下地調整塗材CM-2【新設】 D面: EP塗 モルタル塗下地【既存のまま】 ビニル幅木 せつこうボード下地【既存のまま】
天井	化粧せつこうボード t=9.5【一部撤去】 軽量鉄骨天井下地	化粧せつこうボード t=9.5【拡張部新設】 【その他部 既存のまま】 軽量鉄骨天井下地【拡張部新設】
廻縁	木製 H=50【一部撤去】 塩ビ【一部撤去】	塩ビ【新設間仕切部取合】【新設】 木製 H=50【既存のまま】 塩ビ【既存のまま】
備考		既存カーテンBOX SOP塗【塗替え】

※ 解体撤去作業に伴い発生する廃材はアスベスト含有レベル3とみなして処分する。

防火・耐火認定番号一覧表

・石膏ボード (GB-R) 厚12.5mm	不燃
・石膏ボード (GB-R) 厚9.5mm	準不燃

株式会社 テイク ◆ 住宅・地域システム研究所

一級建築士事務所 (鳥取県知事登録 第05-1283号)・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装等改修工事

DATE
07.03.

D.T 展開図1【改修前・後】
S 1/50

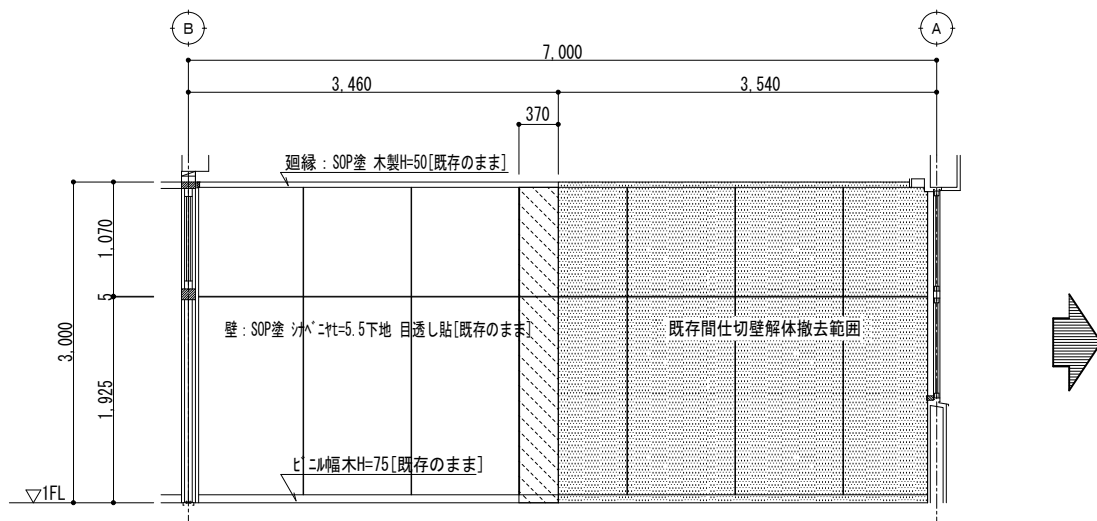
C根 D根

管理建築士
大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

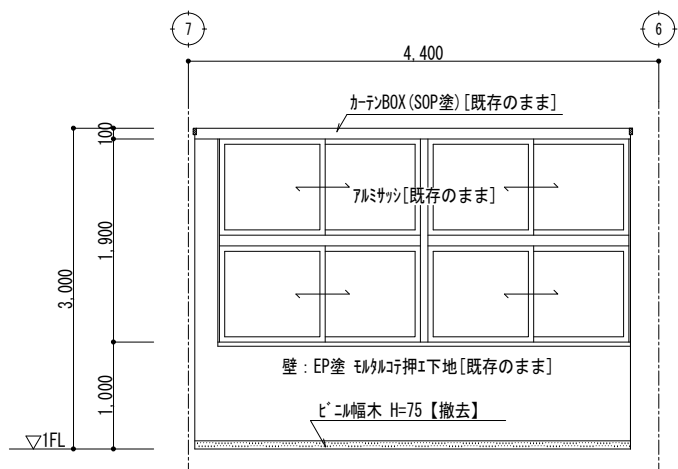
No. A-09

(図面サイズ A2版[100%])

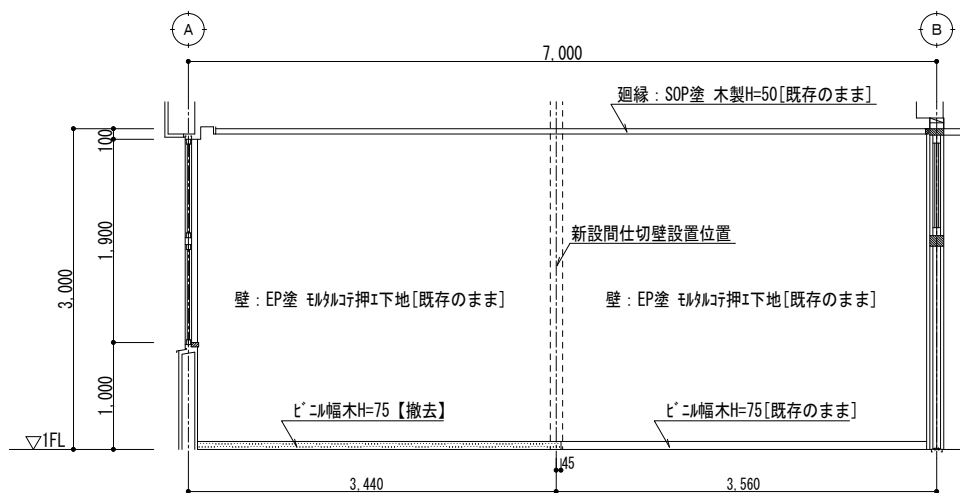
※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



凡 例
【撤去】間仕切壁：既存間仕切壁解体撤去範囲を示す
【撤去】壁仕上：SOP塗 シパニヤt=5.5 石こうボードt=12 (下地材想定)
巾木：ビニル幅木H=75

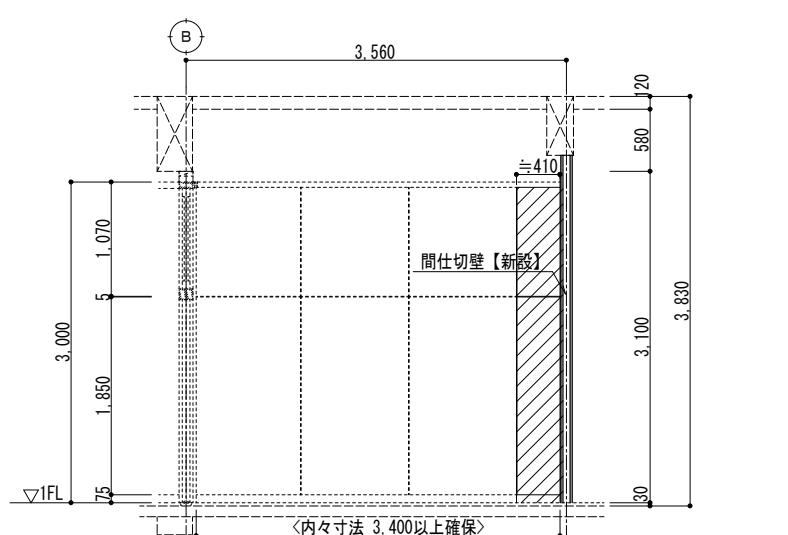


凡 例
【撤去】巾木：ビニル幅木撤去範囲を示す

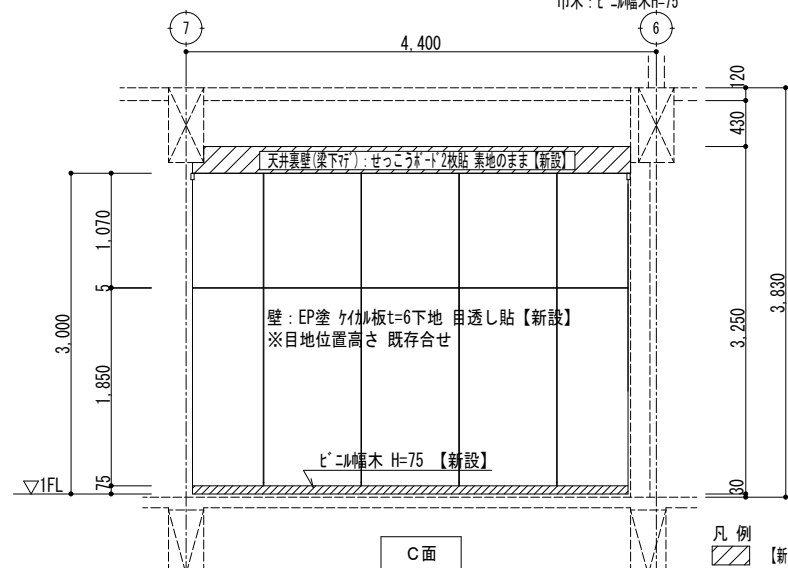


凡 例
【撤去】巾木：ビニル幅木撤去範囲を示す

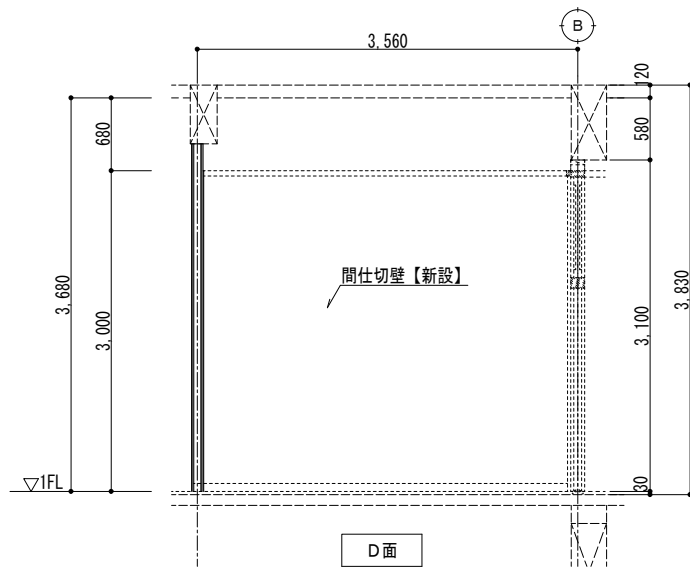
【改修前】教育相談室(1)展開図 S=1/50



凡 例
【新設】壁仕上：SOP塗 シパニヤt=5.5 石こうボードt=12.5
巾木：ビニル幅木H=75



凡 例
【新設】天井裏壁(梁下付)：せっこうボード2枚貼 素地のまま新設範囲を示す
【新設】ビニル幅木 H=75

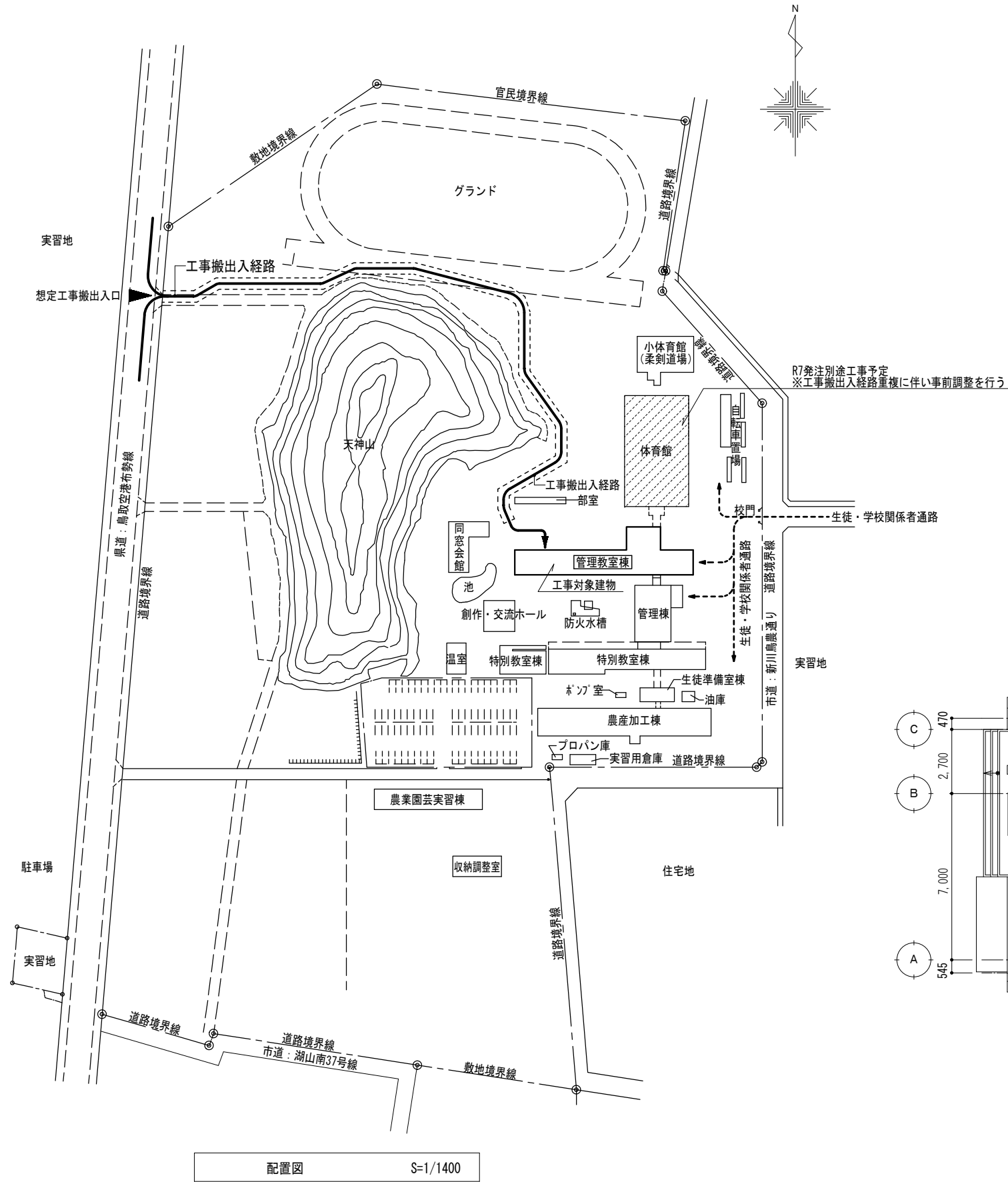


【改修後】教育相談室(1)展開図 S=1/50

仕 上 表		
室名	【改修前】教育相談室(1)	【改修後】教育相談室(1)
床	床ビニルシート張 t=2 【一部撤去】	床ビニルシート張 t=2 【既存のまま】
巾木	ビニル幅木 H=75 【一部撤去】	ビニル幅木 H=75 【新設 新設間仕切壁部】 【その他部 既存のまま】
壁	A・C・D面：EP塗 モルタル塗下地 B面：SOP塗 シパニヤt=5.5下地 目透し貼 【一部撤去】	A・D面：EP塗 モルタル塗下地 【既存のまま】 B面：SOP塗 シパニヤt=5.5下地 目透し貼 【一部新設】 C面：EP塗 ケイカル板t=6下地 目透し貼 【新設】 せっこうボードt=12.5 2枚貼下地 軽量鉄骨間仕切下地 【新設】
天井	化粧せっこうボード t=9.5 【一部撤去】 木製天井下地 【一部撤去】	化粧せっこうボード t=9.5 【新設間仕切壁部取合 新設】 【その他部 既存のまま】 木製天井下地 【既存のまま】
廻縁	木製 H=50 【一部撤去】 塩ビ 【一部撤去】	塩ビ<新設間仕切部取合> 【新設】 木製 H=50 【既存のまま】 塩ビ 【既存のまま】
備考	カーテンBOX PL-1.6加工 SOP塗 【既存のまま】	

※ 解体撤去作業に伴い発生する廃材はアスベスト含有レベル3とみなして処分する。

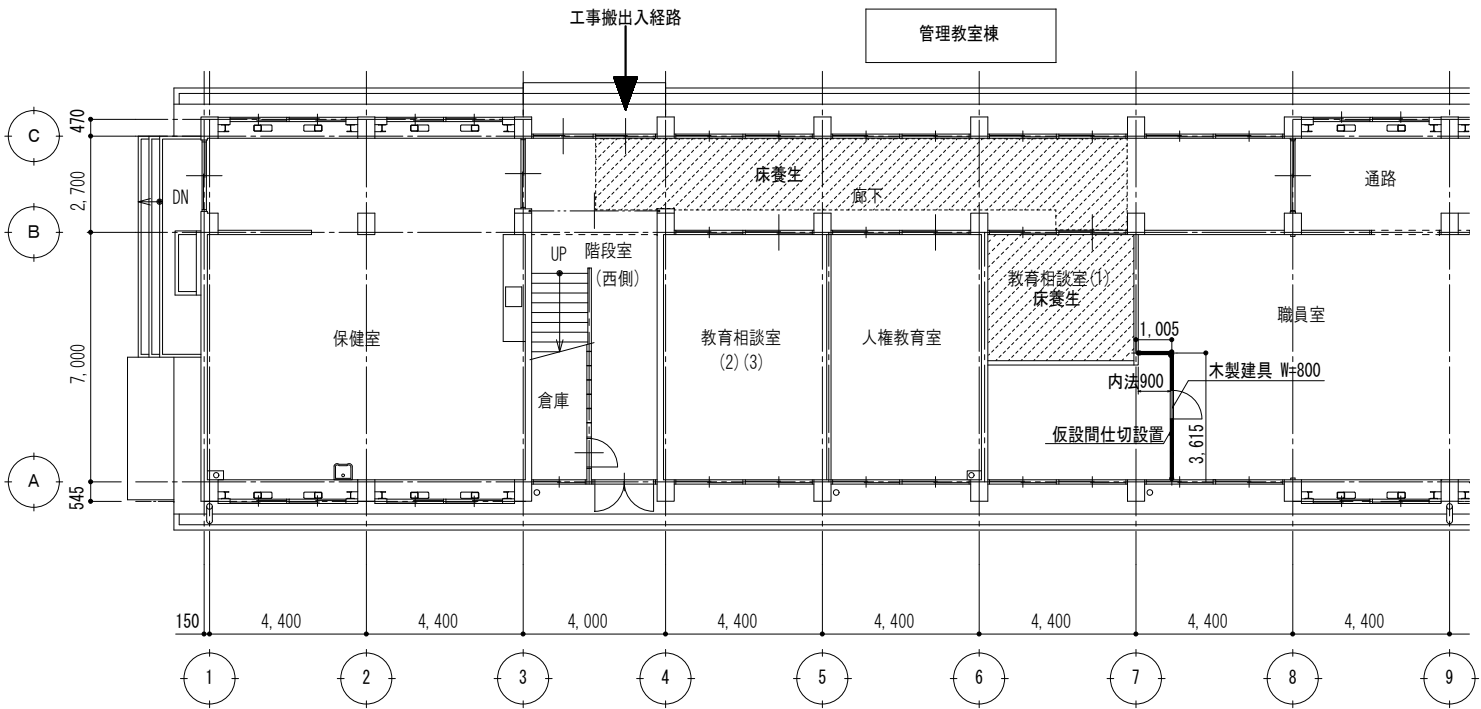
防火・耐火認定番号一覧表		
・石膏ボード (GB-R) 厚12.5mm	・石膏ボード (GB-R) 厚9.5mm	不燃
・石膏ボード (GB-R) 厚9.5mm		準不燃



配置図 S=1/1400

自 令和 年 月 日	概略工事工程表																			
至 令和 年 月 日	工事名：県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装等改修工事																			
件 名	1ヶ月目					2ヶ月目					3ヶ月目									
	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25
事前準備期間	施設担当者・監督員打ち合せ・現地確認 施工関係書類作成・資材発注																			
仮 設 工 事						仮設間仕切壁 床養生設置										仮設間仕切壁 床養生撤去 清掃片付け				
既設建物撤去						既存部解体撤去														
既設建物改修											軽量鉄骨間仕切壁 天井地下工事					内装・塗装仕上げ工事 仮設取合補修				
電 気 設 備						既存器具ほか撤去					配管・配線					器具類取付				
機 械 設 備										既存エアコン移動										
別途業者 [TEL・LAN・警備等]						既存配線ほか撤去 仮稼働設定					配管・配線					器具類取付				

上記工程表はあくまでも想定であり、受注者の工程計画を拘束するものではない。なお詳細工程は事前に監督員、施設管理者等と協議の上作成すること。



仮設計画図(参考図) S=1/150

仮設間仕切(A種)
プラスターボードt=9.5 両面貼付 素地のまま
軽量間仕切壁下地 W=65 断熱材充填
鳥取県令和6年度
J2401873
東部建築住宅
事務所

株式会社 テイク ◆ 住宅・地域システム研究所
一級建築士事務所（鳥取県知事登録 第05-1283号）・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装等改修工事
DATE 07.03.
D.T 仮設計画図
S 1/1400 1/150

管理建築士
大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

No. A-11
(図面サイズ A2版[100%])

※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。

I. 工事概要

2 建物概要

3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

◎ の付いたものを適用する。

株式会社 テイク◆住宅・地域システム研究所

一級建築士事務所（鳥取県知事登録 第05-1283号）・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

II. 特記仕様

1 一般事項

(1) 現場說明書、質問回答書、

- の付いたものによる。
- ① 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 - ② 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
 - ③ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準図」という。）
- (２)国土交通省大臣官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和４年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
- (３)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は●の付いたものを適用する。
- の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。●と※の付いた場合は共に適用する。
- (3) 一般共通事項のうち (1, 2, 4, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 35) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。

一、船夫運學項

11 他工事との取合い

12 工事用電力・水・その他
13 表 示 板

14 足 場

本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ、機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承認を受ける。

なお、（社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。

使用する機材がⅢ 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。

提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。

国土交通省大臣官庁庁舎管轄部室監修の「工事写真真影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督機関の指示による。下記のものを提出する。

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区 分	名 称	部 数
※ 完成図原図	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1 部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ※ 完成図（縮小版） ● 施工図	● 部
※ 完成図書 ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本	● 完成図（縮小版） ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 A4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署届出書類		1 部

● 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

他 工 事 と の 取 合 い		電 気 設 備	機 械 設 備	建 築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補 強	●	●	※
	スリーブ・箱入	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		●	●	※
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		※	●	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●
● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 補 強	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		●	●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切 り 込 み 補 強	※ ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（蓋を含む）		●	●	※
● 機器付風の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●
● 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	※	●
● テレビアンテナ	基 礎 アンカーボルト	● ● ● ● ※ ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●
● 天井点検口		●	●	※
● 自立型制御盤の基礎		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋 上 設 置	※ ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。（寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する）

[illegible]

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり据え置き兼足場方式より行う。

令和6年度
J2401873

東部建築住宅
事務所

※図面表記縮尺はA 2 版印刷時の縮尺を示す。

15工事用仮設物

16土工事

17電線類

18電線本数・管路等

19屋外露出配管の仕上げ

20露出配管の塗装（付属品含む）

21波付硬質合成樹脂管（FEP）

22フラッシュプレートの材質

23カバープレートの表示

24ブルボックスの塗装

25耐震施工

構内につくることが出来るできない

埋め戻し土※根切土の中の良質土山砂の類真砂土

建設発生土の処理●構外に搬出し適切に処理※構内敷きならし●構内の指示する場所に堆積

本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。

EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。

盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。

ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ〔めっき付着量300g/mf以上〕とする。

塗装する部分●屋上●屋側●屋外●廊下●機械室●居室（）●

波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

●金鳳梨（ステンレス、新金属も含む）●樹脂製

シール等を貼付し、用途を表示する。

ステンレス製ブルボックスの塗装※無（素地仕上）●有（指定色仕上）

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

1）機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0		1.5	1.0
	防振支持の機器			2.0	1.5
	水槽類			1.5	1.0
中間階	機器	1.5		1.0	0.6
	防振支持の機器			1.5	1.0
	水槽類			1.0	0.6
地下及び1階	機器	1.0		0.6	0.4
	防振支持の機器			1.0	0.6
	水槽類		1.5		0.6

上層階の定義2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階
中間階の定義地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器（●配電盤●非常用発電装置●交換装置●直流電源装置●UPS装置●火災報知受信機●中央監視制御装置●通信総合盤●）

2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

3）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。

接地極の材料は次による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
●共同接地	E _{AED}	10Ω以下	EB×3連－2組
●共同接地	E _{AECED}	10Ω以下	EB×3連－2組
●A種	E _A	10Ω以下	EB×3連－2組
●B種	E _B	Ω以下	EB×2連－2組
●C種	E _C	10Ω以下	EB×3連－2組
●D種	E _D	100Ω以下	EB×1
●高圧避雷器	E _{LH}	10Ω以下	EB×3連－2組
●交換機用	E _t	Ω以下	EB×3連－1組
●通信用	E _{At}	10Ω以下	EB×3連－2組
●通信用	E _{Dt} 及びE _{Da}	100Ω以下	EB×1
●電話引込口の保安器用	E _{Lt}	100Ω以下	EB×1
●測定用	E _o	－	EB×1

（連結の場合、EBはD＝14L＝1500またはW＝40L＝1200とする）
（E_o、E_{o1}、E_{o2}、E_{L1}、E_oの場合、EBはD＝10L＝1000またはW＝30L＝900以上とする）
（その他単独の場合、EBはD＝14L＝1500またはW＝40L＝1200とする）

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。

外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）9章環境配慮改修工事1節石綿含有建材の除去工事による。

処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。

※官公署その他への手続きは、同じ仕様によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

●施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。

分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

●アスベスト粉じん濃度測定を行う。

（測定時期：測定場所：測定点：）

●洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備を設ける。

●作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。

対象箇所（）

30補修など

31はつり

32はつり工事における非破壊検査

33あと施工アンカー

34室内空気中の化学物質の濃度測定

35火災保険等

36鳥取県公共事業環境配慮指針

37建築物省エネ法

1照明器具

2一般照明の照度測定

3非常用照明の照度測定

4照明制御の照度測定等

1機器への接続

2大地抵抗率の測定

2外部雷保護設備接地システム

1変圧器移動車輪

2デマンド監視装置

3盤内照明

1交流無停電電源装置（UPS）

1自家発電装置

●ディーゼル発電装置

●ガスエンジン発電装置

●ガスタービン発電装置

●熱供給発電装置

●燃料電池発電装置

2太陽光発電装置

3風力発電装置

1交換装置

2保安器用接地

3壁付電話機との接続

4回線数

5電話機

6電話機への配線

1マルチサイン装置

2出退表示装置

3時刻表示装置

1プロジェクト

8情報表示設備

9映像音響設備

工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷又は破壊した場合は、既成にならい補修する。

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

探査方法※電磁誘導式●放射線透過検査●

1）施工後確認試験※行わない●行う

試験方法引張試験機による引張試験

確認強度対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上

試験箇所数1施工単位に対し1本以上

対象機器●配電盤●発電装置●直流電源装置●太陽光発電装置

実施する。

工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。

（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）

※対象工事

※対象工事

1）LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。

LEDの光源色（※昼白色●温白色●電球色）

測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。）

※設置した各部屋2箇所以上●

明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。

照度測定時期100%点灯時（※夜間●昼間）

調光制御点灯時（※夜間※昼間）

※電動機などへの接続は本工事とする。●別途工事

●別途工事

●工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地地権者略判定記録書を監督職員に提出する。

●構造体利用接地極●A型接地極●B型接地極

75kV以上に取り付。

●本工事●別途工事

前・後に設置する。

停電補償時間（分）

方式（●常時インバータ給電方式●ラインインタラクティブ方式●常時商用給電方式）

運転時間（h）

系統連系（●高圧連系●高圧受電低圧みなし連系●低圧連系●無）

出力（kW）

配電盤外箱（●有●無）

保安装置（重故障項目特記●有●無）

外部用端子（●要●不要）

減圧水槽及び初期注水槽の材質（●鋼板製●ステンレス鋼板製）

オイルタンク（●地下●屋内）

据付：機械設備工事標準図（●施工30、32（タンク室無し）●施工31、33（タンク室有り））

燃料小出槽（注）：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。

材質（●鋼板製●ステンレス製）

燃料油等（●灯油●軽油●重油●燃料ガス（））

排気系統配管断熱材の厚さ（mm）

ばい煙測定口（●設ける●設けない）

排気ガスに含まれる窒素酸化物（以下）

運転音（dB以下）

系統連系（●高圧連系●高圧受電低圧みなし連系●低圧連系●無）

公称最大出力（kW）

耐風速（m/s）

パワーコンディショナ（相線式V）

定格容量（kW）

自立運転機能（●有●無）

表示装置（●有●無）

方式（※液晶●）

系統連系（●高圧連系●高圧受電低圧みなし連系●低圧連系●無）

定格出力（kW）

局線応答方式（●局線中継台方式●分散中継台方式●ダイヤルイン方式●ダイレクトインダイヤル方式●ダイレクトインライン方式）

停電補償時間（分）

※本工事●別途工事

※モジュラージャック●電話用プレート

内線／／回線局線／／回線（現用／実装／容量）

●一般電話機台●多機能電話機台●ファクシミリ台

●デジタルコードレス電話機台●IP電話機台

卓上電話機1台につき次のものを見込む。

●ボタン電話機（●EM-BTIEE0.4-2P●）（※15m●）

●内線電話機（●EM-TIEF0.65-2C●TIVF0.65-2C）（※15m●）

●多機能電話機（●EM-BTIEE0.4-2P●）（※15m●）

●IP電話機（●EM-UTP0.5-4P●）（※15m●）

イメージスキャナ（●設ける●設けない）

制御装置（●壁掛形●埋込形●据置形）

呼出機能（●有●無）

方式（●発光ダイオード●液晶●）

親時計（●壁掛形●回線●ラック形●回線）

太陽電池式屋外時計（点灯時間h点灯保証日数日）

光出力（●I形●II形●III形）

解像度（●A形●B形●C形）

コントラスト比（●X形●Y形）

10声備

11誘導

12火災報知設備

13構内配電線路

14構内通信線路

15テレビ電波受信障害調査

1増幅器

1音声誘導装置

1自動火災報知設備

2自動閉鎖設備

3ガス漏れ火災警報設備

1施工方法

2地中箱

3高圧負荷開閉器

4高圧ケーブルの端末部

5高圧ケーブルの屋外端末処理

6標識シート

7照明用ポール

1施工方法

2地中箱

3標識シート

1調査仕様

2テレビ電波受信障害調査時期

3受信する受信波及び地点数

4報告書提出部数

1機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名称	測点	取付高（mm）	
電力共通	取引用計器	地上～窓中心1,800～2,000	
	引込開閉器	地上～中心1,800～2,200	
電	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心1,500（上端1,900以下）	
	スイッチ	”1,300	
	”（多機能トイレ）	”1,100	
	コンセント（一般）	”300	
	”（和室）	”150	
	”（台所）	”台上～中心150	
	”（土間）	”床上～中心800～1,300	
	”（車椅子用）	”900	
	ブラケット（一般）	”2,100～2,300	
	”（踊場）	”2,000～2,500	
”（鏡上）	”鏡上端～中心150		
動力	壁掛形制御盤	”床上～中心1,500（上端1,900以下）	
	手元開閉器	”1,500	
	操作スイッチ	”1,300	
構内交換	端子盤	”床上～下端300	
	保安器箱	”天井下～上端200	
	壁付アウトレット	”床上～中心300	
	”（和室）	”150	
電気時計	壁掛形親時計	”床上～中心1,500（上限1,900以下）	
	子時計	”天井高×0.9	
拡声	壁掛形スピーカ	”床上～中心天井高×0.9	
	壁付アッテネータ	”1,300	

2工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

Ⅲ.機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による。

ただし、盛類は上記によるほか以下の製造業者とする。

㈱永井電機工業所	㈱平木電機産業
小林制御電機	㈱富士オートメーション
勝英産業㈱	㈱増岡電機製作所

株式会社 テイク◆住宅・地域システム研究所

一級建築士事務所（鳥取県知事登録 第05-1283号）・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装等改修工事

DATE07.03.

D.T電気設備工事特記仕様書（2）

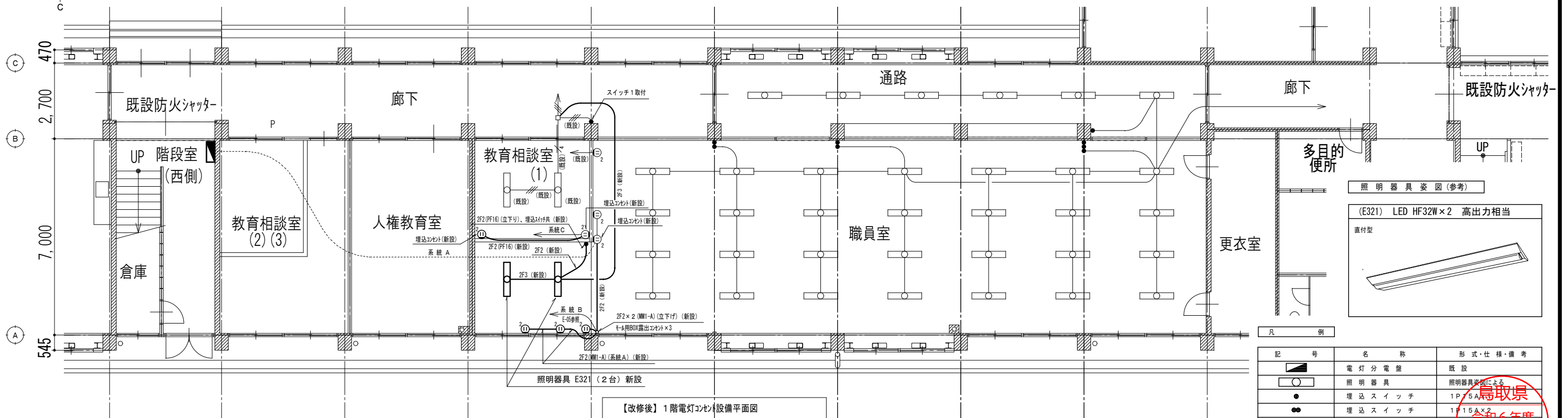
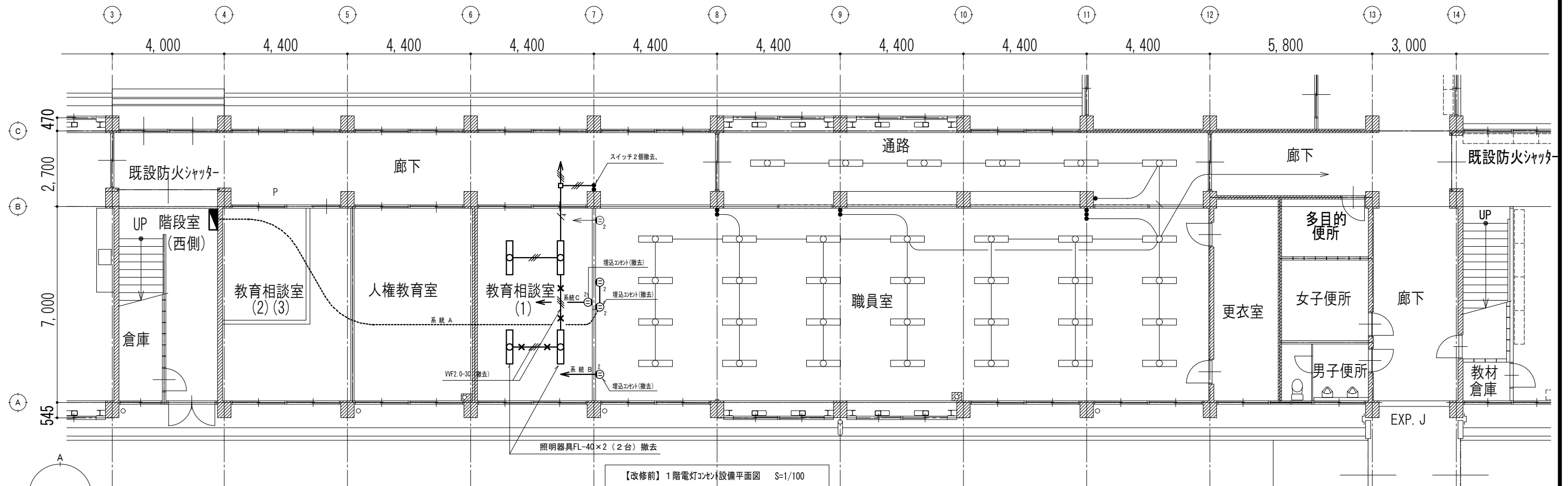
S

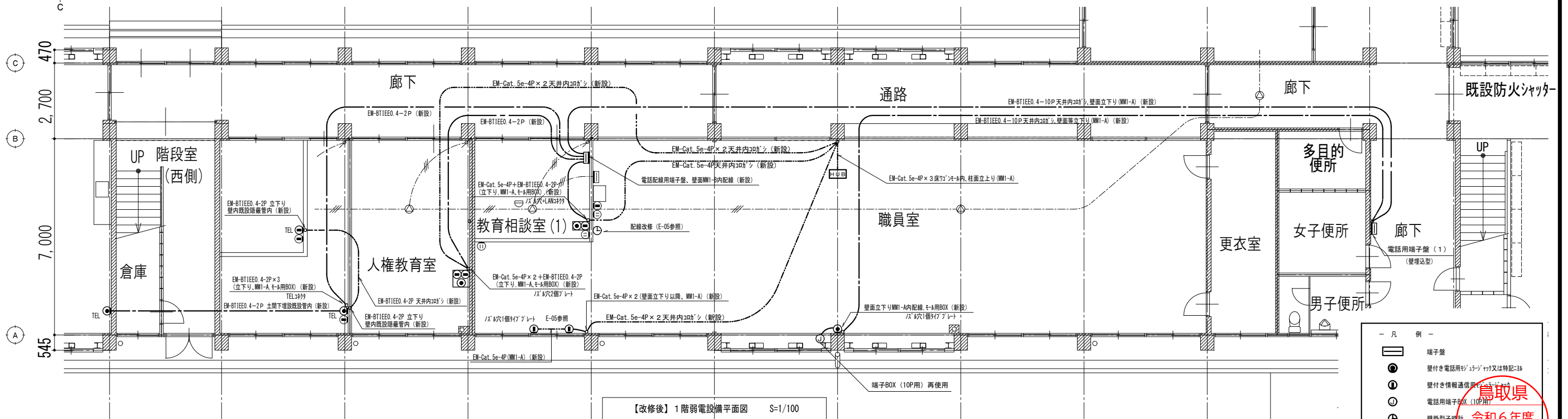
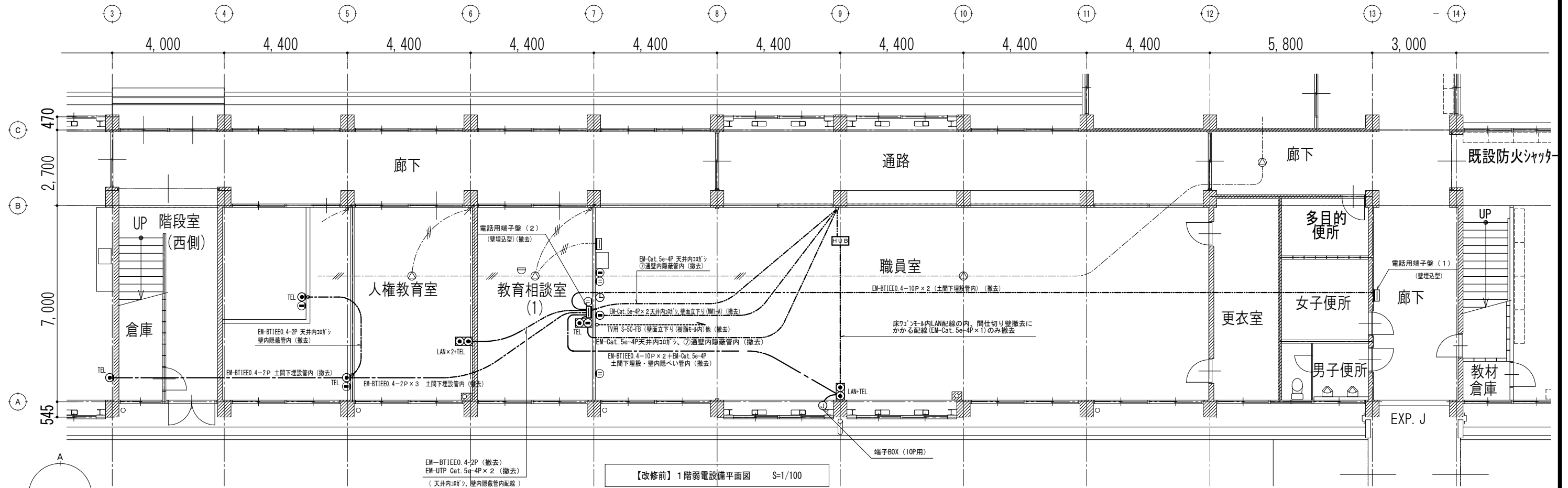
管理建築士
大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

No. E-02

（図面サイズ A2版[100%]）

※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。





※ 1. 既設放送設備・自火報設備は、既存のままとする。
2. 特記なき新設壁面配線は、MMI-A内配線とする。

株式会社 テイク ◆ 住宅・地域システム研究所

一級建築士事務所（鳥取県知事登録 第05-1283号）・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内装改修工事

DATE 07.03.

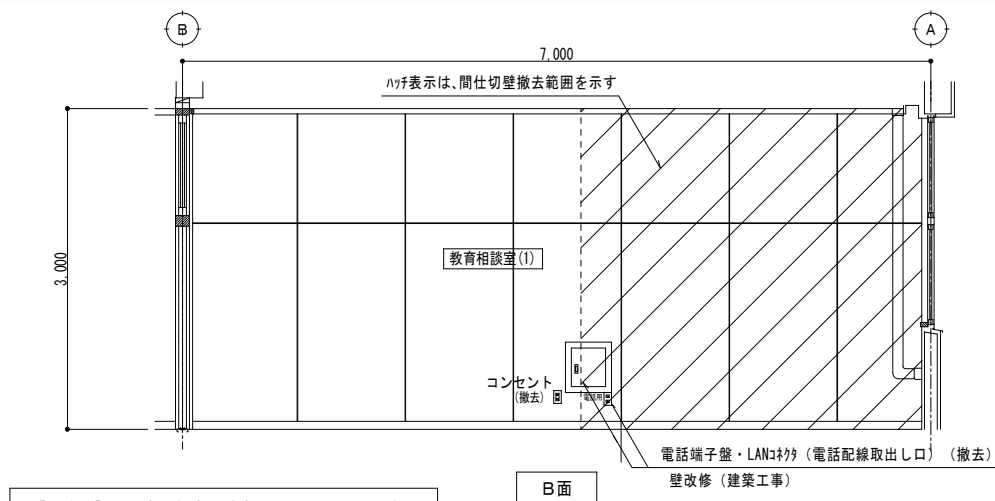
管理建築士
大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

No. E-04

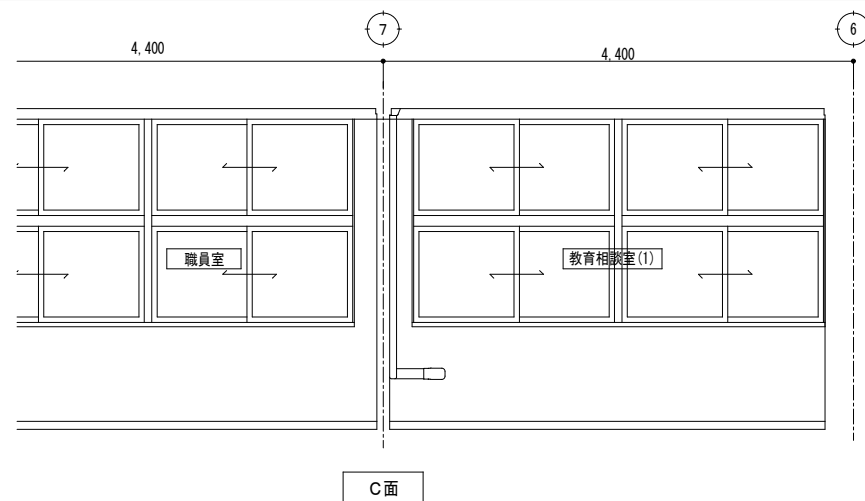
D.T 【改修前】【改修後】弱電設備平面図

S S=1/100

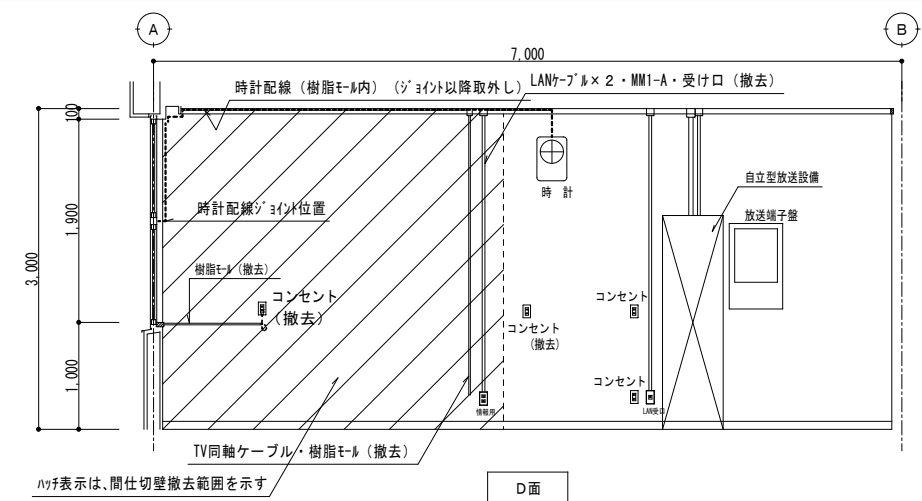
※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



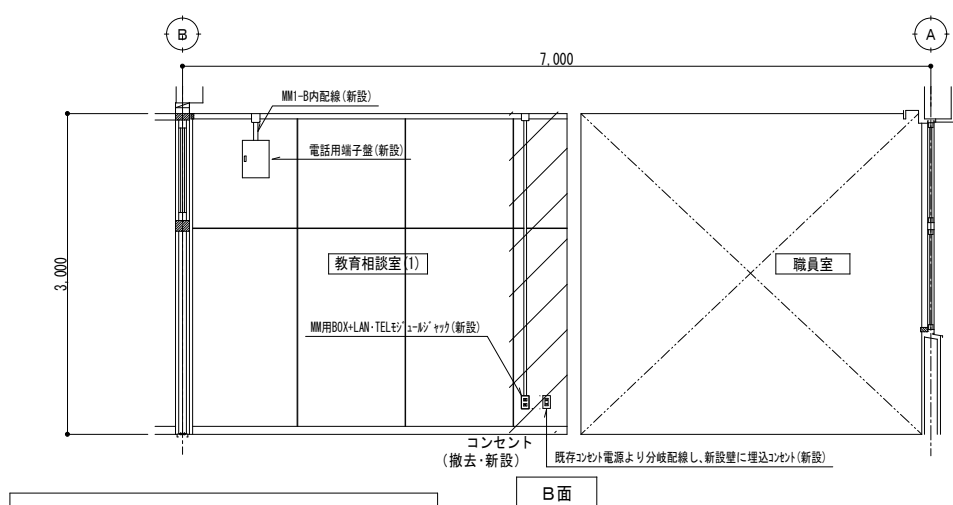
【改修前】職員室・教育相談室(1) 展開図 S=1/50



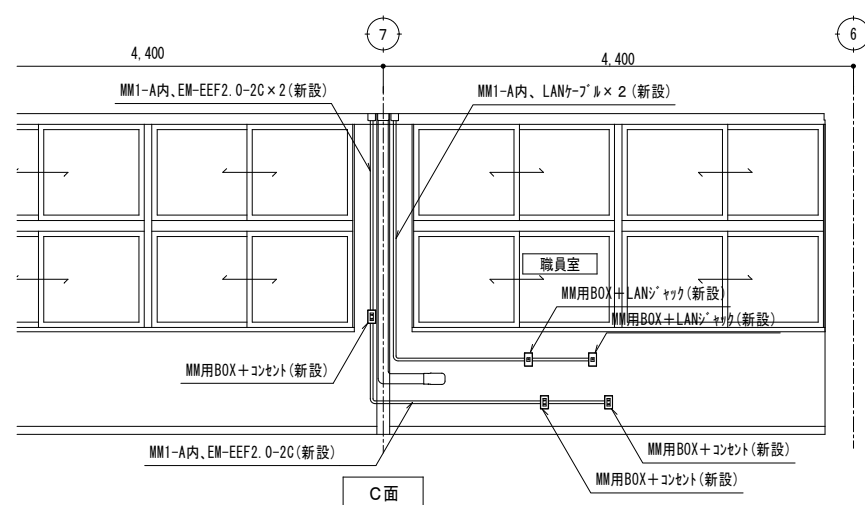
C面



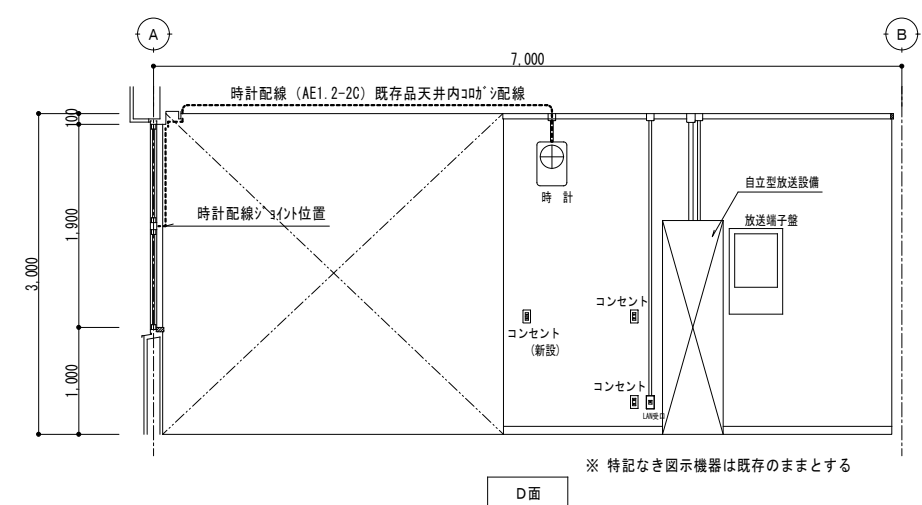
D面



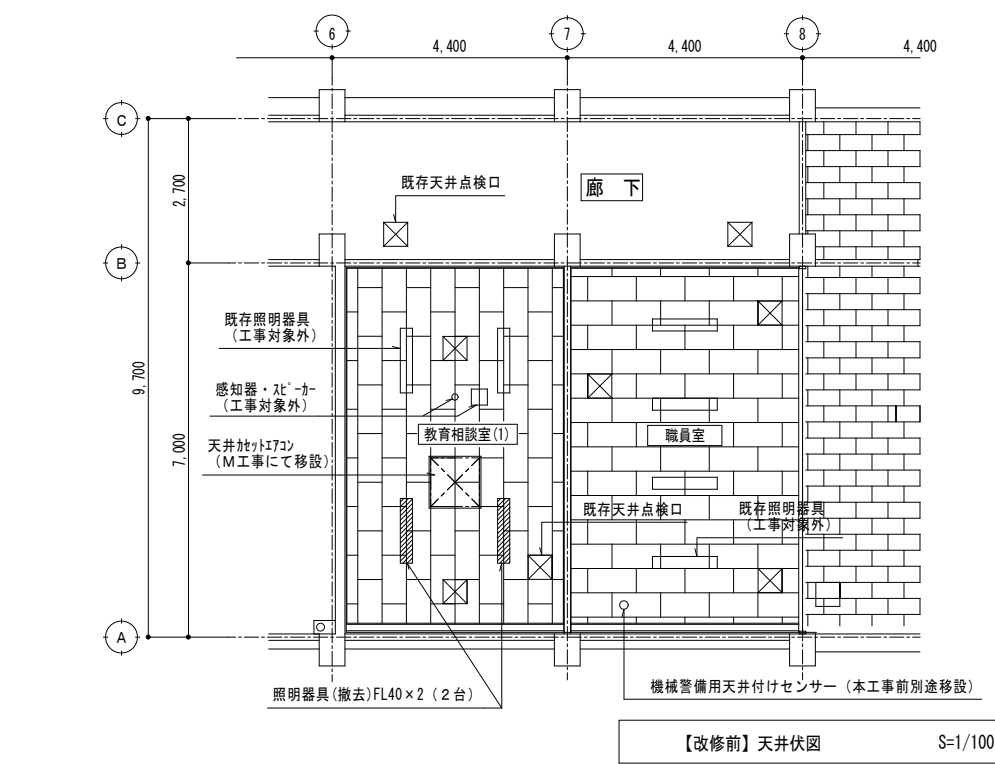
【改修後】職員室・教育相談室(1) 展開図 S=1/50



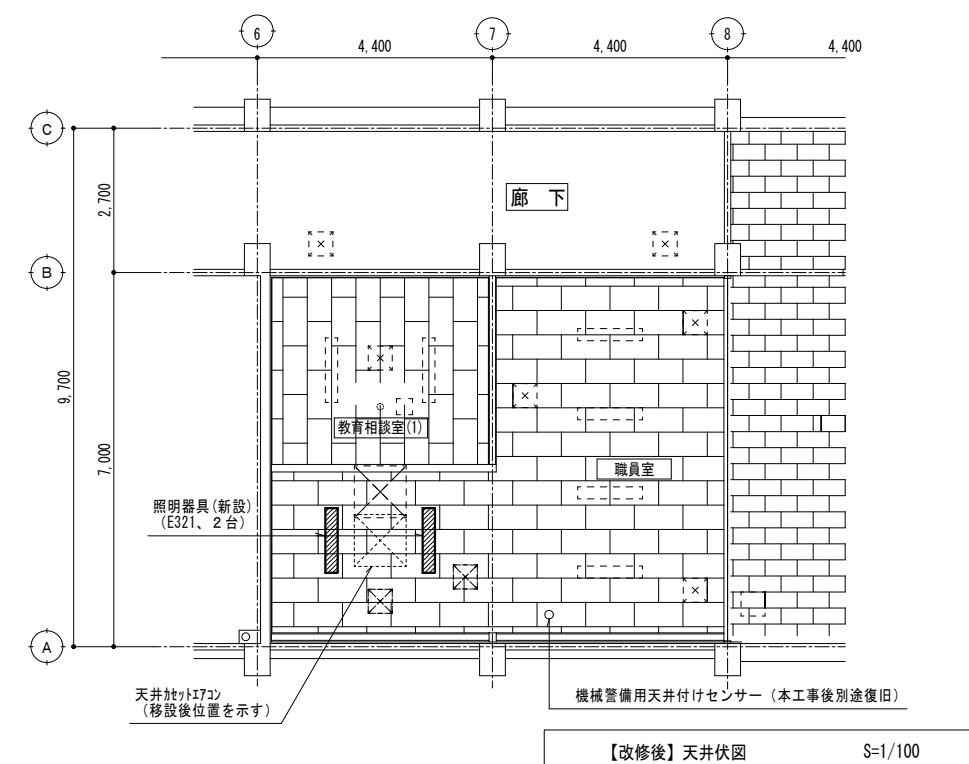
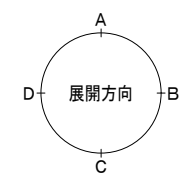
C面



D面



【改修前】天井伏図 S=1/100



【改修後】天井伏図 S=1/100

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I . 工 事 概 要

1 工 事 場 所 鳥 取 市 湖 山 町 南 3 丁 目 8 4 8 番 地

2 建 物 概 要

番 号	建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
1	管 理 教 室 棟	R C 造	3 階	2,236.95	(7) 項	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工 事 種 目 (● 印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 空 気 調 和 設 備								
● 冷 暖 房 設 備	○							教育相談室(1)→職員室
● 換 気 設 備								
● 排 煙 設 備								
● 自 動 制 御 設 備								
● 衛 生 器 具 設 備								
● 給 水 設 備								
● 排 水 設 備								
● 給 湯 設 備								
● ガ ス 設 備								
● 浄 化 槽 設 備								
● 消 火 設 備								
● さ く 井 設 備								
● 電 気 設 備 工 事	○							エアコン室外機と室内機間の電源配線(撤去・復旧)
● 建 築 工 事								

4 設 備 概 要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

項 目		設 備 概 要	
空 気 調 和 ・ 冷 暖 房 設 備	● 空 気 調 和 設 備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式	
	● 冷 暖 房 設 備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式	
	● 暖 房 設 備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房	
	● 熱 源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス	
	● 主 要 熱 源 機 器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直だし吸収式冷温水機 ● 小形吸収式冷温水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● F F 暖房機 ● その他 ()	
換 気 設 備		● 第一種 ● 第二種 ● 第三種	
排 煙 設 備		● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)	
自 動 制 御 設 備		● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式	
衛 生 設 備	● 給 水 設 備	給 水 方 式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式	
		水 源 ● 水道水 ● 井水	
	● 排 水 設 備	排 水 方 式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水)	
		放 流 先	汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
			雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
			雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川
		浄 化 槽	処 理 方 式 ● 小規模合併 ● 合併
			処 理 水 放 流 先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
	● 給 湯 設 備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)	
	● 消 火 設 備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系 ●) ● ハロゲン化物消火	
● ガ ス 設 備		● 都市ガス (MJ/ℓm³) ● 液化石油ガス	

II . 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

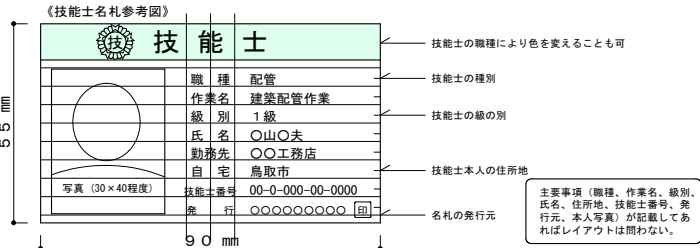
- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
- 印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)
- (2) 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- (3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- (1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は ● 印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。● 印と⊗ 印の付いた場合は両方を適用する。
- (3) 一般共通事項のうち (1、2、3、11、12、14、15、16、17、18、36) 項は、● 建築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。

一 般 共 通 事 項

項 目	特 記 事 項
1 官 公 署 そ の 他 へ の 手 続 2 電 気 保 安 技 術 者	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。 工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
3 工 事 安 全 計 画 書 等 4 発 生 材 の 分 析 及 び 処 理	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● 廃石綿(配管用保温材) ● P C B 使用機器 ●) アスベスト含有設備資機材(ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物)は関係法令に従い適切に処理を行う。 P C B 使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量P C B 分析 ※ 無し ● 有り 再生資源化を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ●) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 J I S 等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2 (3) の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製図、試験成績等は除く。 機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか、監督職員の指示による。 機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。 機器類の能力、容量等は、原則として図面に表示された値以上とする。 電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札(下図参考)を常時着用する。
5 機 材 等	● 配管 (● 1 級 ● 2 級) ● 熱絶縁施工 (● 1 級 ● 2 級) ● 冷凍空調調和機器施工 (● 1 級 ● 2 級) ● 建築板金 (● 1 級 ● 2 級)
6 機 材 の 品 質 ・ 性 能 証 明	
7 機 材 の 承 諾 図	
8 図 形 等 の 表 示	
9 電 気 容 量 及 び 機 器 表 示	
10 技 能 士 の 適 用	
11 施 工 図 等	
12 完 成 写 真 等	



提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のもの提出する。

区 分	分 類 ・ 規 格	撮 影 箇 所	部 数	電子データの提出
工 事 写 真	カラーサービス判	各工程工程毎	※ 1 部 ● 部	● 要 ● 不要
完 成 写 真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2 部 ● 部	● 要 ● 不要

一 般 共 通 事 項

13 完 成 図 等

14 他 工 事 と の 取 合

15 工 事 用 水 ・ 電 力 ・ そ の 他
16 表 示 板

17 足 場

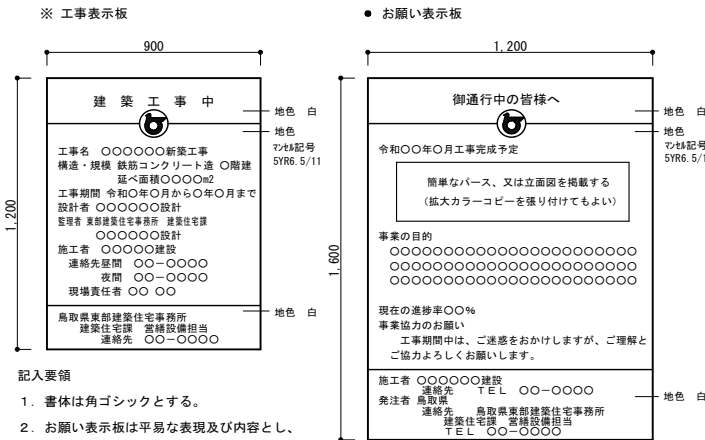
18 工 事 用 仮 設 物
19 土 工 事

20 保 温 工 事

区 分	名 称	部 数
※ 完 成 図 原 図	● 原紙 ※ C A D データ ※ P D F データ 施工図 ● 原紙 ● C A D データ ● P D F データ	1 部
※ 完 成 図 2 つ折 製 本	※ 完 成 図 ※ 完 成 図 (縮 小 版) ● 施 工 図	※ 2 部 ● 部
※ 完 成 図 書 ※ A 4 版 市 販 フ ァ イ ル ● A 4 版 黒 表 紙 製 本	※ 完 成 図 (縮 小 版) ※ 主 要 機 器 図 ※ 試 験 成 績 書	※ 2 部 ● 部
※ 保 守 用 説 明 書 (A 4 版 フ ァ イ ル)	※ 保 守 に 関 する 指 導 案 内 書 ※ 機 器 取 扱 説 明 書 ※ 主 要 機 器 一 覧 表	※ 2 部 ● 部
※ 保 証 書		1 部
※ 官 公 署 の 届 出 書 類		1 部
● 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

他工事との取り扱い		建 築	電 気 設 備	機 械 設 備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		●	※	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		●	※	●
● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	●	※	●
	補 強	※	●	●
● ○ A フ ロ ア ・ フ リ ー ア ク セ ス フ ロ ア の 切 込 み 及 び 補 強		※	●	●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアベンジ		※	●	●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット(蓋を含む)		※	●	●
● 天井点検口		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	●	●	※
	屋 上 設 置	※	●	●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	●	※
● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		●	●	※

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)



記入要領
1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

構内に作ることが

(ア) 埋め戻し土

- ※ 出来る ● 出来ない
- 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)
- 山砂の類 ()
- 真砂土 ()

(イ) 建設発土処分

- 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積

- 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
- 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
- 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
- 保温チューブ(厚さ⊗) ●)
- 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
- 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ(厚さ⊗) ●)
- 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
- ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)
- 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)
- 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温(グラスウール25mm厚)とする。
- 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート)
- 屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● S U S 鋼板 ●)

一般共通事項

21鋼管類の防食処置
22絶縁継手
23防振継手
24伸縮管継手
25塗装

26ステンレス鋼管の接合方法
27溶接配管の検査
28埋設表示
29支持金物・固定金具
30総合試運転調整

31アスベスト含有建材の処理

32補修など
33はつり
34はつり工事における非破壊検査
35室内空気中の化学物質の濃度測定
36火災保険等
37グリーン購入
38鳥取県公共工事環境配慮指針
39建築物省エネ法
40耐震施工

地中埋設
●ベトロラムタ系
●ブテルゴム系
●熱収縮チューブ及びシート

●標準図（施工3）
●（1）絶縁フランジ
●（2）絶縁シート
●（3）絶縁スリーブ
●（4）絶縁ユニオン

※合成ゴム製（球形）
●ポリテトラフルオロエチレン製
●ペローズ形（ステンレス製）
●ペローズ形
●スリーブ形

各種機械のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）

（ア）埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く）
（イ）垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面
（ウ）垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分
（エ）垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類
（オ）樹脂コーティング等を実施したもので、常時隠べいされる部分
（カ）カラー垂鉛鉄板面
（キ）アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム・垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面
（ク）特殊な意匠の表面仕上げ処理をした面
（ケ）主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管

●上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（
呼び径60S u以下の継手は、S A S 3 2 2を満足するものとする。
●ガス配管
●冷水配管
●冷却水配管
非破壊検査の適用（
●放射線透過検査
●浸透探傷検査又は磁粉探傷検査
）
抜取率（
●標準仕様書による
●
）
●地中埋設機を図示する箇所に設ける。
●埋設表示用テープを埋設する。（
●ガス管
●屋外給水管
●
）
ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはS U S 3 0 4製とする。
屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。
下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。
●温度
●湿度
●風量
●騒音
●騒音
●水量
●浄化槽放流水質
●風速
●じんあい
●飲料水水质（
●一般飲料水適否検査
●
）
●その他水質等（
●雑用水
●空調用流体
●
）

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕 様 等	処理を行う範囲

※ 県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。
※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。
● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。
分析方法はJ I S A 1 4 8 1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
● アスベスト粉じん濃度測定を行う。
（測定時期：
測定場所：
測定点：
）
● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。
● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所（
）
工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
探査方法
※電磁誘導式
●放射線透過検査
実施する。
工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加する。
（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）
グリーン購入は次のものとする。
●空調用機器（
）
●衛生器具（
）
●断熱材（
）
●配管材（
●再生硬質ポリ塩化ビニル管
）
●その他（
）

対象工事
設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1 k N以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。
（1）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）〔k N〕に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設置場所	機器種別	●特定の施設	●一般の施設
上 層 階 屋上、塔屋	機 器	2. 0	1. 5
	防振設置機器	2. 0	2. 0
	水 槽 類	2. 0	1. 5
中 間 階	機 器	1. 5	1. 0
	防振設置機器	1. 5	1. 5
	水 槽 類	1. 5	1. 0
地階・1 階	機 器	1. 0	0. 6
	防振設置機器	1. 0	1. 0
	水 槽 類	1. 5	1. 0

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階
中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
重要機器 ●換気機器 ●空調機器 ●熱源機器 ●防災機器 ●監視制御設備 ●危険物貯蔵装置
●火を使用する設備 ●避難経路上に設置する機器 ●水槽類（燃料小出槽を含む）
●（
）
（2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
（3）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。

1設計用温湿度条件

2冷却水管
3冷水・温水・冷温水管

4膨張・空気抜・補給水管
5蒸気給気管
6蒸気還水管
7油・油用通気管

8冷媒管
9空調用給水管
10空調用排水管
11弁類

12ファンコイルユニット
13ダンパー

14ダクト

15吹出口・吸込口
16チャンパー等

17消音内貼り

18瞬間流量計及び流量測定口

19定風量・変風量ユニット
20温度計
21冷水管の空気抜き

22空調機用トラップ
23銅板製煙道

24オイルサーピスタंक
25地下オイルタンク

26油面制御装置
27フィルター等付属品

28パッケージ空調機の能力表示
29防振吊り及び支持金物

4ダクト
2排烟口
3排烟口開放及び復帰方式
4排烟風量測定

5中央監視制御盤装置
2電源装置
3温度調節器等
4計装工事の配線

室外条件

室内（調整目標値）

温度湿度温度湿度温度湿度

夏季冬季℃℃%28.0℃%19.0℃%

※SGP（白）SGP-VA SGPPA
※SGP（白）SGP-HVA ステンレス鋼管（SUS304）
●架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ●ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）
※SGP（白） ステンレス鋼管（SUS304）
※SGP（黒）
※STPG370-Sch40（黒） ステンレス鋼管（SUS304）
一般配管 ※SGP（黒） 地中配管 ※合成樹脂被覆鋼管
※断熱材被覆鋼管
●ステンレス鋼管 ●SGP-VA ●
※SGP（白） ●VP
※5K ●10K
※流量調整弁 ●定流量弁（
●ダイヤフラム式流量可変式
●カートリッジオリフィス形
）を取付ける。
（ア）防煙ダンパー ※遠隔復帰式 ●電気式
（イ）ピストンダンパー ※遠隔復帰式 ●
※低圧ダクト ●高圧1ダクト ●高圧2ダクト
●長方形ダクト ●コーナーボルト工法（
●共板工法〔動作用電圧は0.7A以下とする。〕
（長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。）
●アングルフランジ工法
●防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。
ボックス ※垂鉛鉄板製 ●ガラスウール製
シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工49）を参考とする。
接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。
線状吹出口には、（長さ+100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。
外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。
吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。
内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。
吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。
形式はピトー管式（コック付）とする。 ●着脱式 ●固定式
下記の箇所、若しくは図示により取付ける。
●冷凍機類の冷水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●冷凍機類の冷却水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●ボイラー又は熱交換器の温水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●冷水水ヘッダーの各送り管 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●ユニット形空調機と機の冷水水入口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング
●メカニカル形 ●風速センサー形
機器付属以外の温度計 ※工業用バイメタル式 ●ガード付し形温度計
空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。
※手動 ●自動
自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g））
機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。
トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※FRP製保温型 ●FRP製 ●SUS製
材質及び厚さ ●SS400（※3.2mm ●4.5mm） ●SUS（※1.5mm ●2.0mm）
煤煙濃度計 ●取付ける ●取付けない ●取付座を付ける
煤じん量測定口（80φ×2） ※取付ける ●取付けない
油面計はゲージ式（側圧計）とする。
据付け方法 ●標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し） ●標準図（施工33）（タンク室有り）
タンクの保護被覆 ●強化プラスチック ●エポキシ樹脂 ●アスファルト
基礎杭 ※不要 ●要（※別途工事 ●本工事）
土留め工事 ●要 ●不要
タンクローリー用アース端子を設ける。
油面制御装置の機能 ●給油ポンプの起動停止 ●満油警報 ●減油警報 ●
●機器表特記による。
●空調調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。
インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。
標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。
※垂鉛鉄板製 ●銅板製（厚1.6mm）
形状 ●パネル形 ●スリット形 ●ダンパー形
取付け ●天井取付 ●壁取付
電気式（遠隔操作 ※不要 ●要）
建築設備定期検査業務基準書2016年版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。
●有り（構成機能は、図示による） ●無し
●要（●本工事 ●別途工事） ●不要
取付高さ ※1300mm ● mm
●屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。
●天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。

6衛生器具設備

7給水設備

8排水設備

9給湯設備

10消火設備

11ガス設備

12浄化槽設備

1衛生器具の参考型番
2小便器用節水装置
3自動水栓
4大便器洗浄弁
5温水洗浄便座
6器具と排水管接続

1量水器
2配管材料
3弁類
4水槽のマンホール

1配管材料
2弁類

1配管材料
2弁類
3保溫

1都市ガス設備
2配管材料
3ガスメータ
4バルク貯槽
5容器通りの配管
6容器転倒防止
7ガス漏れ警報器

1処理種別及び方式
2型式
3処理能力
4放流水の水質
5排水方式
6埋戻し土
7土留め工事
8マンホールふた
9消毒薬

型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。
※小便器一体型 ●小便器分離型
●洗浄水量4リットル／回以下
※個別感知方式（
●AC電源 ●自己発電 ●乾電池
） ●手動式
電源供給方式 ●AC電源 ●自己発電 ●乾電池
操作方式 ●電気開閉式（
●センサー式 ●タッチスイッチ式
） ●手動式
洗浄用水加温方式 ●瞬間式 ●貯湯式
※標準図（施工64） ●標準図（施工65）

●親メーター ※借用 ●買取（※直読 ●遠隔表示）
●子メーター ※買取 ●借用（※直読 ●遠隔表示）
（ア）一般配管 ●SGP-VB ●SGP-PB ●SUS304 ●SUS316
●HIVP ●架橋ポリエチレン管
（イ）土間下配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316
（ウ）地中配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316
●水道配水用ポリエチレン管（75～100A） ●水道用ポリエチレン二層管（50A以下）
（エ）特記なき給水管の最小口径は20Aとする。
（オ）ビニル管の接合方法 ※接着接合 ●ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）
（カ）ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※融着継手
※口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。
●5K（受水槽以降の配管に使用） ●10K（公営水道に直結する配管に使用）
●公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）
屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。
（ア）屋内汚水管 ●VP ●RF-VP ●排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管
（イ）屋内雑排水管 ●VP ●RF-VP ●SGP（白） ●排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管
（ウ）ポンプ排水管 ●VP（水道用） ●HIVP ●排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水管用継手）
（エ）通気管 ●VP ●RF-VP ●SGP（白） ●排水用塩ビライニング鋼管
（オ）屋外排水管 ●VP ●RF-VP ●VU（地中） ●REP-VU（地中）
●RS-VU ●卵形管 ●コンクリート管
3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※取付ける ●取付けない
※施工する ●施工しない
※行わなくてもよい ●図示の系統のみ行う
●SGP-HVA ●ステンレス鋼管 ●架橋ポリエチレン管
●保温付被覆鋼管 ●鋼管
湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
※5K ●10K

（ア）一般配管 ●SGP（白） ●STPG
（イ）土間下配管 ●SGP-VS ●STPG-VS
（ウ）地中配管 ●SGP-VS ●STPG-VS
※10K ●16K
（ア）呼水タンク ※施工しない ●施工する
（イ）充水タンク ※施工しない ●施工する
（ウ）配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e3・（ハ）・Ⅵによる）
●屋内消火栓用（※施工しない ●施工する） ●スプリンクラー用（※施工しない ●施工する）
●連結送水用（※施工しない ●施工する） ●連結取水用（※施工しない ●施工する）
●広範囲型2号消火栓 ●操作性1号消火栓 ●屋内消火栓（●1号 ●2号）
●窒素 ●IG-541 ●IG-55 ●HFC-227ea ●HFC-23
※手動 ●自動手動切替式
都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
（ア）一般配管 ※SGP（白） ●合成樹脂被覆鋼管
（イ）土間下配管 ※合成樹脂被覆鋼管
（ウ）地中配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ●ガス用ポリエチレン管
●親メーター ※借用 ●買取（取付け ※別途 ●本工事）
●子メーター ※買取 ●借用（取付け ※本工事 ●別途）
●縦型 ●横型 ●借用 ●買取
●標準図（施工73）の ●要領（a） ●要領（b） ●要領（c）
●標準図（施工74）の ●要領（a） ●要領（b）
●不要 ●要（※別途工事 ●本工事）

●小規模合併処理（
●分離接続ばっ気方式 ●嫌気床接続ばっ気方式 ●脱窒床接続ばっ気方式
）
●その他性能評価を受けた方式（
）
●合併処理（
●接続ばっ気方式 ●長時間ばっ気方式 ●回転板接触方式
）
●ユニット型 ●現場施工型
●処理対象人員 人 ●処理水量 m³／d
●流入BOD 200mg／L ●放流水質BOD 20mg／L以下
●T-N mg／L以下 ●T-P mg／L以下
※自然流下 ●ポンプ排水
●砂 ●根切土の中の良質土
●不要 ●要（図示による）
※製造者標準仕様（ロック式） ●MHA型（ボルト式）
3ヶ月相当分を納入する。

株式会社 テイク ◆ 住宅・地域システム研究所

一級建築士事務所（鳥取県知事登録 第05-1283号）・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

DATE 07.03.

県立鳥取緑風高等学校管理教室棟職員室内内装等改修工事

D.T 機械設備工事特記仕様書（2）

S

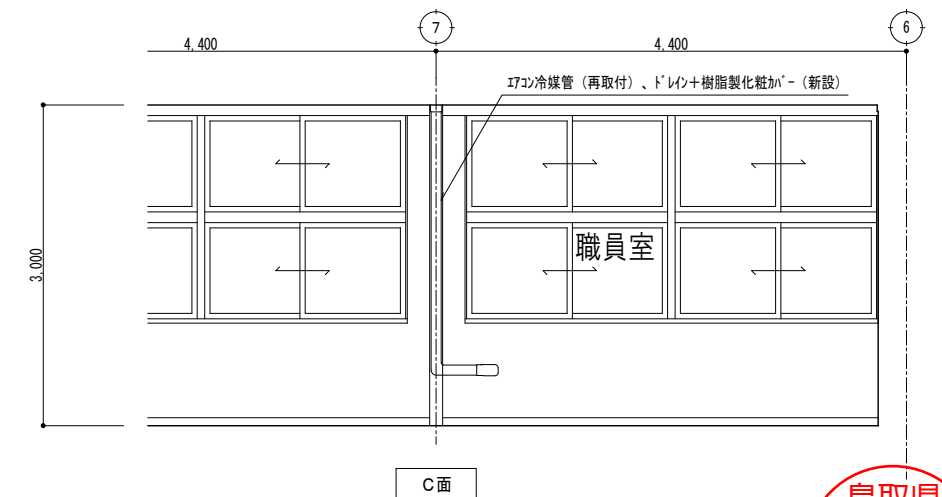
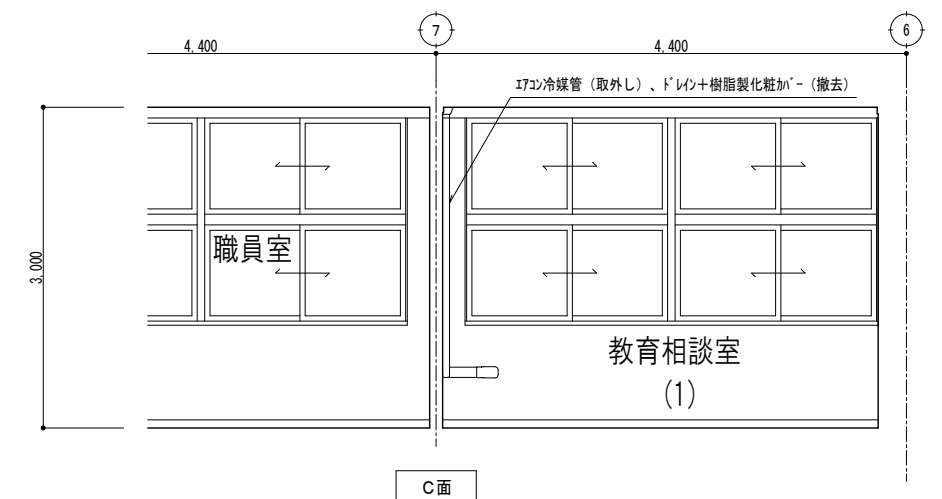
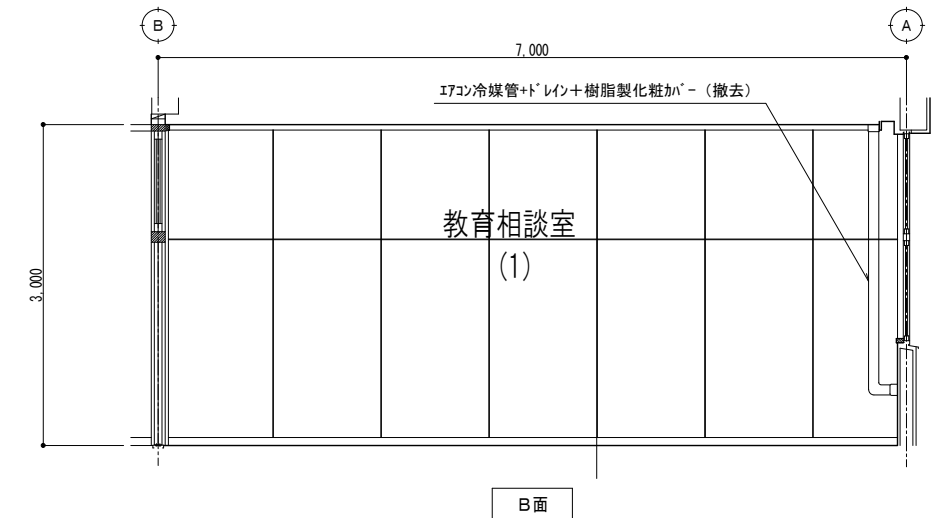
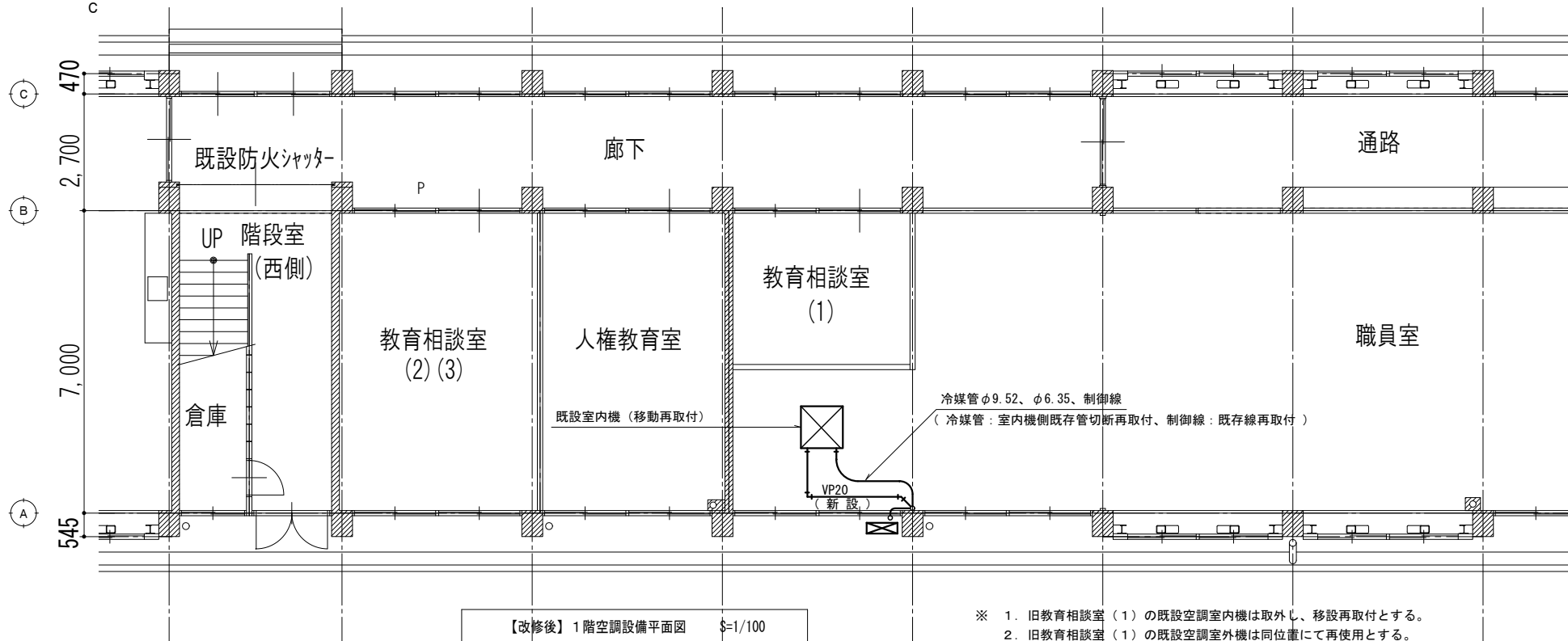
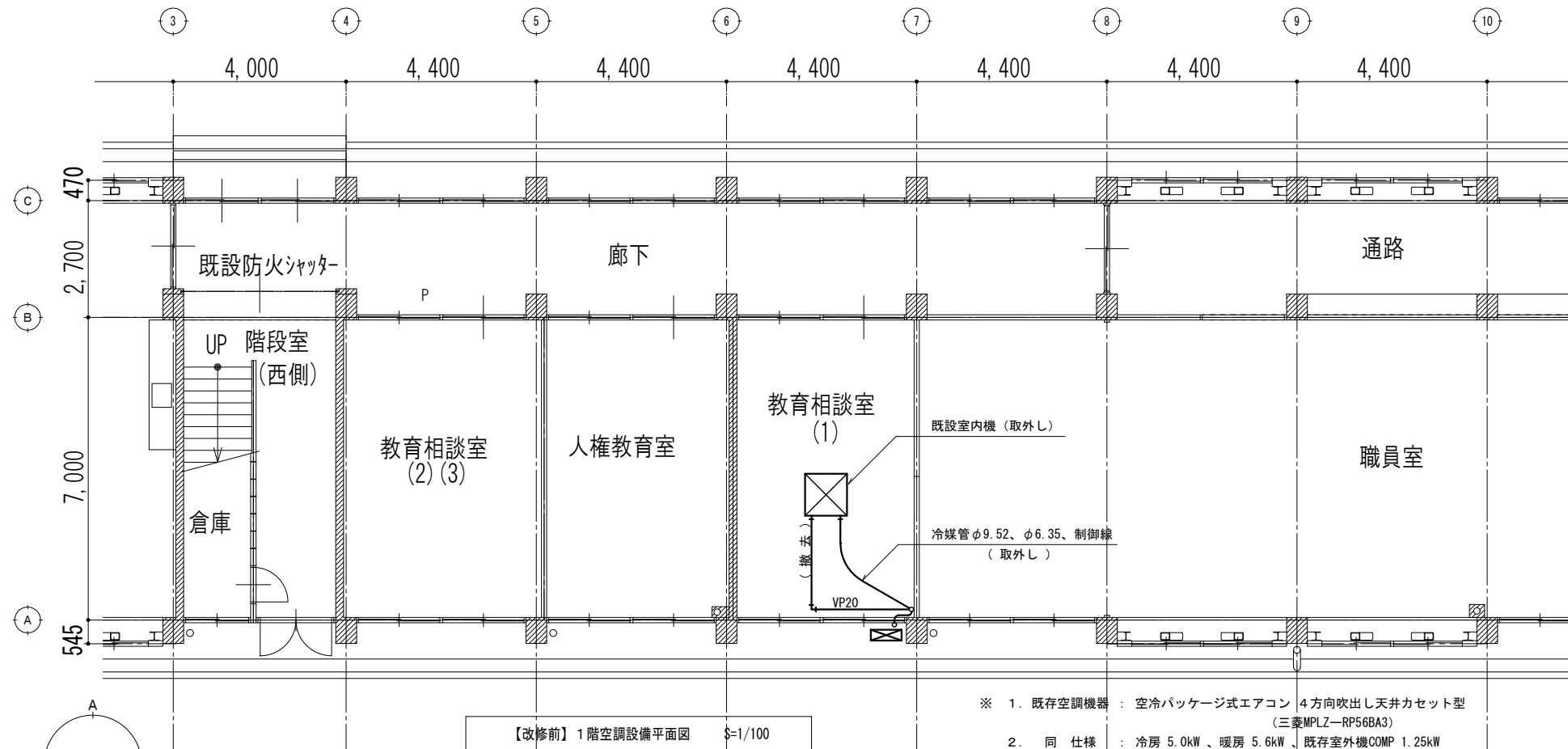
管理建築士 大臣登録第188236号 一級建築士 山根 隆義

No. M-02

（図面サイズ A2版[100%]）

鳥取県 令和6年度 J2401873 東部建築住宅事務所


※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事

A - 00	図面リスト	EM - 01	【改修前後】体育教官室 電気設備・機械設備 改修図
A - 01	改修工事特記仕様書 (1)		
A - 02	改修工事特記仕様書 (2)		
A - 03	改修工事特記仕様書 (3)		
A - 04	改修工事特記仕様書 (4)		
A - 05	附近見取図 配置図 工事概要		
A - 06	各階平面図		
A - 07	【改修前】体育教官室詳細図		
A - 08	【改修後】体育教官室詳細図		
A - 09	2階女子更衣室詳細図		
A - 10	アリーナ 展開図		
A - 11	【参考図】仮設計画図 概略工事工程表		



県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事			
図面リスト		縮尺	図面番号 A - 00
フォーディー設計合同会社		代表となる設計者	
<div>一級建築士事務所登録番号 第06-1311号 管理建築士 南波 一好 一級建築士登録番号 第354034号</div> <div>four D</div>		その他の設計者	
		南波 一好 一級建築士 登録番号 第354034号	

内装改修工事

1

他の部位との取合い等
[6. 1. 3]

2

既存床の撤去及び下地補修
[6. 2. 2]

3

既存壁の撤去及び下地補修
[6. 3. 2]

4

装材 [G]
[6. 5. 2]

5

造作用集成材 [G]
[6. 5. 2]

6

造作用単板積層材 [G]
[6. 5. 2]

7

床張り用合板等
[6. 5. 2]

8

防虫・防蟻処理
[6. 5. 5]

9

軽量鉄骨天井下地
[6. 6. 2~4]

10

軽量鉄骨壁下地
[6. 7. 3, 4]
[6. 7. 1]

11

ビニル床シート
[6. 8. 2, 3]

12

ビニル床タイル [G]
[6. 8. 2]

13

接 着 剤
[6. 5. 3, 4]
[6. 8. 2]
[6. 9. 3]
[6. 11. 4, 5]

14

ビニル幅木
[6. 8. 2]

15

ゴム床タイル
[6. 8. 2]

16

カーベット敷き [G]
[6. 9. 2, 3]
[6. 9. 1]

17

合成樹脂塗床
[6. 10. 2, 3]

18

防じん用塗床

19

フローリング張り [G]
[6. 11. 2~6]

20

畳敷き
[6. 12. 2]

21

せっこうボードその他の
ボード及び合板張り
[6. 13. 2, 3]

22

壁紙張り
[6. 14. 2, 3]

23

モルタル塗り
[6. 15. 3, 6]

材質の種類 ※単層品 ・複層品
色柄 ()
厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0
寸法 (mm) ()

・縦じゅうたん [表6.9.1]

種別	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・ A 種	・ カットバイル	・ ウィルトンカーベット	※無地	・ 適用する	
・ B 種	・ ルーフバイル	・ ダブルフェースカーベット	・ 柄物 (標準品)	・ 適用しない	
・ C 種	・ カット、ループ併用	・ アキスミンスターカーベット			

・ タフテッドカーベット

バイル形状	バィル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・ オットバイル	・ 5~7	※全面接着工法	・ 適用する	
・ ルーフバイル	・ 4~6	・ グリッパ工法	・ 適用しない	
・ オット、ルーフ併用	・			

・ タイルカーベット

バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考
※ ループバイル	※ 第一種		※ 500×500	※ 6.5	
・ カットバイル	・ 第一種		※ 500×500	※ 6.5	
・ カット・ループ併用	・ 第一種		※ 500×500	※ 6.5	

タイルカーベットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・模様流し ・階段部分 ※模様流し ・市松敷き
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※図示

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流しのペ工法 ・厚膜流しのペ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ

・薄膜型塗床材 ※平滑仕上げ
塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
材料 水性アクリル系樹脂塗材とし、製造所の指定する製品とする。
工法 製造所の指定する工法とする。
なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡とする。
仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ※標準色
JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

単層フローリング

種類	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の 適用
・フローリング1号 ボード1等	・釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	・
	・釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12	・
	・接着工法	※ なら	・ 8	・
・フローリング ブロック1等	・接着工法	※ なら	15	・

フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書6.11.1、3、5による
複合フローリング

種類	工法	樹種	種別	厚さ (mm)	間伐材等の 適用
・天然木化粧複合 フローリング	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	・ 15 ・ 12 ・ 12	・ ・ ・
	・接着工法	※ なら	・ A 種 ・ B 種 ※ C 種	・ 12 ・ 12 ・ 12	・ ・ ・

フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書6.11.2、4、6による
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆
接着工法の場合の裏面被覆材 ※合成樹脂発泡シート ()
現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り
・行わない
県産材の活用 ・適用する (樹種) ・適用しない

畳敷き
種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (県産) ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)
下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン) [G]
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳 (畳表: ・ C 1 ・ C 2)

種 類

JIS
記号

厚さ (mm)、規格等

・硬質木モセメント板 [G] HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・中質木モセメント板 [G] MW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・普通木モセメント板 [G] NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・硬質木片セメント板 [G] HF ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・
・普通木片セメント板 [G] NF ・ 30 ・
・けい酸カルシウム板 0.8FK 1.0FK タイプ 2 (無石綿) ・ 6 ・ 8
・ロックウール吸音板 DR ・フラットタイプ (・ 9 ・ 12 ・) ・不燃
・グラスウール吸音ボード32K GW-B ・ 25 (ガラスクロス包) ・
・せっこうボード GB-R ※12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
・不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用)
化粧有 (トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード GB-S 12.5 (・ 不燃 ・ 準不燃)
・強化せっこうボード GB-F ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
・せっこうラスボード GB-L 9.5
・化粧せっこうボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度
模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り
○化粧せっこうボード GB-D 9.5 (準不燃)
○普通合板 [G] 表板の樹種
生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) ・
不透明塗料塗り (※しな程度) ・
板面の品質 (C-D)
厚さ (mm) (12)
接着の程度 ○1類 ・ 2類
・防虫処理
・天然木化粧合板 [G] 樹種名 ()
接着の程度 ・ 1類 ・ 2類
厚さ (mm) ()
・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理
・特殊加工化粧合板 [G] 化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)
表面性能 () タイプ
接着の程度 ・ 1類 ・ 2類
厚さ (mm) ()
・防虫処理
・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)
・ポリエステル樹脂化粧板
・ミディアムデンシティ
ファイバーボード [G] MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・
・単板張りパーティクルボード [G] ・無研磨板 VN ・ 研磨板 VS
・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・
・化粧パーティクルボード [G] ・単板オーバーレイ D V
・プラスチックオーバーレイ D O
・塗装 D C
・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・
・ハードボード (素地) [G] HB ・未研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード RN)
・研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード RS)
・ハードボード (化粧) [G] ・内装用 D I ・外装用 D E
・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・
・インシュレーションボード [G] IB A 級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ・)
・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・
天井のボード類 (ロックウール化粧板を除く) の重ね張りを行う場合
※図示による
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
合板類の張付け ・ A 種 ・ B 種
せっこうボードの目地工法 ※仕上表による
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備考
紙 縦織 3A 3ツ折 無機質 その他
体育教室 ・ ・ ○ ・ ・ ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
・ ・ ・ ・ ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしらえの種別 ※B 種
コンクリート面の素地ごしらえの種別 ※B 種
せっこうボード及びその他ボード面の素地ごしらえの種別 ※B 種
モルタル ※現場調査材料 ・ 既調合材料 (材料) ()
既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ())
・ 設けない
床の目地 ・ 設ける (目地割り ※ 2 m 程度 (最大目地間隔 3 m 程度))
(種類 ※押し目地) ・
・ 設けない
外装タイル張り等下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない
壁面の仕上げ厚又は全厚が 25mm を超える場合の下地処理 ・ 図示による
建具廻りの等の充填モルタルに使用する防水剤 (品質・性能)
(試験方法) JIS A 1404 「建築用セメント防水剤試験方法」による。
項目 品質・性能
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合 セメント重量の 5% 以下
凝結及び安定性 (凝結時間) 始発: 1 時間以上 終結: 10 時間以内
(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びその有無について確認する。
曲げ及び圧縮強度比 防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70% 以上
吸水比 防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95% 以下
透水比 防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80% 以下
ただし、透水試験における水圧は、3.0×10⁵ Pa とし、試験時間 1 時間とする。

鳥取県
令和 6 年度
J 2400633
鳥取県
東部建築住宅
事務所

県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事

改修工事特記仕様書 (2)

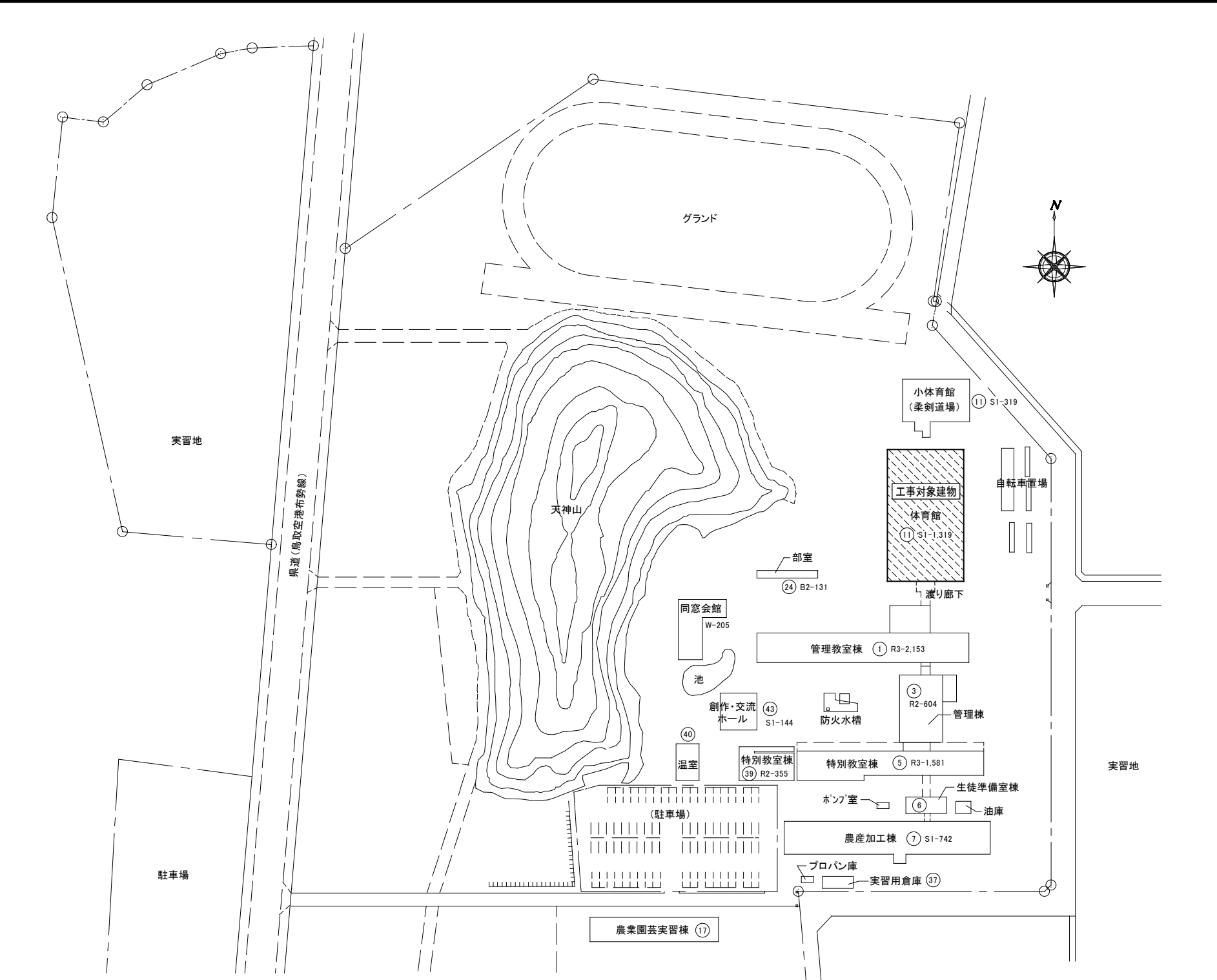
フォーディー設計合同会社
一級建築士事務所登録番号 第06-1311号
管理建築士 南波 一好
一級建築士登録番号 第354034号
four D

代表となる設計者
南波 一好
一級建築士
登録番号 第354034号

その他の設計者
A-O-2

縮尺
-

図面番号
A-O-2



アスベスト含有建築材料（レベル3）除去について

- 除去については石綿障害予防規則の規定に基づき対応すること。
- ・事前調査・準備
 - ・作業計画の作成
 - ・関係官庁への届出書作成及び提出
 - ・作業主任者の選任（作業主任者は『石綿作業主任者技能講習』または『特定化学物質等作業主任者技能講習』修了者であること。）
 - ・解体作業は、『石綿取扱い作業従事者特別教育』修了者が行うこと。

- 鳥取県石綿による健康被害を防止するための緊急措置に関する条例を厳守すること。
- ・石綿粉塵排出等作業実施届出書（様式第2号一条例第7条による）
作業開始14日までに鳥取市環境保全課に届出
 - ・石綿含有材料等廃棄予定数量届出書（様式第3号一条例第10条第1項）
作業開始14日までに鳥取市環境保全課に届出
 - ・石綿含有材料等処理状況報告書（様式第4号一条例第10条第3項）
石綿含有材料等の各処理ごとの最終処分終了後14日以内に鳥取市環境保全課に報告
 - ・石綿粉塵排出等作業に係る掲示（条例第9条）
看板の大きさは、たて40cm×横60cm以上とし、材料は耐水性のもので強度が十分あるもの

- 関係者以外の立ち入り禁止
- 呼吸用保護具・作業衣着用
半面形防塵マスク、保護めがね、作業衣等

- 石綿等に係る措置（湿潤化）
解体工事の最初に行う。（必要に応じて作業中も実施すること）

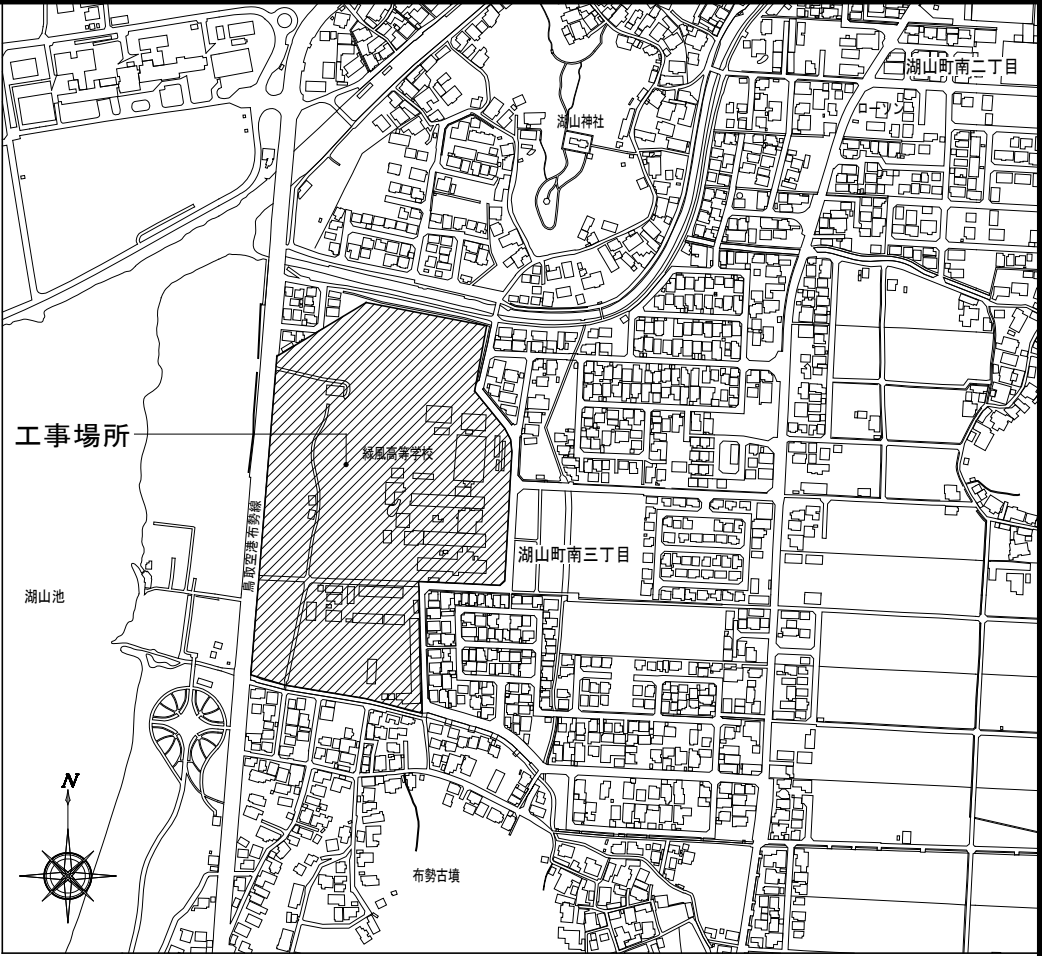
- 飛散防止養生シートの高さは、撤去する含有建材の高さ以上に設置すること。

- 運搬時の飛散防止

◎アスベスト含有材の撤去・処分について

アスベスト含有成形板の処理（レベル3）	
除去工法	手作業 取外し
除去物及び汚染物の処理	密封処理（二重袋梱包） 汚染物（養生シート、使い捨て保護衣、フィルタ等）は密閉処理（二重袋梱包）する
処分方法	安定型産業廃棄物処分場 （マニフェストの備考欄にアスベスト含有材であることを明示する）

☆石綿含有建材について	
・事前調査により石綿含有と判断した部材は以下のとおり	
繊維吸音板 厚9.0 … 含有材の処理：レベル3	



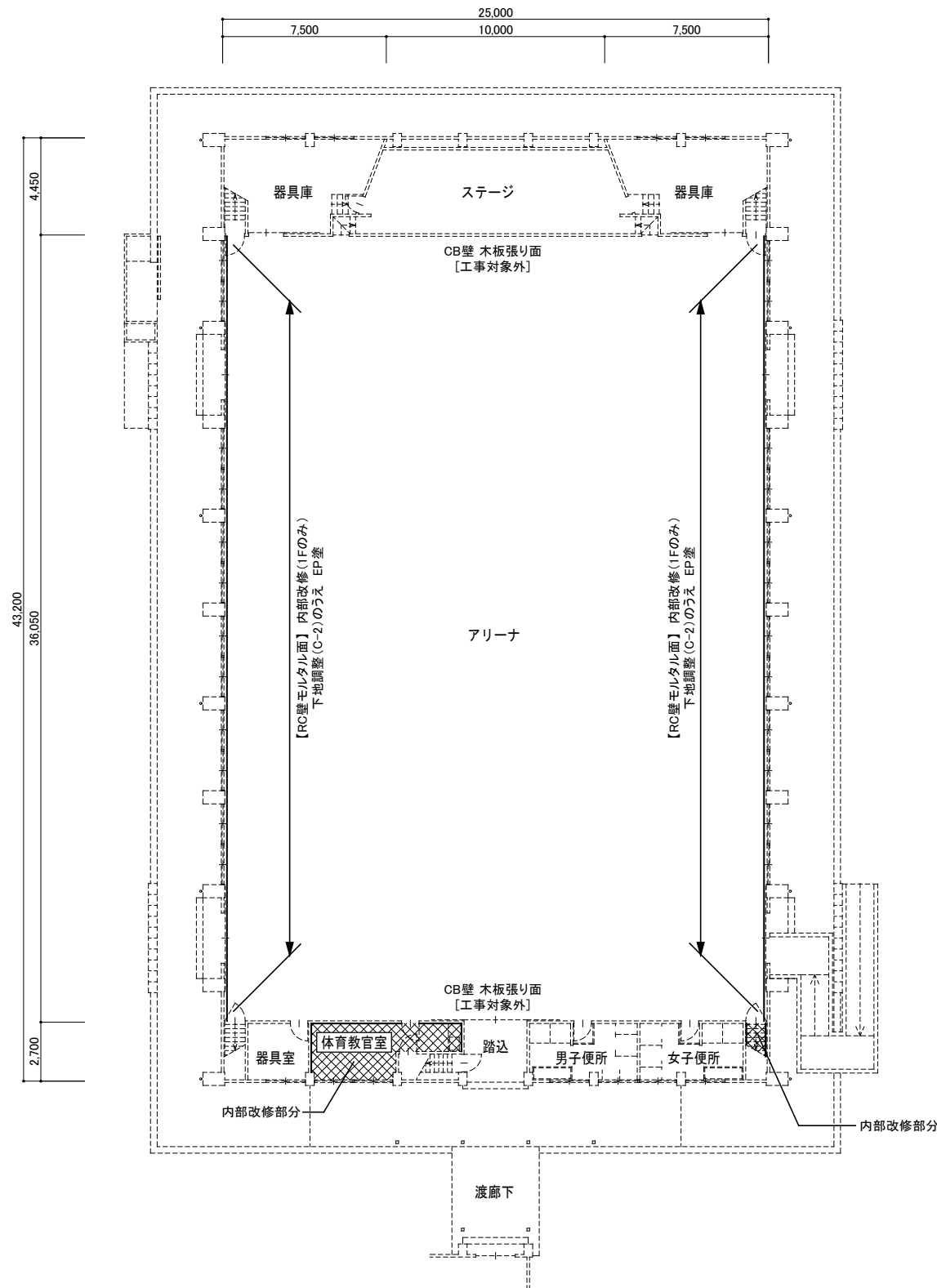
附近見取図

建築物概要	
工事場所	鳥取市湖山南三丁目 鳥取県立緑風高等学校
主要用途	学校
工事種別	改修
構造・規模	体育館棟：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て 床面積 1,215.50㎡(1972年築)
敷地面積	60,748.83㎡
地域・地区	都市計画区域内 防火地域等：指定なし
用途地域	第1種低層住居専用地域(容積率 200%/建ぺい率 60%)

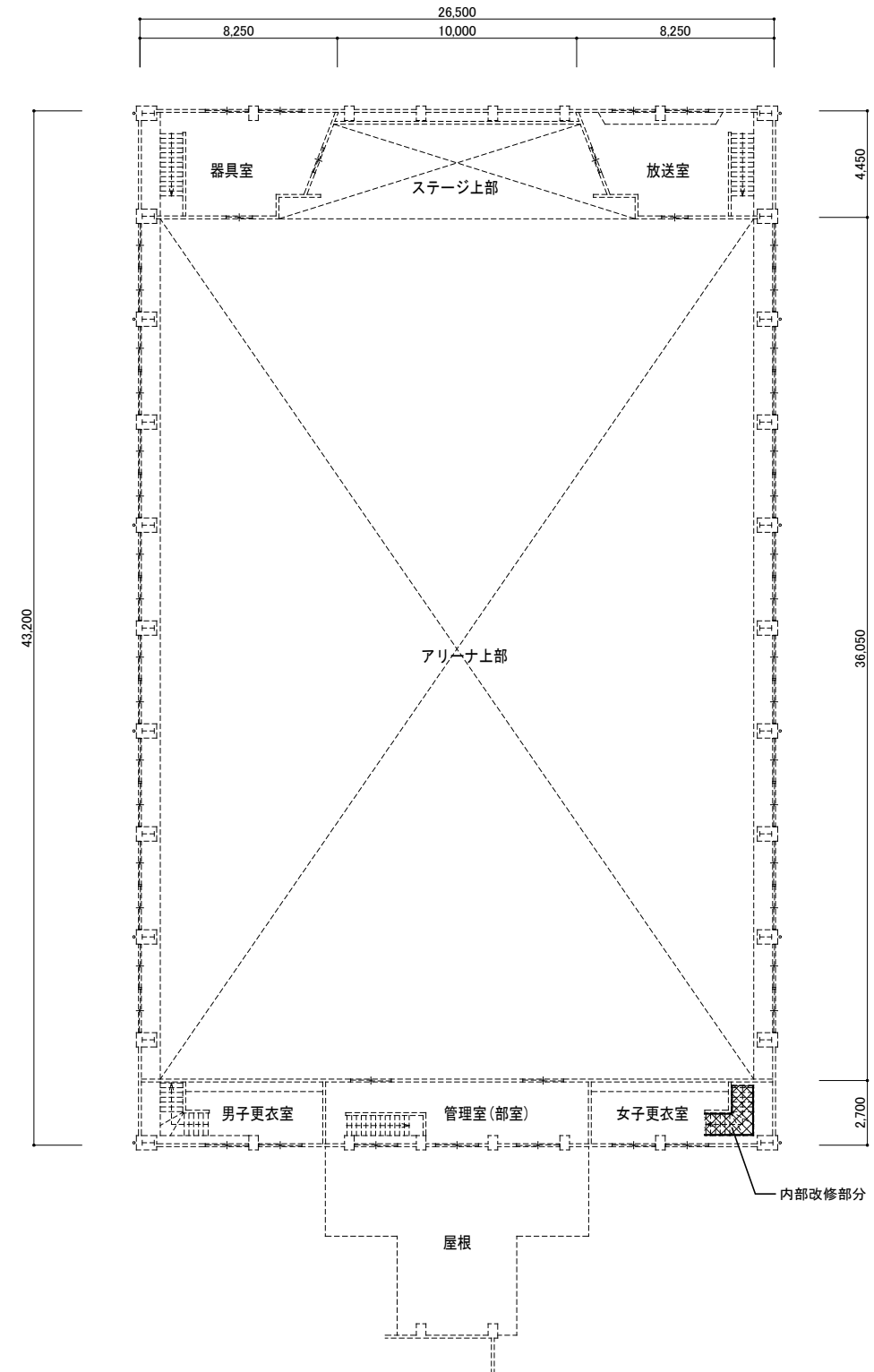
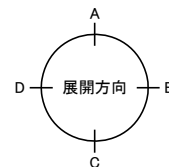
工事概要	
【建築改修工事】	
●内部改修	
【アリーナ】	
■壁モルタル面 下地調整（C-2）のうえ EP塗	
【教室室】	
■壁モルタル面 LGS下地 W90 ラワン合板（T1）厚12下地 ビニルクロス	
流し側面：LGS下地 W90 GB-S 厚9.5下地 メラミン不燃化粧板 厚3.0貼	
流し奥側：壁モルタル面 下地調整（C-2）のうえ メラミン不燃化粧板 厚3.0貼	
■天井：繊維吸音板 厚9（みなし石綿含有材）撤去、化粧石膏ボード（GB-T）厚9.5	
【女子更衣室】	
■壁モルタル面 下地調整（C-2）のうえ EP塗	
【設備改修工事】	
■上記建築改修工事に伴う制御盤・配管・配線等の撤去新設	



県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事			
附近見取図 配置図 工事概要		縮尺 1/800	図面番号 A-05
フォーディー設計合同会社		代表となる設計者	
一級建築士事務所登録番号 第06-1311号 管理建築士 南波 一好 一般建築士登録番号 第354034号		南波 一好 一般建築士 登録番号 第354034号	



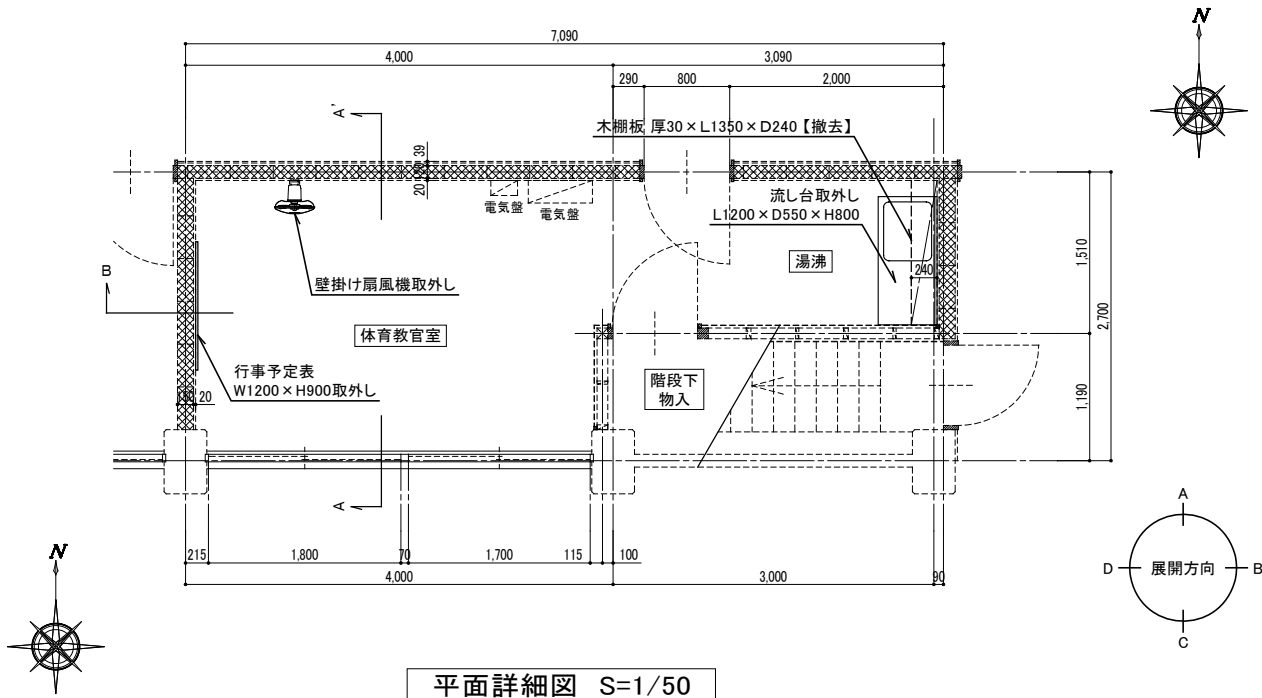
1階平面図 S=1/200



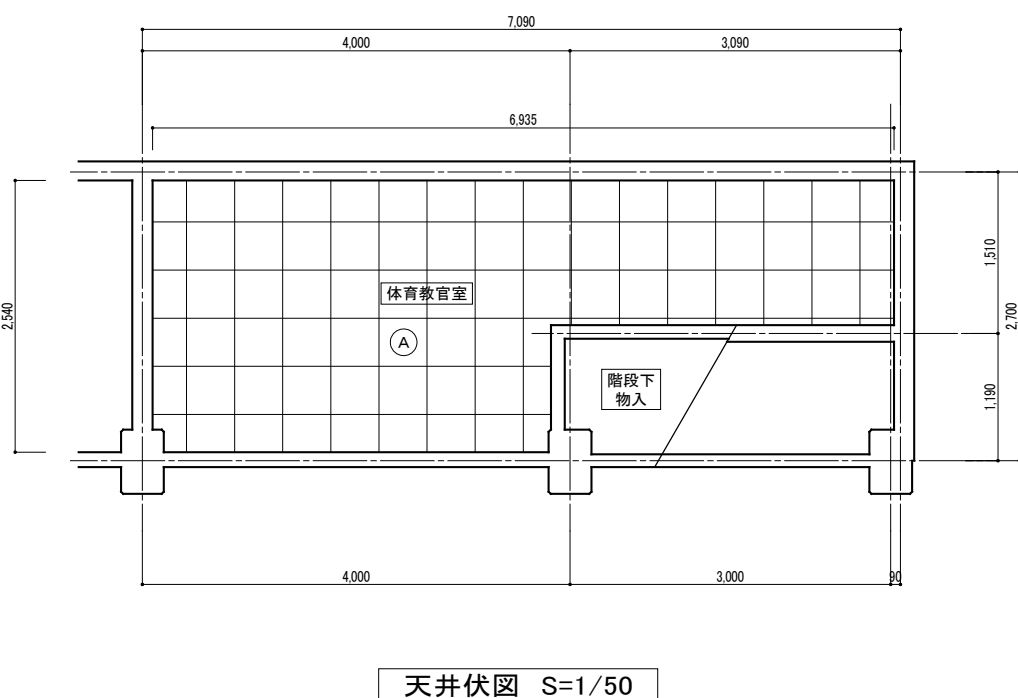
2階平面図 S=1/200

県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事			
各階平面図		縮尺 1/200	図面番号 A－06
フォーディー設計合同会社 一級建築士事務所登録番号 第06-1311号 管理建築士 南波 一好 一級建築士登録番号 第354034号		代表となる設計者 南波 一好 一級建築士 登録番号 第354034号	

改修前



平面詳細図 S=1/50



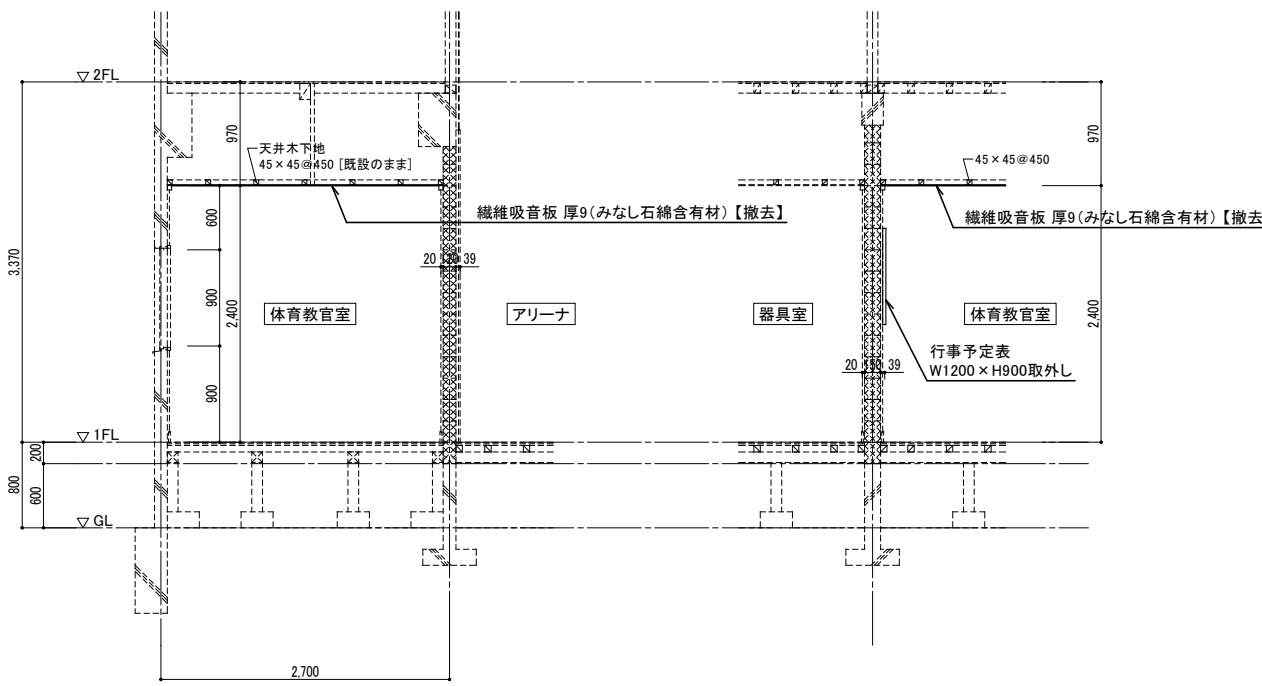
天井伏図 S=1/50

記 号	仕 上
Ⓐ	繊維吸音板 厚9(みなし石綿含有材)【撤去】 天井木下地 45×45@450 【既設のまま】

◎アスベスト含有材の撤去について

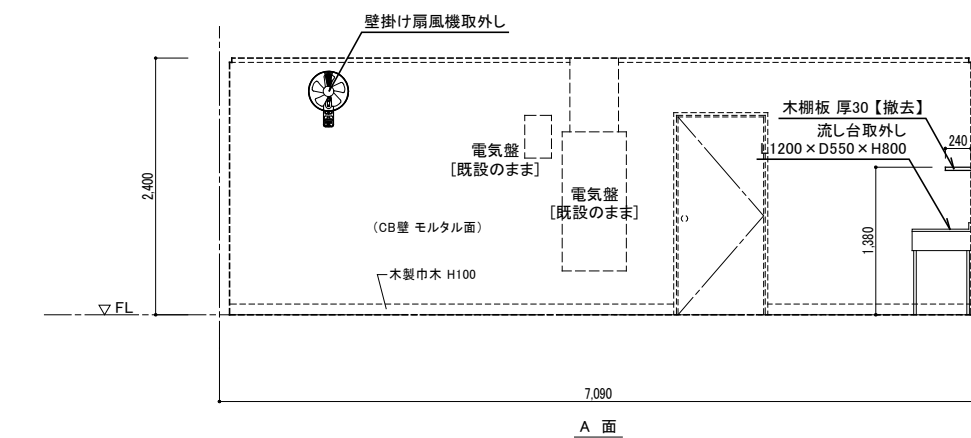
アスベスト含有成形板の処理 (レベル3)

除去工法 手作業 取外し

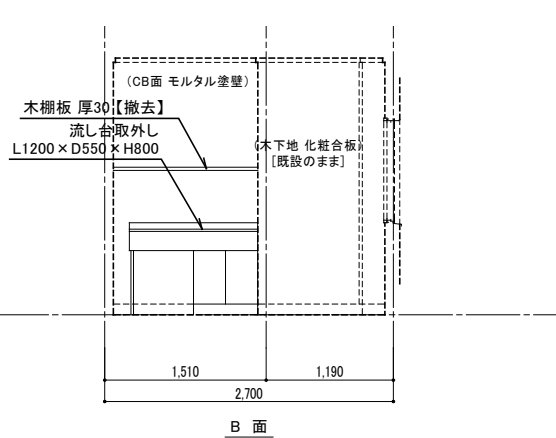


A-A'断面詳細図 S=1/50

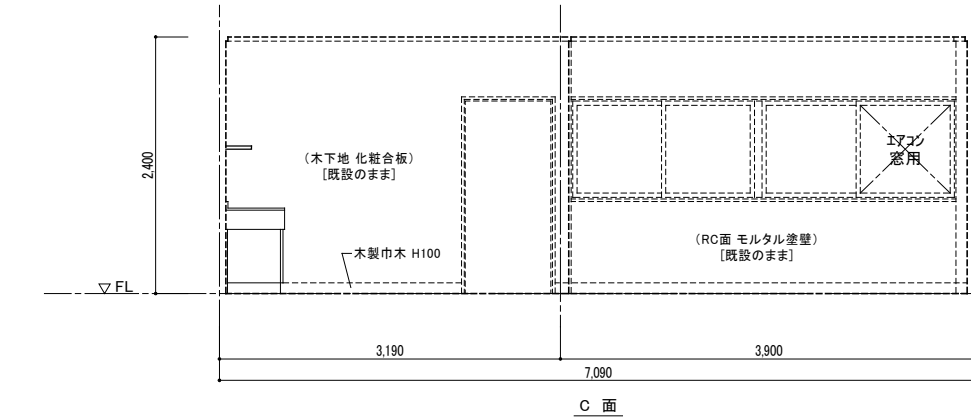
B断面詳細図 S=1/50



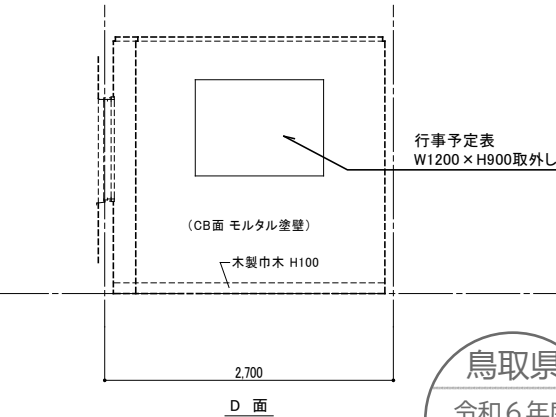
A 面



B 面



C 面



D 面

展開図 S=1/50

県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事

【改修前】 体育教室詳細図

フォーディー設計合同会社

一級建築士事務所登録番号 第06-1311号
管理建築士 南波 一好
一級建築士登録番号 第354034号



代表となる設計者

南波 一好
一級建築士
登録番号 第354034号

縮尺 1/50

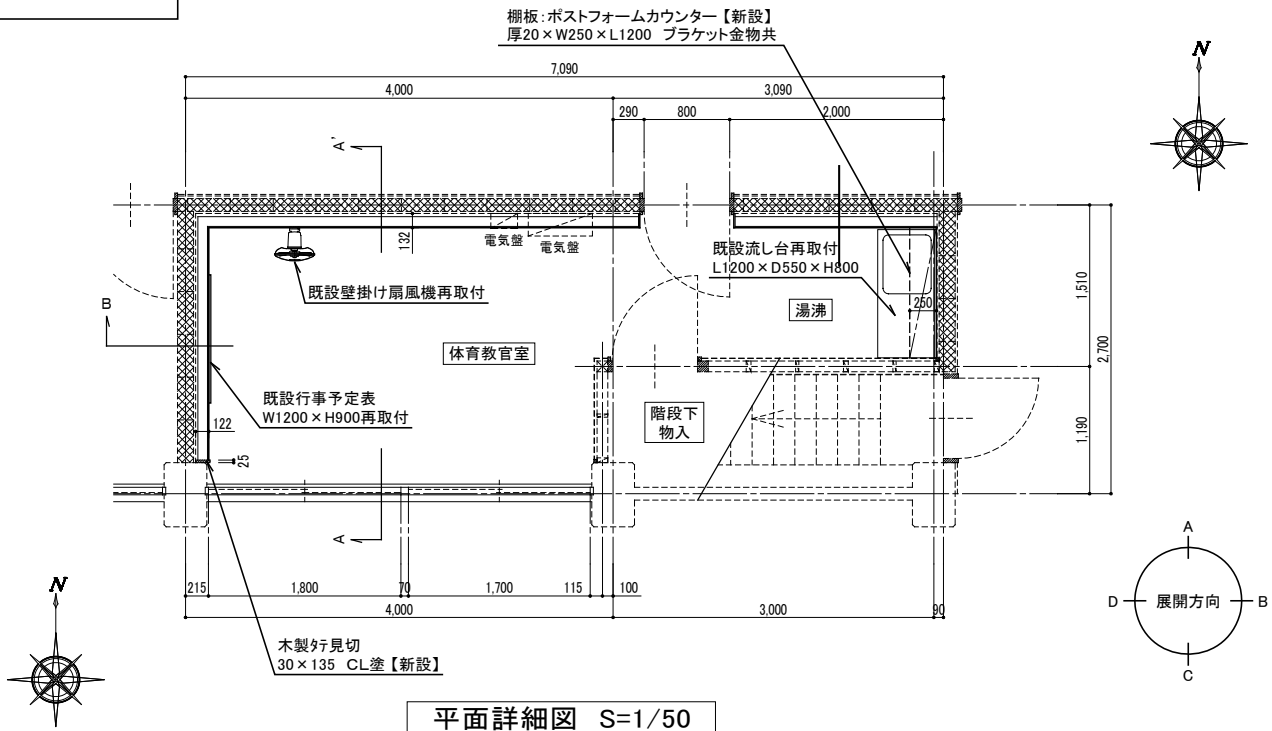
その他の設計者

図面番号

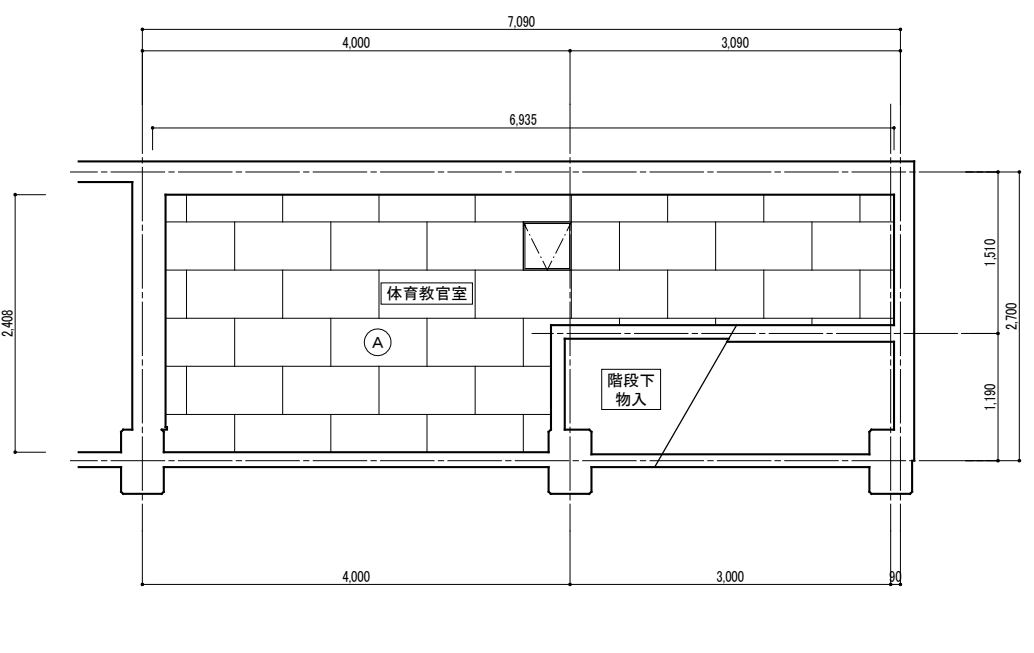
A-07

鳥取県
令和6年度
J2400633
東部建築住宅
事務所

改修後

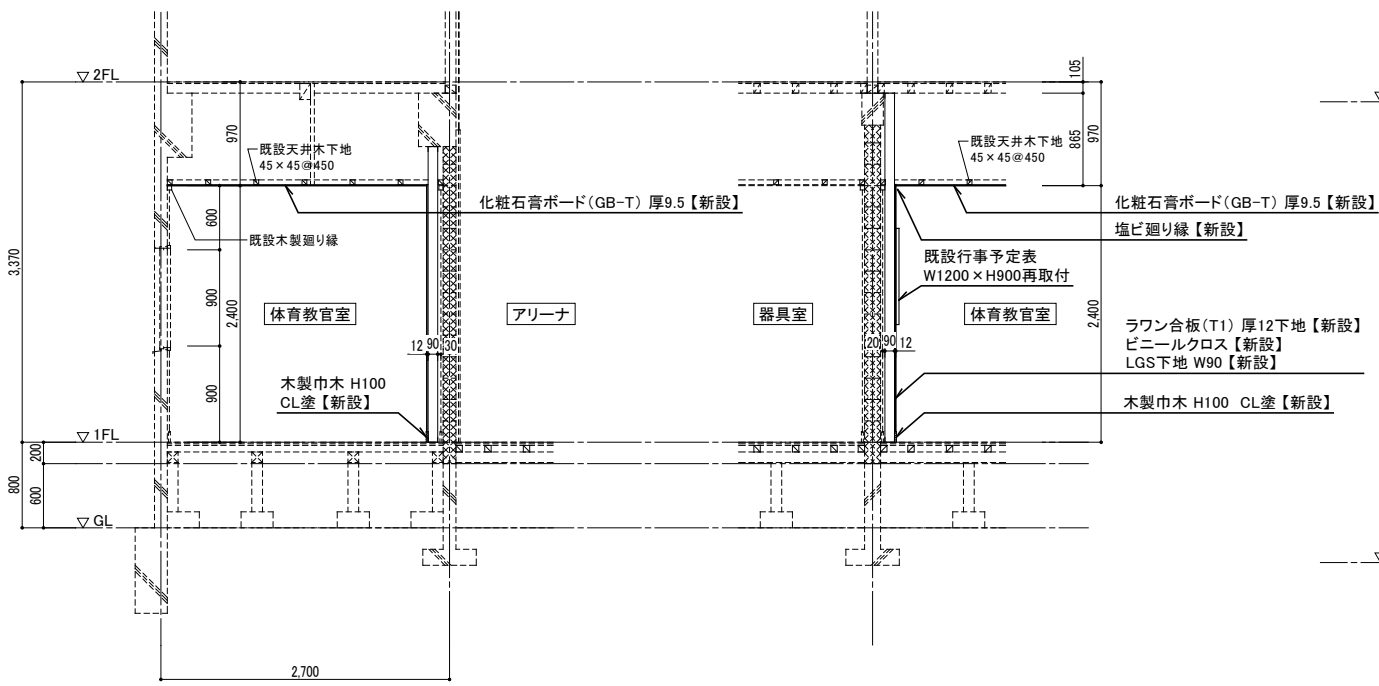


平面詳細図 S=1/50



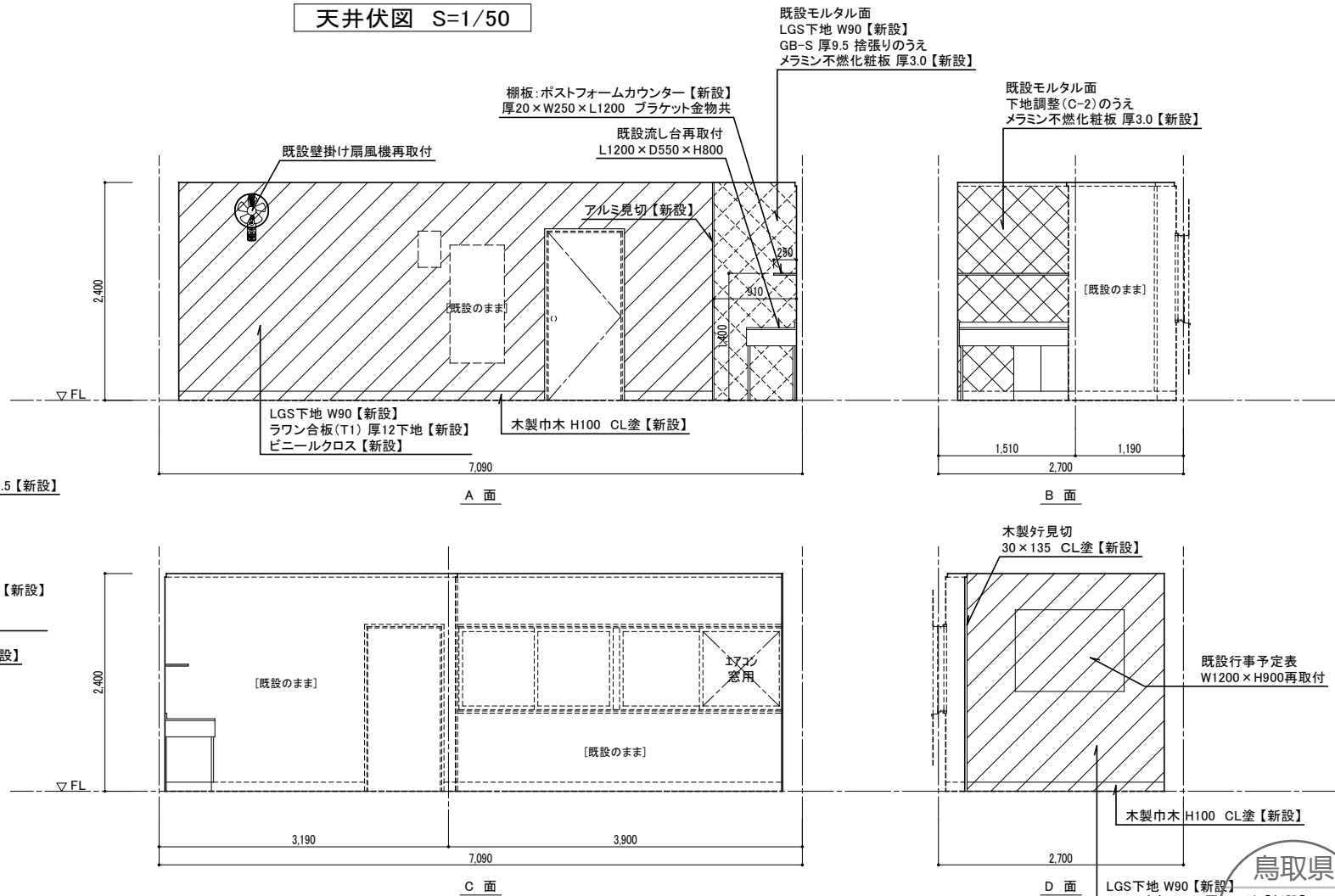
天井伏図 S=1/50

記 号	仕 上
Ⓐ	化粧石膏ボード(GB-T) 厚9.5【新設】 天井木下地 45×45@450【既設のまま】



A-A'断面詳細図 S=1/50

B断面詳細図 S=1/50

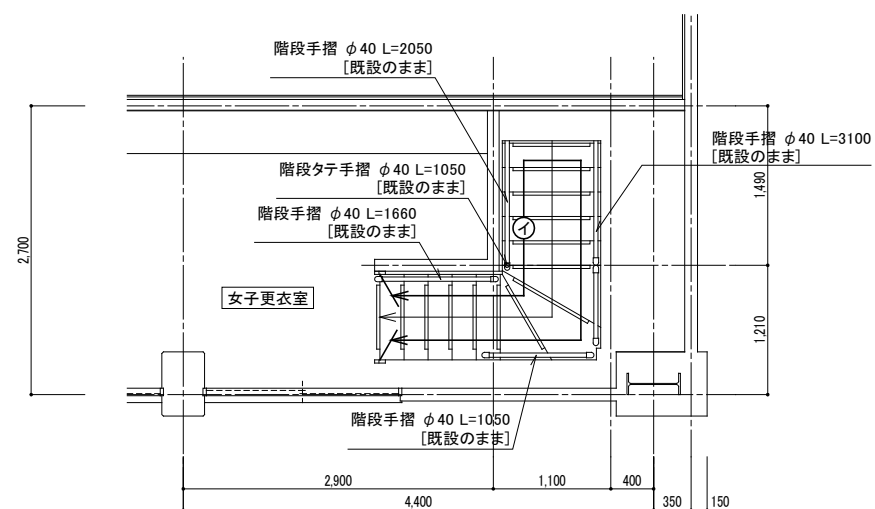
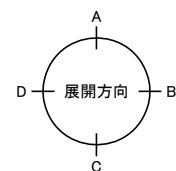


展開図 S=1/50

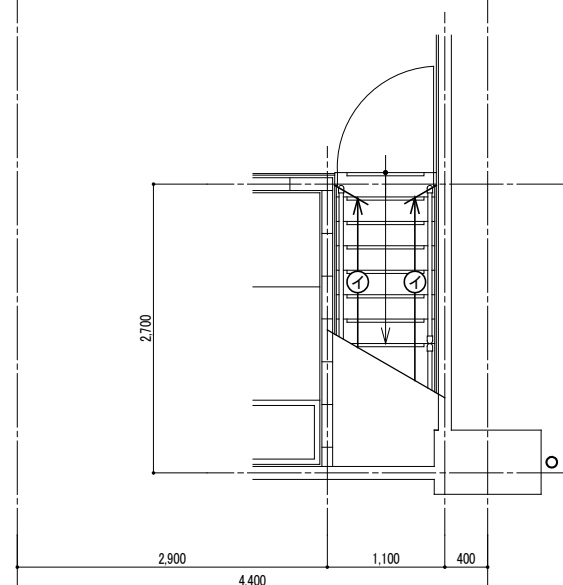
県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事

【改修後】 体育教室詳細図	縮尺 1/50	図面番号 A-08
フォーディー設計合同会社 一級建築士事務所登録番号 第06-1311号 管理建築士 南波 一好 一級建築士登録番号 第354034号	代表となる設計者 南波 一好 一般建築士 登録番号 第354034号	

鳥取県令和6年度
〒740-0633
東部建築住宅
事務所

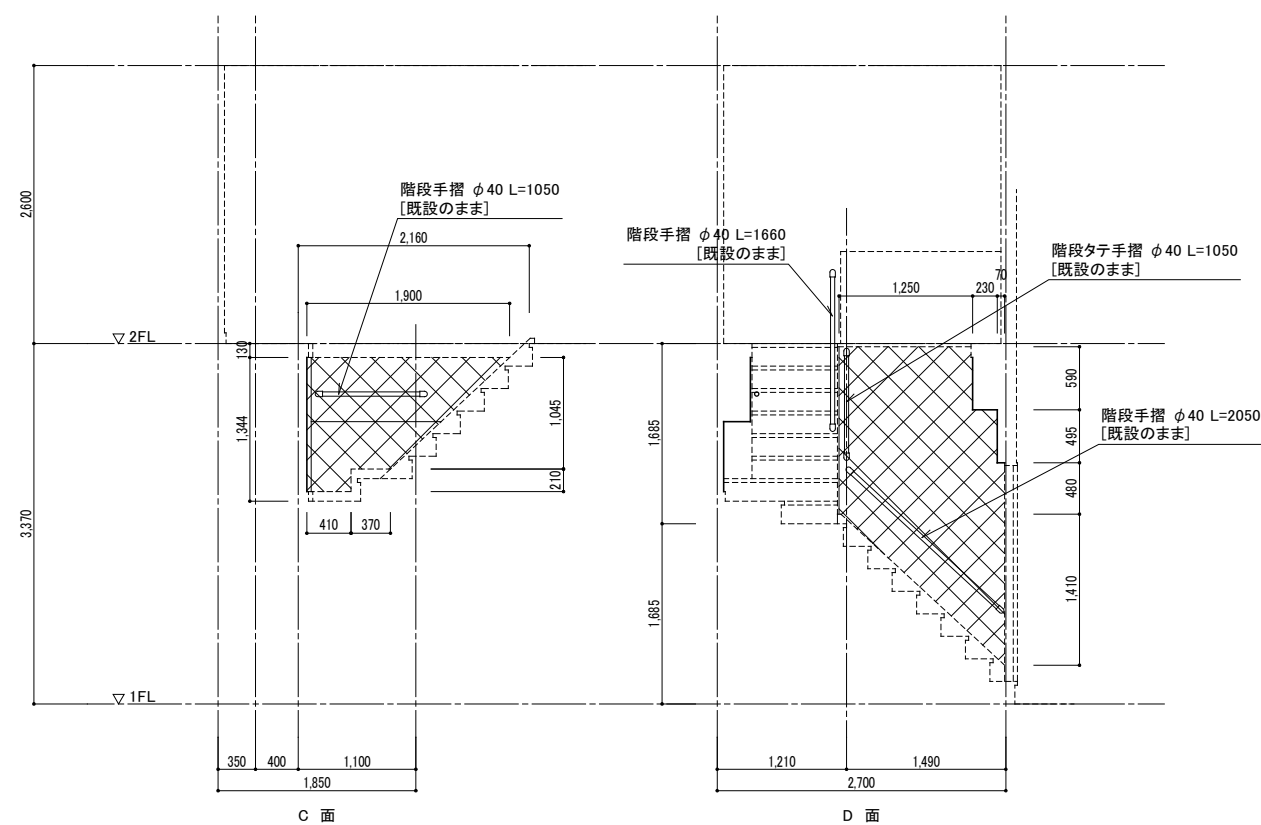
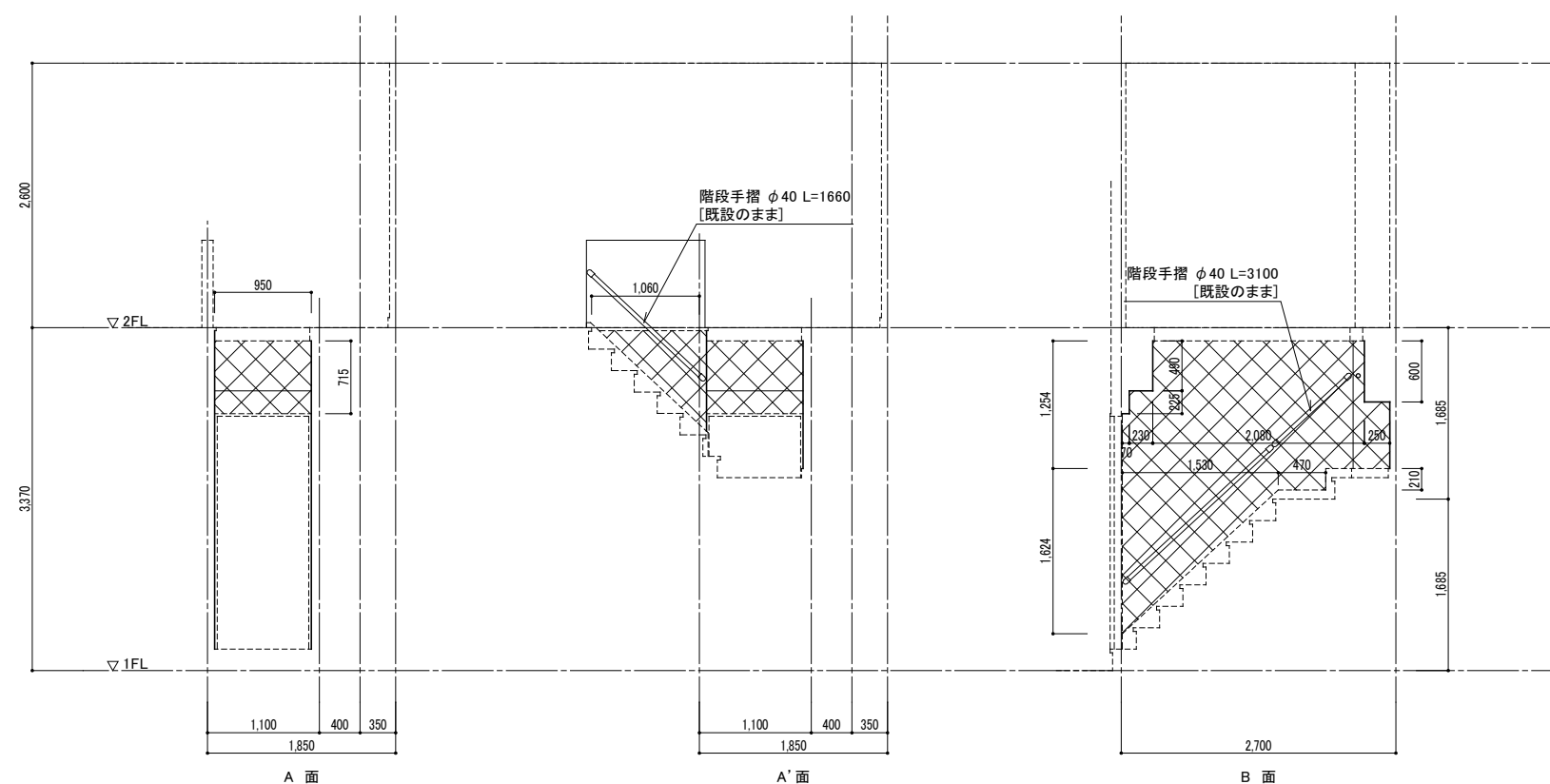


2階平面詳細図 S=1/50



1階平面詳細図 S=1/50

記 号	改修内容
①	壁 モルタル面 下地調整(C-2)のうえ EP塗 【新設】



…壁 改修範囲を示す
モルタル面 下地調整(C-2)のうえ EP塗【新設】

県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事

2階女子更衣室詳細図

フォーディー設計合同会社

一級建築士事務所登録番号 第06-1311号
管理建築士 南波 一好
一級建築士登録番号 第354034号



代表となる設計者	
----------	--

南波 一好
一級建築士
登録番号 第3540

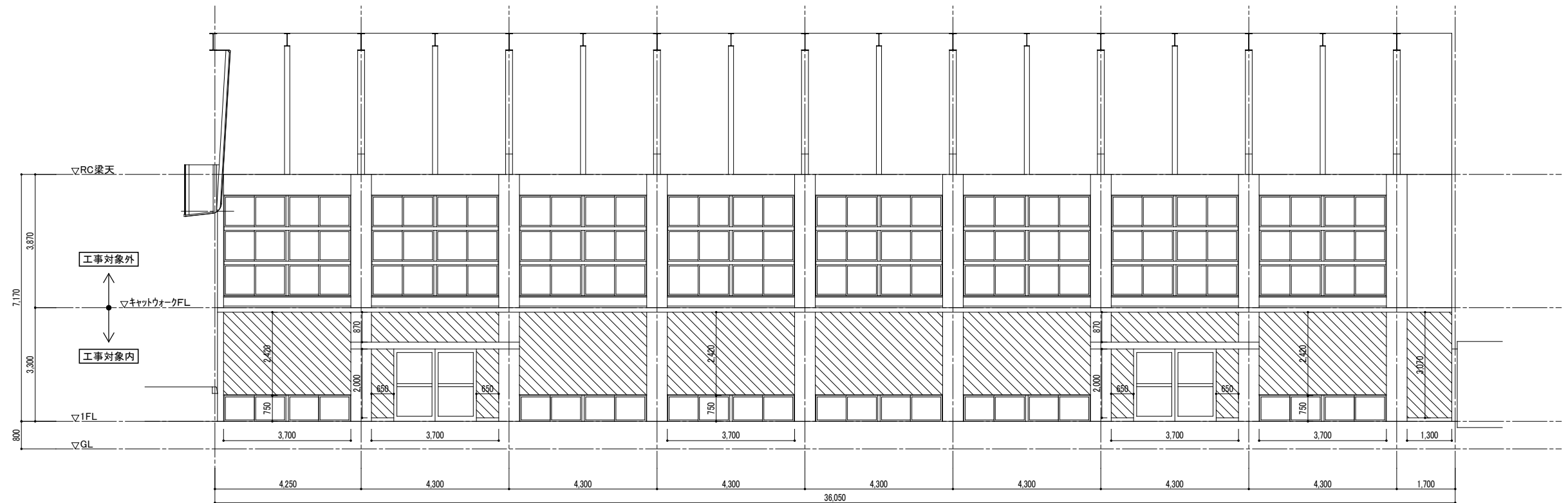
縮尺	1/50
----	------

	その他の設計者
--	---------

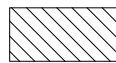
図面番号

A-09



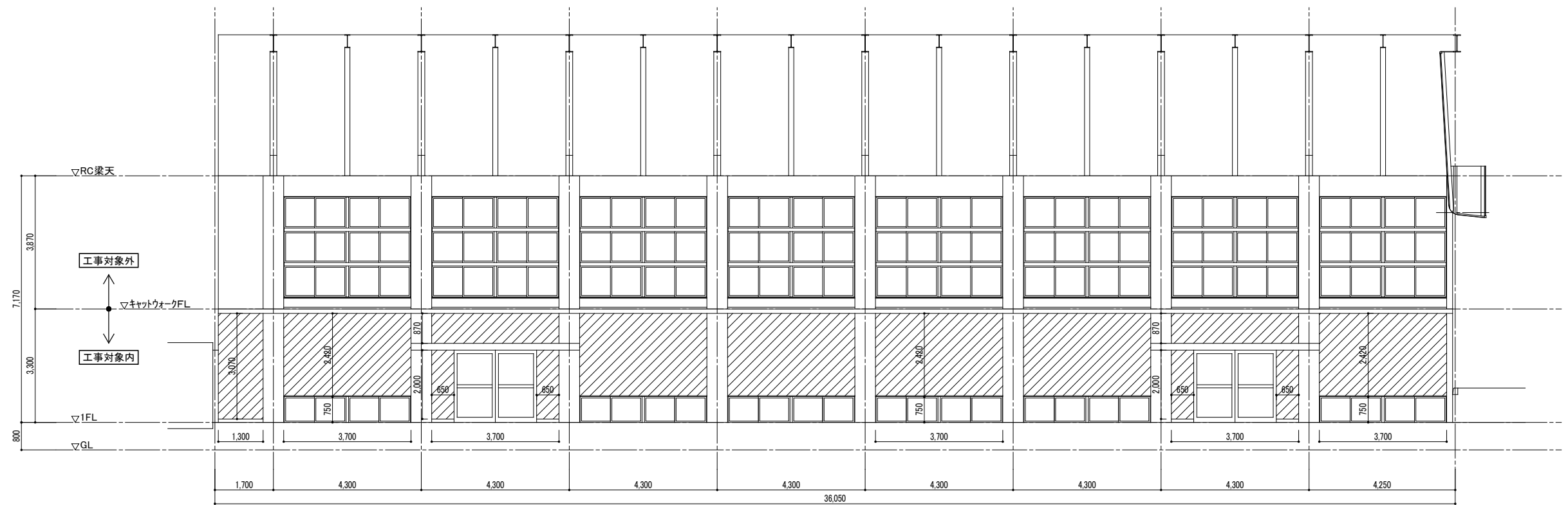


【 凡 例 】



・・・既設モルタル壁面 改修
下地調整 (C-2) のうえ EP塗【新設】

B 面



D 面

県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事

アリーナ 展開図

フォーディー設計合同会社

一級建築士事務所登録番号 第06-1311号
管理建築士 南波 一好
一級建築士登録番号 第354034号



代表となる設計者

南波 一好
一級建築士
登録番号 第354034号

縮尺 1/100

その他の設計者

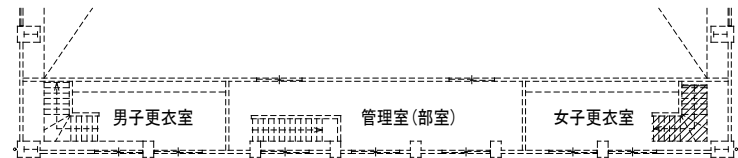
鳥取県

令和6年度
J2400633

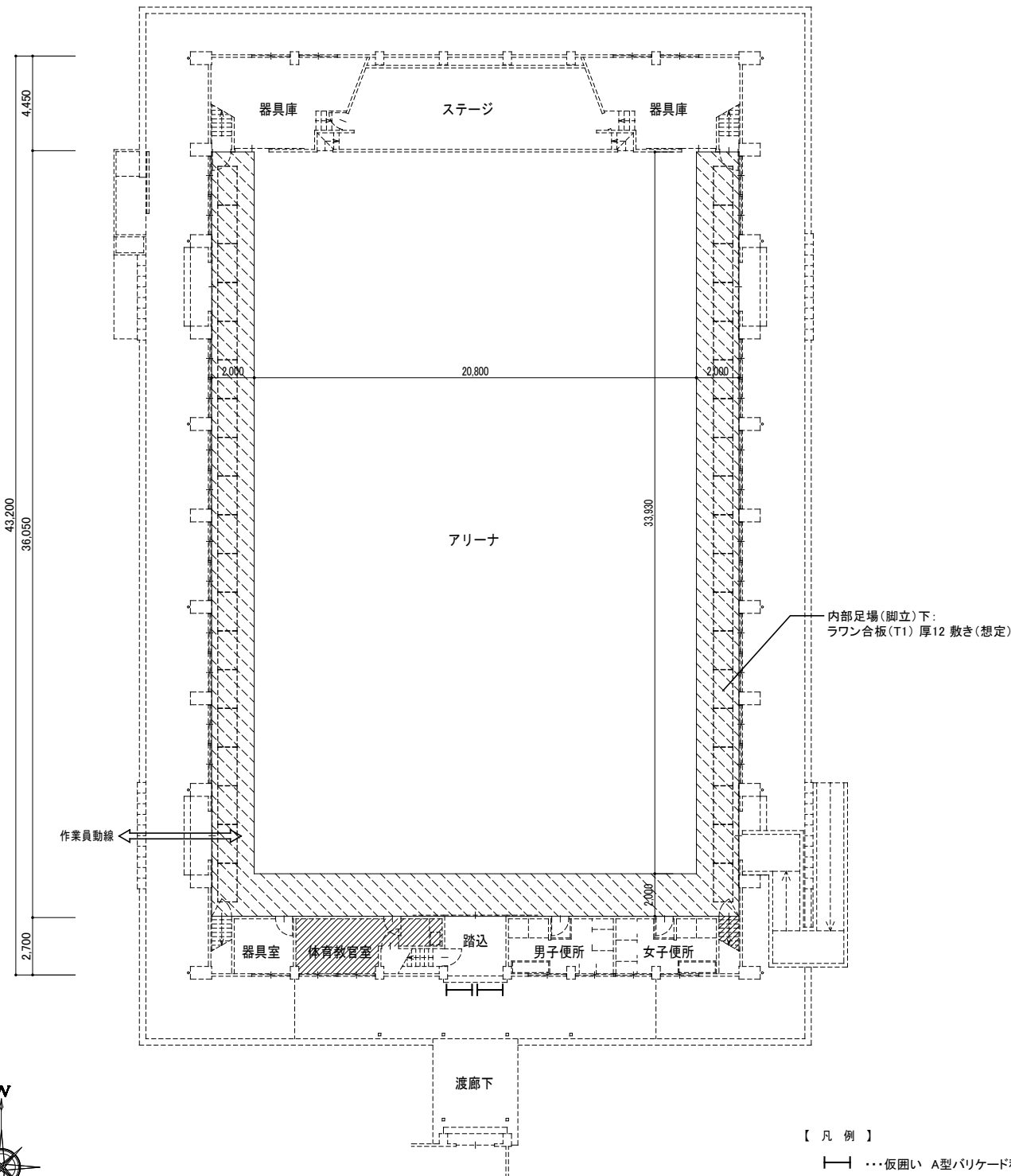
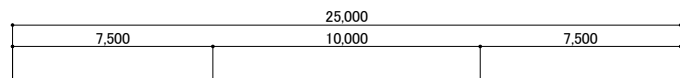
東部建築住宅
事務所

図面番号

A-10



2階仮設計画図 S=1/200



1階仮設計画図 S=1/200

- 【 凡 例 】
- 仮囲い A型バリアード程度
 - 養生 資材搬入通路を示す
 - 改修工事範囲を示す

概略工事工程表

履行期間	着手	(1ヶ月目)						(2ヶ月目)						(3ヶ月目)						(4ヶ月目)					
		5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30
準 備	準備、打合せ、事前確認																								
仮設工事	仮設事務所、A型バリアード設置、仮設資材搬入																								
内部改修 (アリーナ)	内部足場(脚立足場)設置																								
内部改修 (女子更衣室)	事前調査																								
内部改修 (体育教室)	内部改修(既存天井撤去)																								
電気設備工事	上記に伴う電気設備改修工事																								
機械設備工事	上記に伴う機械設備改修工事																								
検 査 等	事務所検査																								

※概略工事工程表は参考であり、請負者の施工計画を拘束するものではない。



県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事		縮尺	1/200	図面番号 A-11
【参考図】 仮設計画図 概略工事工程表		代表となる設計者	その他の設計者	
フォーディー設計合同会社 一級建築士事務所登録番号 第06-1311号 管理建築士 南波 一好 一級建築士登録番号 第354034号		南波 一好 一級建築士 登録番号 第354034号		

※仮設計画図に示す内容は全て指定仮設ではなく、あくまでも想定であり受注者の仮設計画を拘束するものではない。

特記仕様

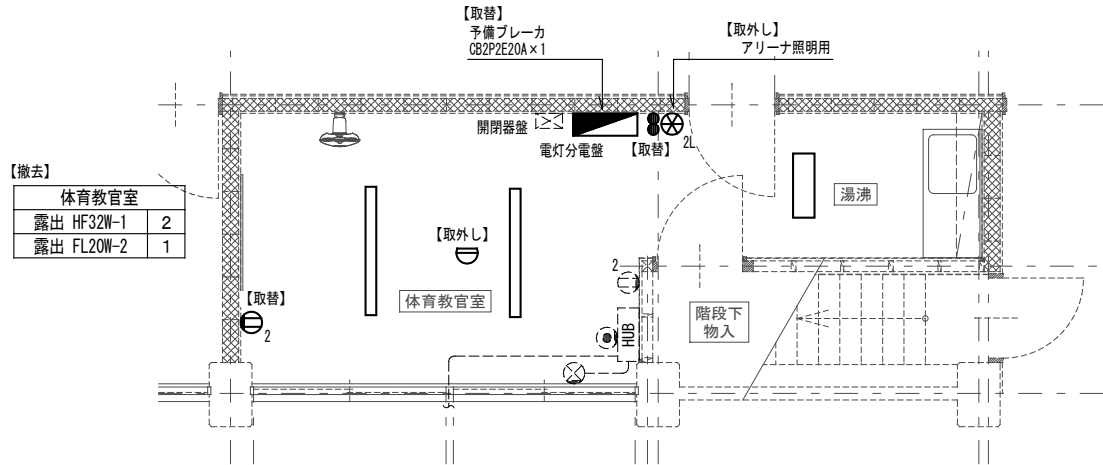
以下の仕様書を適用とする。

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（機械設備工事編）（令和4年版）」
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（機械設備工事編）（令和4年版）」
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（機械設備工事編）（令和4年版）」

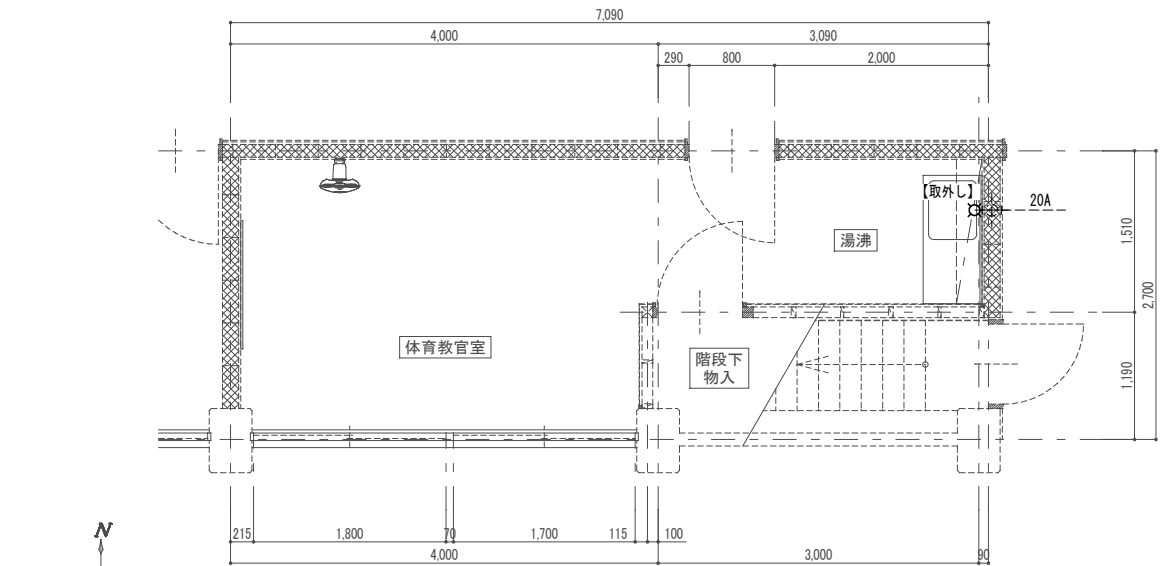
特記事項

1. 図中、太線を本工事とし、細線は既設のままとする。
2. 施工の際は、事前に既設状況を確認すること。
3. 図示なき機器・配線等ある場合は、監督員と協議すること。

記号	名称	仕様
	電灯分電盤	盤内のみ改修
	照明器具	図示参照
	照明器具	図示参照
	埋込スイッチ	1P15A×1
	リモコンスイッチ	2L
	埋込コンセント	2P15A×2
	感知器	差動式 2種 露出
	フラッシュプレート	ブランク
	HUB収納盤	屋内壁掛形
	フラッシュプレート	ノズル
	開閉器盤	MCCB3P60AF60AT×1



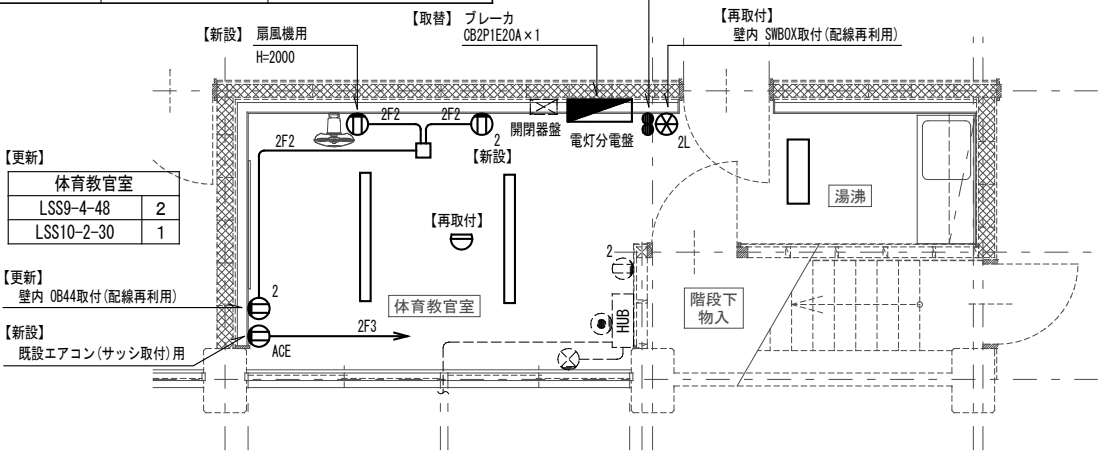
電気設備 撤去図 S=1/50



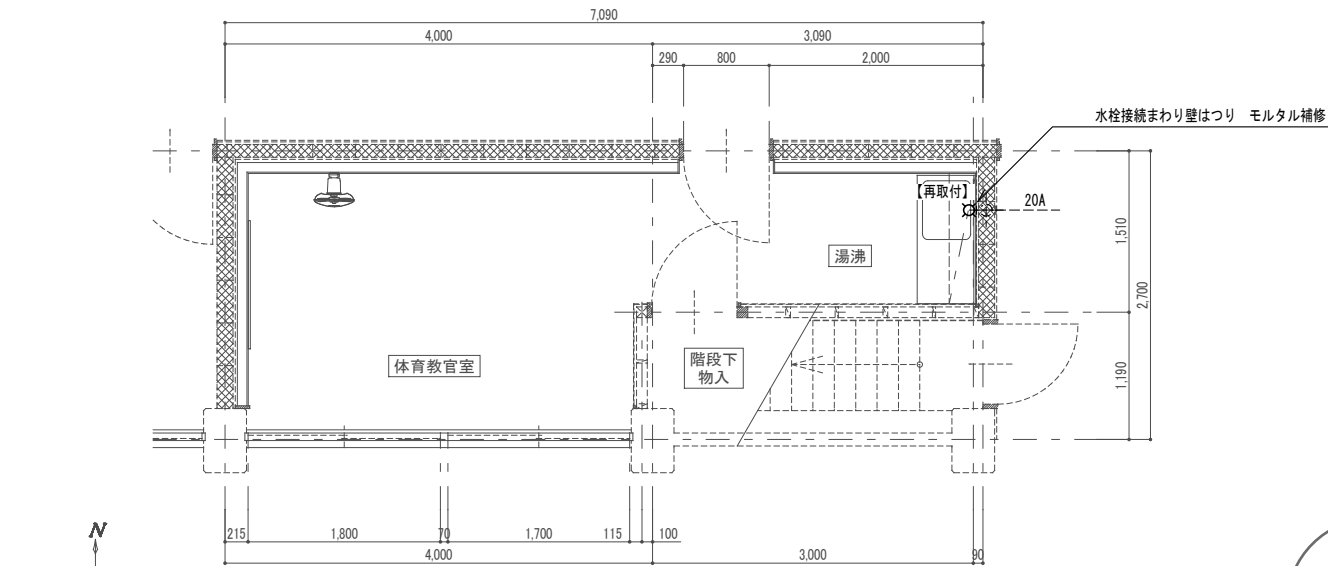
機械設備 撤去図 S=1/50

改修前

記号	名称	仕様
	電灯分電盤	盤内のみ改修
	照明器具	図示参照
	照明器具	図示参照
	埋込スイッチ	1P15A×1
	リモコンスイッチ	2L
	埋込コンセント	2P15A×1
	埋込コンセント	2P15A×1, 接地極付
	埋込コンセント	2P15A×2
	アウトレットボックス	中浅 C付
	感知器	差動式 2種 露出
	フラッシュプレート	ブランク
	HUB収納盤	屋内壁掛形
	フラッシュプレート	ノズル
	開閉器盤	MCCB3P60AF60AT×1



電気設備 改修図 S=1/50



機械設備 改修図 S=1/50

改修後

県立鳥取緑風高等学校体育館棟内部壁改修工事

【改修前後】 体育教室 電気設備、機械設備 改修図

フォーディー設計合同会社

一級建築士事務所登録番号 第06-1311号
管理建築士 南波 一好
一級建築士登録番号 第354034号



代表となる設計者

南波 一好
一級建築士
登録番号 第354034号

縮尺 1/50

その他の設計者

山根設計 山根貴志

EM-01

鳥取県

令和6年度
J2400633

東部建築住宅
事務所